

TOSHIBA



取扱説明書

形名 TT-4K100
BS/CS 4K録画対応チューナー

このたびはBS/CS 4K録画対応チューナーをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

お求めの商品を安全に正しく使っていただくため、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みください。

お読みになったあとは、いつも手元に置いてご使用ください。

ご使用前に、「安全上のご注意」（9～13ページ）を必ずお読みください。

本機でできること

- 新4K8K衛星放送の受信に対応

※ ただし、8K放送には対応していません。

- BS・110度CSの4K放送と地上デジタル、BS・110度CSデジタル放送の録画に対応

- さまざまなテレビに対応できる多彩な HDMI[®] 信号フォーマットに対応

- テレビのリモコンで連動操作（HDMI 連動機能：レグザリンク）

※ 対応するレグザとHDMI[®]ケーブルで接続する必要があります。

ルームトウシバ

お客様登録サービス「Room1048」に登録をお願いします！

Room1048 は東芝デジタル商品のお客様登録サービス[※]です。

ご登録いただくと、さまざまなサービスやサポートが受けられます。

※お客様登録は、Web限定のサービスです。

>>>ご登録はこちらから！ <<<

<http://toshibadirect.jp/room1048/>

目次

本機でできること	2
安全上のご注意	9

準備をする

付属品を確認する	14
各部の名前とはたらき	15
本機前面	15
本機背面	15
リモコン	16
事前に準備をする	17
アンテナ接続に関するお願いとご注意	17
デジタル放送用アンテナ端子をつなぐ	18
AVアンプとつなぐ	20
miniB-CAS (ミニビーカス)カードを挿入する	21
電源コードを接続する	21
本機を縦置きする場合には	22
リモコンに電池を入れる	22
リモコンの使用範囲について	22
テレビの入力を切り換える	23
本機の電源を入れる	23
「はじめての設定」をする	24
「はじめての設定」について	24
「はじめての設定」の流れ	24
はじめての設定	24
「はじめての設定」をやりなおすとき	26

視聴する

テレビ番組を楽しむ	27
リモコンで番組を選ぶ	27
字幕を表示させる	29
操作ガイドについて	30
サブメニューについて	31
番組情報や番組説明を見る	32
番組情報を見る	32
番組説明を見る	32
番組表で番組を探す	33
番組表を使う	33
番組を見ながら他の番組を探す(ミニ番組表)	35
番組表を便利に使う	35
条件を絞り込んで番組を探す	39

データ放送やラジオ放送を楽しむ	42
連動データ放送を楽しむ	42
独立データ放送やラジオ放送を楽しむ	43
BS・110度CSの4K放送を楽しむ	44
BS・110度CSの4K放送を見る	44
BS・110度CSの4K放送を視聴する場合のご注意	45
便利な機能を使う	46
降雨対応放送について	46
他の映像・音声に切り換える	46
映像を静止させる	47
省エネ設定をする	48
時計を表示する	49
自動で電源が切れるようにする	49
録画機器を使う	
録画・予約機能について	50
録画できる機器と番組	50
接続・設定と録画前の準備	50
USBハードディスクを接続する	52
USBハードディスクの設定をする	54
USBハードディスクを本機に登録する	54
USBハードディスクの設定をする	55
録画の基本的な設定をする	58
録画に使用する機器を設定する	58
チャプター分割のしかたを設定する	58
レグザリンクダビングの接続・設定をする	59
東芝レコーダーと本機を接続する	59
東芝レコーダーと本機を設定する	60
SeeQVault™対応のUSBハードディスクやSDメモリーカードを接続する	62
USBハードディスクを接続して登録する	62
USBハードディスクの取りはずし	64
SDメモリーカードを接続する	64
SeeQVault™対応SDメモリーカードを設定する	65
SDメモリーカードを初期化する	65
SDメモリーカード名を変更する	65
ホームネットワークについて	66
ホームネットワークに接続する	67
機器を接続する	67
機器のネットワーク設定を確認する	68
ホームネットワークの設定をする	70
接続機器から本機を操作するための設定をする ～外部連携機能～	70
接続機器から本機を起動するための設定をする ～リモート電源オン機能～	73
見ている番組を録画する	74

番組表で予約をする	75
メッセージが表示された場合	76
マルチ表示の番組表で予約するとき	76
連続ドラマを予約する	77
日時を指定して予約をする／番組を検索して録画・予約をする	79
日時を指定して予約をする	79
番組を検索して録画・予約をする	80
録画予約や連ドラ予約の設定を変更するとき	81
予約の確認・変更・取り消しをする	83
予約・録画の優先順位と予約の動作について	84
予約・録画の優先順位について	84
予約の動作について	85
録画した番組を再生する	86
再生の基本操作とさまざまな再生のしかた	86
録画番組の再生中にできるリモコン操作	88
録画番組の情報や番組説明を見る	89
録画番組を修復する	90
見たい録画番組を探して再生する	91
録画リストのさまざまな機能を使う	93
繰り返し再生の設定を変える	93
番組を並べ替える	93
ほかの機器を選択する	93
連ドラ予約をする	94
機器の情報を確認する	94
SeeQVault ™形式の番組を再生する	95
再生の基本操作	95
SeeQVault ™対応機器を選択する	95
不要な録画番組を消す／誤って消さないように保護する	96
一つの録画番組を消す	96
複数の録画番組を消す	96
グループ内の録画番組をすべて消す	97
自動的に消す(自動削除設定)	97
誤って消さないように保護する	97
チャプター編集をする	98
録画済番組の再生中に編集する	98
グループ名を変更する	99
ほかのグループに移動する	100
録画番組をダビング(ムーブ)する	101
USB ハードディスク間でムーブする	101
東芝レコーダーにダビングしてディスクに保存する	103
ネットワーク接続でダビングする	103
ブルーレイディスクに手間なくダビングする	104

録画番組をSeeQVault™形式にする	106
SeeQVault™形式に変換してUSB ハードディスクにダビングする	106
SeeQVault™形式に変換してSD メモリーカードにダビングする	107

接続機器を使う

USB機器を接続する	108
機器の接続時に操作メニューが表示されるようにする	108
起動時に動画が自動的に再生されるようにする	109
動画を再生する	110
動画再生の操作	110
動画再生時にできるリモコン操作	111
動画の再生方法を設定する	112
時間を指定して再生する(タイムサーチ)	112
動画を並べ替える	112
機器を選び直す	112
動画再生リストの操作ガイドについて	112
インターネットを利用するための接続をする	113
本機をインターネットに接続したときにできること	113
接続のしかた	113
インターネットを利用するための設定をする	115
アドレス設定(IPv4)	115
IPv6接続	116
アドレス設定(IPv6)	117
接続テスト	118
ネットワーク情報	118
ネットワーク設定の接続テスト結果について	119

設定・調整をする

表示の大きさを選ぶ	122
画面表示エリア設定	122
HDMI接続の設定をする	123
HDMI 連動機能	123
出力解像度設定	123
HDMIディープカラー	123
ハイダイナミックレンジ出力	124
音声出力	124
アンテナを調整する	125
電波の強さ(信号強度)を確認する	125
アンテナを調整する	126
地上デジタルアッテネーター設定を変更する	126
BS・110度CS用アンテナの電源供給の設定を変更する	127
アンテナ線がショートしたとき	127
BS/CS 4Kの受信環境を確認したいとき	127

チャンネルを追加したり設定を変更したりするとき	128
地上デジタルチャンネルを自動で設定する	128
チャンネルをお好みに手動で設定する	129
視聴しないチャンネルをスキップする	130
データ放送の設定をする	131
地域と郵便番号を設定する	131
災害発生時に文字情報を表示させる	132
ルート証明書の番号を確認する	132
視聴できる番組を制限する	133
制限するために暗証番号を設定する	133
番組の視聴を制限する	134
リモコンの設定を変更する	135
本機のリモコンが他のレグザサーバー（またはレコーダー）を操作しないようにする	135
テレビ操作のボタンの設定をする	136
使わない放送選択ボタンの操作を無効にする	136
お買い上げ時の設定に戻すには（設定内容を初期化するには）	137
設定メニュー一覧	138

さまざまな情報

ソフトウェアを更新する	139
ソフトウェアの更新機能について	139
ソフトウェアの自動ダウンロードについて	139
東芝サーバーから手動でダウンロードする	141
ソフトウェアのバージョンを確認するには	141
お知らせを見る	142
カード情報を確認する	143
文字を入力する	144
アイコン一覧	147
番組についてのアイコン	147
お知らせ、予約、その他についてのアイコン	148
対応フォーマット	149
本機で再生できる動画のフォーマット	149
ライセンス及び商標などについて	150
本機で使われるソフトウェアのライセンス情報	152

困ったときには

症状に合わせて解決法を調べる	153
このような場合は故障ではありません	153
本機が操作できなくなったとき—本機をリセットする	153
操作	153
映像	154
地上デジタル放送	155
BS・110度CSデジタル放送	156
番組表	157
お知らせアイコンが何度も表示される	157
録画・再生	158
HDMI 連動機能	161
ネットワークが利用できない	162
エラーメッセージが表示されたとき	166
全般	166
USB ハードディスクに関するエラー表示	168
LAN 端子を使った通信に関するエラー表示	169
BS・110度CSの4K放送に関するエラー表示	171

使用上のお願いとご注意

使用上のお願いとご注意	172
取り扱いについて	172
電源プラグについて	172
電源プラグをコンセントから抜く際のご注意	172
録画・録音について	172
本機を廃棄、または他の人に譲渡するとき	173
免責事項について	173
お手入れについて	174
お手入れの際のご注意	174
本機のお手入れ	175
仕様	176
さくいん	178
保証とアフターサービス	183

この取扱説明書内のマークの見かた

お知らせ	機能などの補足説明、参考にしていただきたいこと、制限事項などを記載しています。
用語	用語の説明をしています。(分野によっては、同じ用語を別の意味で使用していることがあります)
お願い	取扱上のお願いを記載しています。
ご注意	取扱上のご注意を記載しています。
	関連する内容が記載されているページの番号を示しています。

安全上のご注意

必ずお守りください

製品本体および取扱説明書には、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

■ 表示の説明

表 示	表 示 の 意 味
 警告	“取扱いを誤った場合、人が死亡または重傷* ¹ を負うことが想定されること”を示します。
 注意	“取扱いを誤った場合、人が軽傷* ² を負うことが想定されるか、または物的損害* ³ の発生が想定されること”を示します。

*1：重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温・化学）、感電、骨折、中毒などで、後遺症があるもの、および治療に入院や長期の通院を要するものをさします。

*2：軽傷とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが・やけど・感電などをさします。

*3：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

■ 図記号の例

図記号	図 記 号 の 意 味
 禁 止	“⊘”は、禁止(してはいけないこと)を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
 指 示	“●”は、指示する行為の強制(必ずすること)を示します。 具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
 注 意	“△”は、注意を示します。 具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

警告

異常や故障のとき

- 煙が出ている、変なにおいがするときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜く



プラグを抜け

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。煙が出なくなるのを確認し、お買い上げの販売店にご連絡ください。

- 内部に水や異物がいったり、すぐに電源プラグをコンセントから抜く



プラグを抜け

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店に点検をご依頼ください。

- 本体を落とししたり、破損したときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜く



プラグを抜け

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。破損したままでは取り扱うと、けがのおそれがあります。お買い上げの販売店に、点検・修理をご依頼ください。

- ACアダプターが発熱したり、コードが痛んだりしたときは、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く



プラグを抜け

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。コードが傷んだら、お買い上げの販売店に交換をご依頼ください。

設置するとき

- 本機はコンセントから電源プラグが抜きやすいように設置する



指示

万一の異常や故障のとき、または長期間使用しないときなどに役立ちます。

- 屋外や浴室など、水のかかるおそれのある場所には置かない



火災・感電の原因となります。

風呂、シャワー室での使用禁止

- ぐらつく台の上や傾いた所など、不安定な場所や振動のある場所に置かない



禁止

本機が落ちて、けがの原因となります。

- 電源プラグは交流100Vコンセントに根元まで確実に差し込む



指示

交流100V以外を使用すると、火災・感電の原因となります。差し込みかたが悪いと、発熱によって火災の原因となります。傷んだ電源プラグ、ゆるんだコンセントは使わないでください。

- 上に物を置いたり、ペットをのせたりしない



上載せ禁止

金属類や、花びん・コップ・化粧品などの液体、ペットの尿・体毛などが内部にはいった場合、火災・感電の原因となります。重いものなどが置かれて落下した場合、けがの原因となります。

使用するとき

- 修理・改造・分解はしない



分解禁止

感電・火災の原因となります。内部の点検・調整および修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

■ACアダプターのコード・電源コード・電源プラグは、



禁止

- 傷つけたり、延長するなど加工したり、加熱したり(熱器具に近づけるなど)しない
 - 引っ張ったり、重いものを載せたり、はさんだりしない
 - 無理に曲げたり、ねじったり、束ねたりしない
- 火災・感電の原因となります。

■異物を入れない



異物挿入禁止

通風孔などから金属類や紙などの燃えやすいものが内部にはいった場合、火災・感電の原因となります。
特にお子様にはご注意ください。

■雷が鳴りだしたら、本機・電源コード・アンテナ線および本機に接続した機器やケーブル・コードに触れない



禁止

感電の原因となります。

■電池は乳幼児の手の届かないところに保管する



指示

誤って飲み込むと窒息などの原因となります。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師にご相談ください。

■miniB-CASカードを取りはずしておく場合は、乳幼児の手の届かないところに保管する



指示

誤って飲み込むと窒息などの原因となります。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師にご相談ください。

■包装に使用しているビニール袋で
お子様が遊んだりしないように注意する



指示

かぶったり、飲み込んだりすると、窒息のおそれがあります。万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師にご相談ください。

■電源コードは、本機の付属品を使用する



指示

付属品以外の電源コードを使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

■本機に付属されている電源コードを他の機器に使用しない



禁止

他の機器に使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

■ACアダプターは、本機の付属品を使用する



指示

指定以外のACアダプターおよび電源コードを使用すると、火災・感電の原因となることがあります。付属のACアダプターと電源コードは国内専用です。

■本機に付属されているACアダプターを他の機器に使用しない



禁止

他の機器に使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

ACアダプターについて

■ ACアダプターを修理・改造・分解はしない



分解禁止

電源プラグの絶縁低下によって、火災の原因となります。

■ 通電中のACアダプターにふとんをかけたり、暖房器具の近くやホットカーペットの上に置いたりしない



禁止

火災・故障の原因となることがあります。

お手入れについて

■ とときどき電源プラグを抜いて点検し、刃や刃の取り付け面にゴミやホコリが付着している場合は、きれいに掃除する



指示

電源プラグの絶縁低下によって、火災の原因となります。

■ 通風孔をふさがない



禁止

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

壁に押しつけないでください。(10cm以上の間隔をあける)
押し入れや本箱など風通しの悪いところに押し込まないでください。
テーブルクロス・カーテンなどを掛けたりしないでください。

じゅうたんや布団の上に置かないでください。
あお向け・横倒し・逆さまにしないでください。

■ 湿気・油煙・ホコリの多い場所に置かない



禁止

加湿器・調理台のそばや、ホコリの多い場所などに置くと、火災・感電の原因となることがあります。

■ 移動させる場合は、電源プラグ・外部との接続線ははずす



指示

電源プラグを抜かずに運ぶと、電源コードが傷つき火災・感電の原因になることや、接続線などをはずさずに運ぶと、ひっかかるなどして、けがの原因となることがあります。

使用するとき

■ コンセントや配線器具の定格を超える使いかたはしない



禁止

タコ足配線をしないでください。
火災・感電の原因となることがあります。

■ 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張って抜かない



引っ張り禁止

電源コードを引っ張って抜くと、電源コードや電源プラグが傷つき火災・感電の原因となることがあります。
電源プラグを持って抜いてください。

⚠ 注意

設置するとき

■ 温度の高い場所に置かない



禁止

直射日光の当たる場所やストーブのそばなど、温度の高い場所に置くと火災の原因となることがあります。

また、キャビネットの変形や破損などによって、感電の原因となることがあります。

■ **ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない**



ぬれ手禁止

感電の原因となることがあります。

■ **旅行などで長期間使用しないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜く**



プラグを抜け

万一故障したとき、火災の原因となることがあります。本体やリモコンの電源ボタンを押して電源が「切」や「待機」の場合でも、本機への通電は完全には切れていません。本機への通電を完全に切るには、電源プラグをコンセントから抜いてください。

■ **リモコンに使用している乾電池は、**



禁止

- 指定以外の乾電池は使用しない
- 極性表示 $\oplus$ と $\ominus$ を間違えて挿入しない
- 充電・加熱・分解したり、ショートさせたりしない
- 火や直射日光などの過激な熱にさらさない
- 表示されている「使用推奨期限」の過ぎた乾電池や、使い切った乾電池はリモコンに入れておかない
- 長期間使用しないときは、乾電池をリモコンに入れておかない
- 種類の違う乾電池、新しい乾電池と使用した乾電池を混ぜて使用しない

これらを守らないと、液もれ・発熱・発火・破裂などによって、やけど・けがの原因となることがあります。

もれた液が目にはいたり、皮膚についたりすると、目や皮膚に障害を与えるおそれがあります。目や口にはいたり、皮膚についたりしたときは、きれいな水でよく洗い流し、直ちに医師に相談してください。衣服についたときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。器具についたときは、液に直接触れないでふき取ってください。

お手入れについて

■ **お手入れのときは、電源プラグをコンセントから抜く**

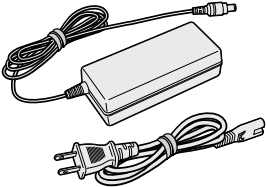
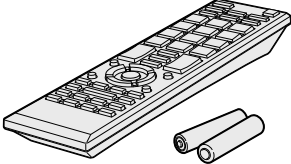


プラグを抜け

感電の原因となることがあります。お手入れのしかたは「174」をご覧ください。
(電源プラグを抜く前に、「電源プラグをコンセントから抜く際のご注意」「172」をお読みください)

付属品を確認する

● 本機には以下の付属品があります。お確かめください

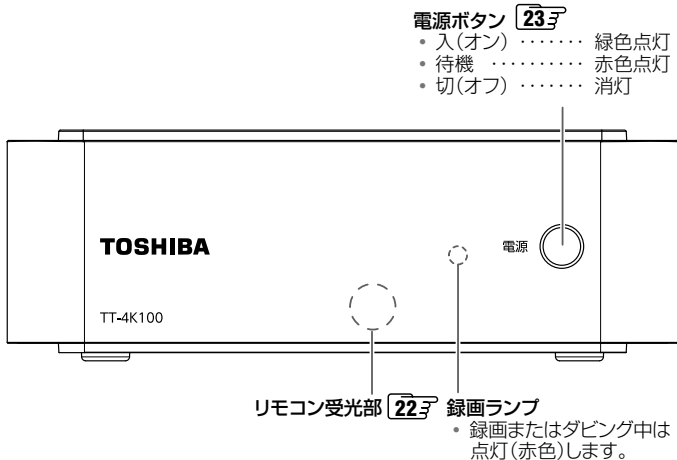
付属品 / 名称	付属数
AC アダプター、 電源コード 	1 式
リモコン (SE-R0473) 単四形乾電池 (R03) 	リモコン 1 個 乾電池 2 本 ※動作 確認用
同軸ケーブル 1.5m (BS・110度CSデジタル放 送専用) 	1 本
縦置き用ゴム足 ● 本機を縦置きする場合に 使用します。 19	4 個

付属品 / 名称	付属数
miniB-CAS カード (台紙に貼り付けてあります。) ● BS・110度CS/地上デ ジタル共用 	1 枚
取扱説明書 (本書)	1 冊

※ 付属品紛失の際は弊社部品をお求め
ください。

各部のなまえとはたらき

本機前面



本機背面

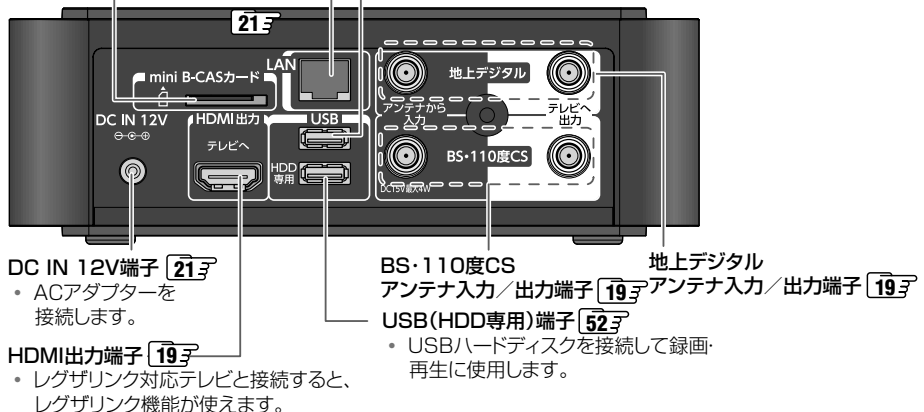
LAN端子 **67** **113**

- ・ ホームネットワークやインターネットに接続します。
- ・ レグザリンクダビングにも使用します。

mini-B-CASカード挿入口

USB端子 **108**

- ・ 当社指定のSeeQVault™対応SDカードリーダーを接続して、SeeQVault™対応SDメモリーカードに録画番組をSeeQVault™形式でダビングしたり、SeeQVault™形式記録された録画番組を再生したりするため、またはUSB機器に保存されている動画を再生するために使用します。



※ 当社指定のSeeQVault™対応機器については以下のURLをご覧ください。
http://www.toshiba.co.jp/regza/detail/seeqvault/index_j.html

リモコン

● 本機の電源を入れる/待機にする **23**

● テレビの電源を入れる/待機にする

● テレビの入力を切り換える

● BS・110度CSの4K放送を楽しむ **44**

● 番組名や放送局名、放送時間などを見る **32**

● 放送の種類を切り換える **27**

● チャンネルを選ぶ(ワンタッチ選局) **27**

● 文字を入力する **144**

● チャンネルを順番に選ぶ **27**

● データ放送を見る **42**

● 字幕の表示/非表示を切り換える **29**

● サブメニューを表示させる **31**

● テレビの音量を調節する

● 録画リストを表示させる **86**

● 番組表で番組を選ぶ **33**

● メニューから選ぶ、決定する

● メニュー操作で一つ前の画面に戻る

● 操作を終了する

● カラーボタン 多様な用途があります

● 再生、早見早聞再生をする **88**

● 早送り、早戻しをする **88**

● チャプタースキップをする **88**

● 録画や再生を停止させる **88**

● 再生を一時停止させる **88**

● 映像を静止させる **47**

● ワンタッチリプレイ(10秒戻す) **88**

● ワンタッチスキップ(30秒飛ばす) **88**

● 番組表などでページを切り換える

● 設定メニューを表示させる

● 音声を切り換える **46**



● テレビ操作のボタン(「TV電源」、[TV入力切換]、[+TV音量-])は、「はじめての設定」**24**の「④ テレビリモコン設定」、または「テレビ操作のボタンの設定をする」**136**の設定をすることで、お使いのテレビを操作できます。

事前に準備をする

- テレビやアンテナとの接続、miniB-CASカードの挿入、リモコンの準備など、本機の電源を入れるまでの準備をします。

※ 本機を設置する際には、本機の上および周囲に10cm以上の空間を設けてください。

アンテナ接続に関するお願いとご注意

- ※ アンテナ工事には技術と経験が必要です。アンテナの設置・調整については、お買い上げの販売店にご相談ください。

- BS・110度CSの4K放送をご覧ください
なる場合

アンテナ、ブースターなどの機器や配線に関するご注意があります。「BS・110度CSの4K放送を楽しむ」の「BS・110度CSの4K放送を視聴する場合のご注意」[\[45\]](#)をご覧ください。

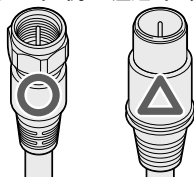
- アンテナや接続に必要なアンテナ線(本機とテレビを接続するためのBS・110度CSデジタル放送専用同軸ケーブル以外の同軸ケーブル)、混合器、分波器、分配器などは付属されていません。

機器の配置や端子の形状、受信する放送の種類(電波の種類)などに合わせて適切な市販品を別途お買い求めください。

- F型コネクタがネジ式のアンテナ線をおすすめします。

差込式のものを使用する場合は、本機のアンテナ端子のネジ部分と確実に接触するものをご使用ください。接触が悪いと、受信できなかったり、時々映らなくなったりすることがあります。

ネジ式の例 差込式の例



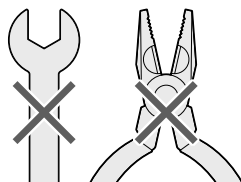
- F型コネクタのピンが曲がっていないか確認してください。

曲がったままで接続すると、折れたり、ショートしたりすることがあります。

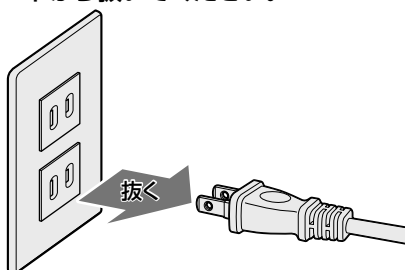


- アンテナ線のF型コネクタは、ゆるまない程度に手で締めつけてください。

工具などで締めつけすぎると、壁のアンテナ端子や本機のアンテナ入力/出力端子、背面パネルが破損するおそれがあります。



- アンテナを接続するときは必ず本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

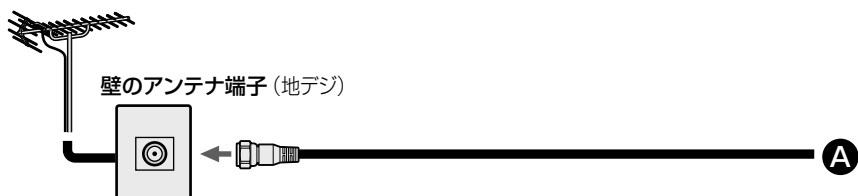


デジタル放送用アンテナ端子をつなぐ

地上デジタル放送のみ受信できる場合

UHFアンテナは、地上デジタル放送対応のアンテナをおすすめします。また、ご使用中のUHFアンテナでも一部の地上デジタル放送を受信できる場合があります。くわしくはお買い上げの販売店にご相談ください。

UHFアンテナ(地デジ)

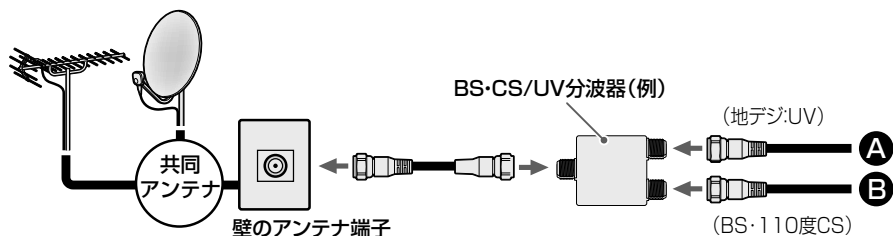


地上デジタル放送とBS・110度CSデジタル放送が受信できる場合

地上デジタル放送とBS・110度CSデジタル放送のアンテナ端子が1つのときと、アンテナ端子が別々のときで接続方法が異なります。ご自宅のアンテナ端子に合わせて接続してください。

アンテナ端子が1つのときは

マンションなどの共同アンテナで、地上デジタル放送とBS・110度CSデジタル放送の信号が混合で出力される壁からのアンテナ端子が1つの場合は、分波器を使って地上デジタル放送の信号とBS・110度CSデジタル放送の信号を分けてください。

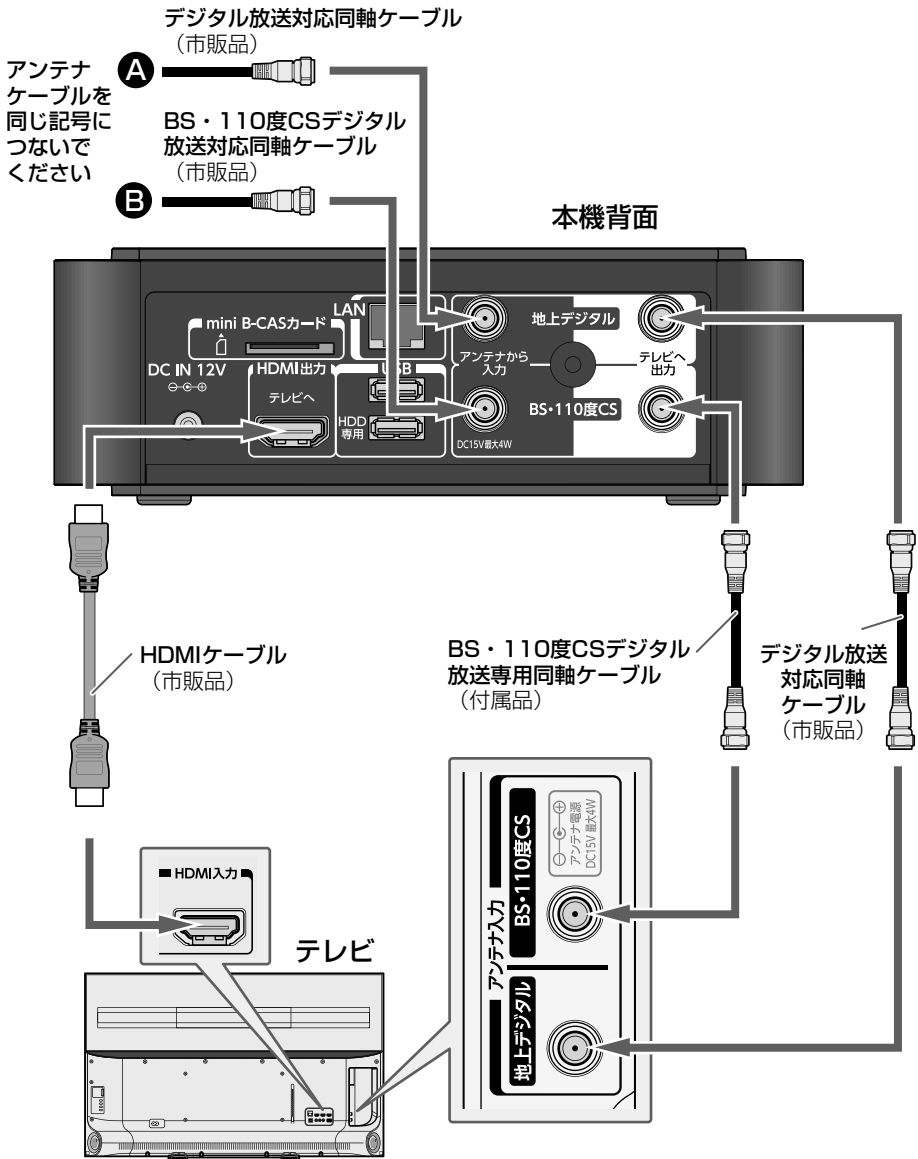


アンテナ端子が別々のときは

BS・110度CS共用アンテナ



- 地上デジタル放送用アンテナの接続については、上記「地上デジタル放送のみ受信できる場合」を参照してください。



- 1080pの映像信号を出力する場合は、ハイスピードHDMI[®]ケーブル(市販品)をご使用ください。
- 4Kの映像信号(2160p)を出力する場合は、プレミアムハイスピードHDMI[®]ケーブル(市販品)をご使用ください。
- 4K/HDR信号を視聴するためには、テレビ側のHDMI入力端子の設定をご確認ください。(接続するテレビの設定方法については、テレビの取扱説明書を参照してください。)

- 接続確認済みHDMIケーブルについては、以下になります。(2018年11月現在)
 - ・ JVCケンウッド HDMIケーブル EPシリーズ
- ※ 東芝テレビとの接続動作を確認しておりますが、すべてのケーブルでの動作を保証するものではありません。最新情報については、以下のホームページでご確認ください。
<http://www.toshiba.co.jp/regza>

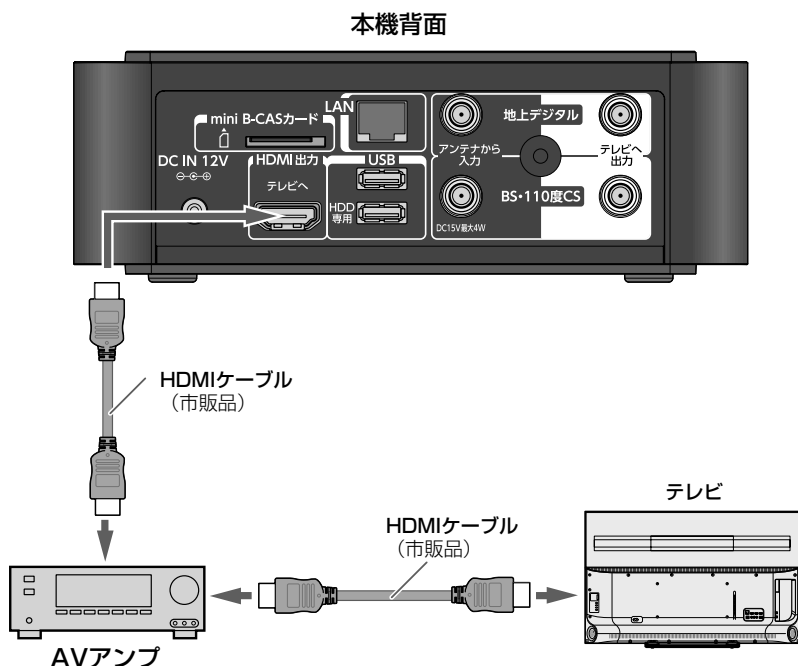
■著作権保護について

本機のHDMI出力端子は、HDCPで著作権保護されている映像に対応しています。
対応HDCPバージョン：HDCP1.4、HDCP2.2

※ HDCP非対応のテレビ、モニターに接続すると放送を録画した番組などの映像や音声は出力されません。

AV アンプとつなぐ

- Dolby信号に対応したアンプと接続すると、それぞれの音声を楽しむことができます。
- 信号に応じてHDMIロゴのあるハイスピードHDMI[®]ケーブルまたはプレミアムハイスピードHDMI[®]ケーブル(市販品)をお使いください。



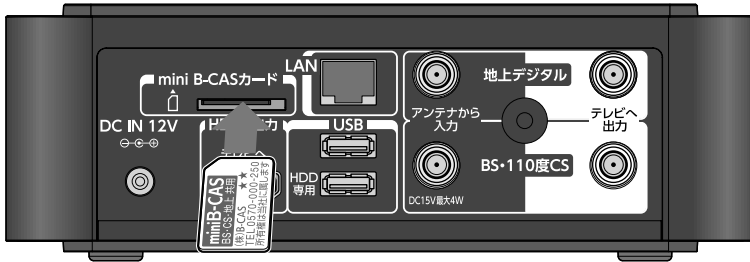
※ テレビが4K入力に対応していても(HDCP2.2に対応)、AVアンプがHDCP2.2に対応していない場合、4K画質での視聴ができません。

miniB-CAS (ミニビーカス) カードを挿入する

miniB-CASカードの赤色面を上に向け、★マークのある側から本機背面のカード挿入口にまっすぐ差し込む。

- 「カチッ」と音がするまで奥へしっかりと差し込んでください。

本機背面

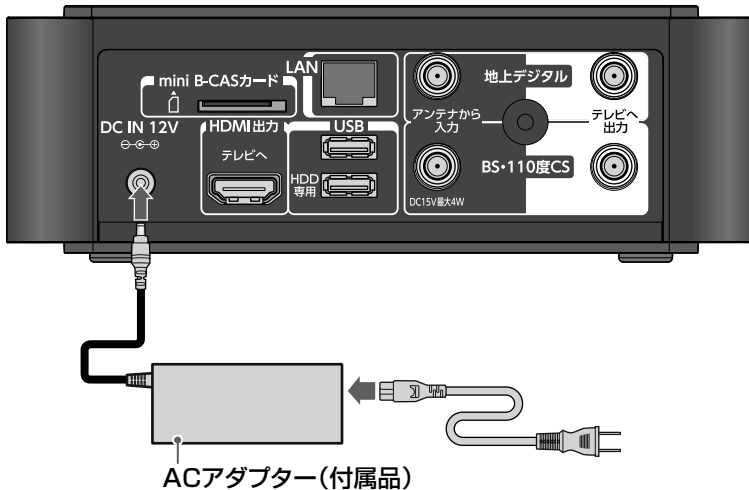


電源コードを接続する

1. ACアダプターのDCプラグを本機背面のDC-IN端子にしっかりと接続し、ACアダプターに電源コードを接続する

- 奥までしっかりと差し込みます。

本機背面



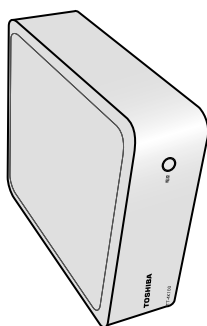
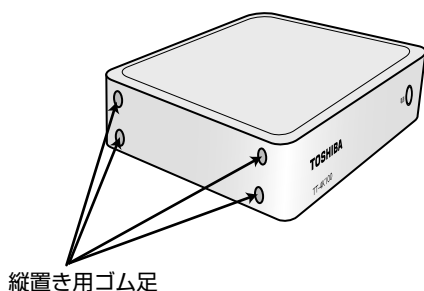
ACアダプター(付属品)

2. 電源プラグをコンセントに差し込む

- 電源プラグは交流100Vコンセントに根元まで確実に差し込んでください。

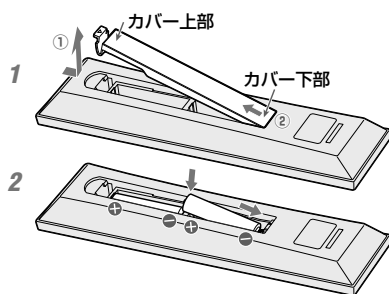
本機を縦置きする場合には

1. 付属のゴム足を本機に貼り付けます
(4か所)
2. ゴム足を貼り付けた面を下にして縦置きにします



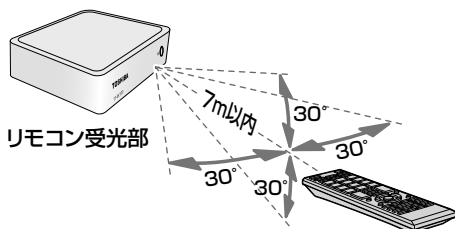
リモコンに電池を入れる

1. 電池カバーをはずす
 - カバー上部のツメをカバー下部方向に押しながすくい上げ、電池カバーを取りはずします。
2. 乾電池を入れる
 - 極性表示 $+$ と $-$ を確かめて、間違えないように入れます。
3. 電池カバーを閉める
 - カバー下部の突起をリモコン本体のみに差し込んで、パチンと音がするまでカバー上部を押し込みます。



リモコンの使用範囲について

- リモコンは、本体のリモコン受光部に向けて使用します。
- リモコン受光部に強い光を当てないでください。リモコンが動作しないことがあります。
- リモコン受光部とリモコンの間に障害物を置かないでください。動作しなかったり、動作しにくくなったりします。



- リモコン受光部から
距離…7m以内
角度…上下左右30° 以内(7m以内)

テレビの入力を切り換える

1. テレビの電源を入れる
2. テレビの入力切替で、テレビの入力を本機が接続されている入力に切り換える

本機の電源を入れる

「電源」表示が赤色に点灯しているとき(「待機」のとき)

1. リモコンまたは本機の「電源」ボタンを押す
 - 電源が「入」になり、「電源」表示が緑色に点灯します。
画面が表示されるまでに少し時間がかかりますが、そのままお待ちください。
 - 「はじめての設定」の開始画面が表示されるので、続けて「はじめての設定をする」をご覧ください。

24

「電源」表示が消えているとき(「切」のとき)

1. リモコンまたは本機の「電源」ボタンを押す
 - 電源が「入」になり、「電源」表示が緑色に点灯します。

電源を「待機」／「切」にする

1. 電源が「入」のときに、リモコンまたは本機の「電源」ボタンを押す
 - 「待機」と「切」は、録画などの内部動作状態で自動的に変わります。

「はじめての設定」をする

「はじめての設定」について

※ miniB-CASカードが正しく挿入されていないと「はじめての設定」ができません。
あらかじめご確認ください。**[21]**

※「電波の状態が良くありません。」のメッセージが表示されたときは、受信状態が良くなってから「はじめての設定」をやり直すとき**[26]**の操作で「はじめての設定」をやり直してください。

「はじめての設定」の流れ

- 本機を使用できるようにするための基本的な設定をします。

① 地域設定

地域と郵便番号を設定することで、お住まいの地域に密着したデータ放送（たとえば、地域の天気予報など）や緊急警報放送を視聴できるようになります。

② 地上デジタルチャンネル設定

お住まいの地域情報を設定することで、地上デジタル放送の受信チャンネルが自動設定されます。

③ BS・110度CSアンテナレベル確認

衛星放送の電波の強さを確認します。

④ テレビリモコン設定

本機のリモコンでテレビを操作する場合に設定します。

⑤ HDMI 連動設定

HDMI 接続したテレビと連動して動作する場合の設定をします。

はじめての設定

はじめて電源を入れたときに、「アンテナを接続し、B-CASカードを挿入してください」画面が表示されます。内容をよくお読みになり、**[決定]**を押します。

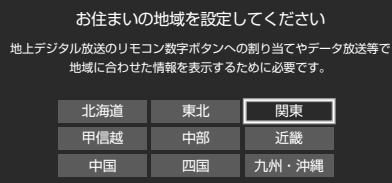
その後、「4K対応テレビでのご利用について」画面が表示されます。内容をよくお読みになり、**[決定]**を押します。

① 地域設定

- お住まいの地域に密着したデータ放送（たとえば、地域の天気予報など）や緊急警報放送を視聴できるようになります。

1. お住まいの地域を **▲・▼・◀・▶** で選び、**[決定]**を押す

例

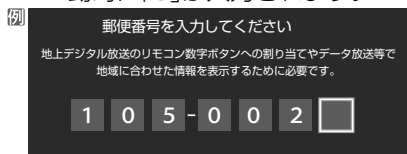


2. お住まいの都道府県を **▲・▼・◀・▶** で選び、**[決定]**を押す

3. お住まいの地域の郵便番号を **1** ~

10 で入力し、**決定** を押す

- 「0」は **10** で入力します。
- 間違えて入力したときは、**◀** を押してカーソルを戻してからもう一度入力します。
- 郵便番号入力で、上3ケタを入力して **決定** を押すと残りの4ケタは自動的に「0」が入力されます。



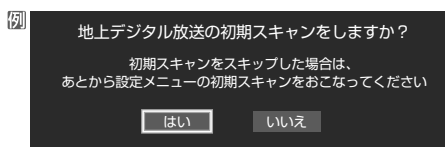
- 「地域設定」が終わると、「地上デジタルチャンネル設定」の画面が表示されます。

② 地上デジタルチャンネル設定

- 地上デジタル放送のチャンネルを設定します。同時にデータ放送の地域も設定されます。

1. 画面の説明を読み、**◀▶** で「はい」を選んで **決定** を押す

※ お住まいの地域で地上デジタル放送が運用されていない場合は、「いいえ」を選んで「③BS・110度CSアンテナレベル確認」に進みます。(わからない場合は、「はい」を選びます)



- 「はい」を選ぶと初期スキャンが自動的に始まります。終了すると、手順2の画面が表示されます。

2. 地上デジタルチャンネルの設定内容

を確認し、**決定** を押す

- 画面は、リモコンのワンタッチ選局ボタンに設定された地上デジタル放送の放送局を一覧で示しています。

例

初期スキャンが完了しました。

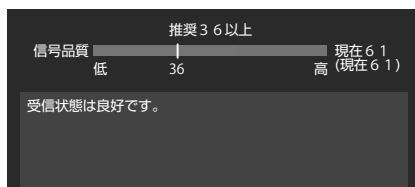
1	011	NHK総合・東京
2	021	NHKEテレ東京
3	031	t v k
4	041	日本テレビ
5	051	テレビ朝日
6	061	TBS
7	071	テレビ東京
8	081	フジテレビジョン
9	091	TOKYO MX
10	031	テレ玉
11	---	---
12	121	放送大学

- 設定された内容を変更する場合は、「はじめての設定」がすべて終了したあとで、「チャンネルをお好みに手動で設定する」**129** の操作をしてください。
- 「地上デジタルチャンネル設定」が終わると、「BS・110度CSアンテナレベル確認」の画面が表示されます。

③ BS・110度CSアンテナレベル確認

- 衛星放送の電波の強さを確認します。

1. アンテナの受信状態を確認し、**決定** を押す

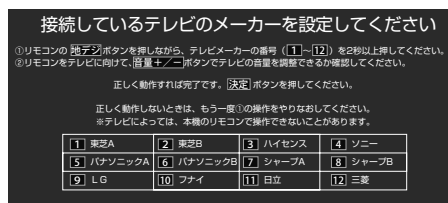


- 「BS・110度CSアンテナレベル確認」が終わると、「テレビリモコン設定」の画面が表示されます。

④ テレビリモコン設定

- 本機のリモコンでテレビの電源入／切、入力切換、音量調整などの操作をする場合に設定します。「はい」を選ぶと、下記の設定の説明の画面が表示され、「いいえ」を選ぶと、スキップして次の「HDMI連動設定」の画面が表示されます。

1. **「地デジ」**を押しながら、お使いのテレビのメーカーの番号(1～12)を2秒以上押す

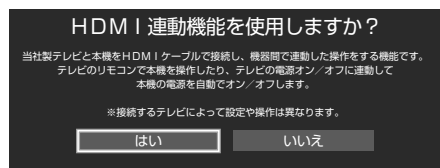


- 「テレビリモコン設定」が終わると、「HDMI連動設定」の画面が表示されます。

⑤ HDMI連動設定

- テレビのリモコンで本機を操作したり、テレビの電源にあわせて本機の電源をオン/オフすることができます。

1. **◀▶**で「はい」または「いいえ」を選んで**決定**を押す



- 「HDMI連動設定」が終わると、設定内容確認画面が表示されます。「完了」を選んで**決定**を押すと、はじめての設定が終了します。

「はじめての設定」をやりなおすとき

「はじめての設定」をしてもアンテナ接続の不具合などで地上デジタル放送が映らなかった場合は、不具合の対処をしたあとで、「はじめての設定」をやり直すことができます。

1. **設定**を押し、**▲▼**と**決定**で「初期設定」⇒「はじめての設定」の順に進む
 - 「はじめての設定」の説明画面が表示されます。
2. 画面の説明を読んで、**決定**を押す
 - ワンタッチ選局ボタンのチャンネル設定を手動でお好みに設定したあとで「はじめての設定」をやり直すと、手動で設定した内容が消去されます。その場合は、もう一度チャンネルボタン設定をしてください。
 - データ放送を視聴している状態で「はじめての設定」をやり直した場合、放送によっては設定終了後そのままの状態では設定内容は反映されません。設定終了後に再度データ放送を選局してください。

テレビ番組を楽しむ

リモコンで番組を選ぶ



1. **地デジ**、**BS**、**CS**、**BS/CS 4K** で放送の種類を選ぶ

- 今見ている放送と同じ種類の放送を見る場合は、この操作は不要です。
- BS・110度CSの4K放送については、「BS・110度CSの4K放送を楽しむ」**44**ページもご覧ください。

2. チャンネルを選ぶ(選局する)

- 以下の3とおりの選局方法があります。

ワンタッチ選局ボタンで選局する (ワンタッチ選局)

- ワンタッチ選局ボタン **1**～**12** で選局します。(次ページの「お知らせ」をご覧ください)
- BSデジタル放送、110度CSデジタル放送、BS・110度CSの4K放送のワンタッチ選局は、グループを指定して選局することができます。
 - ・ 通常はグループAのワンタッチ選局になります。

グループを指定して選局する

- 見ている放送と同じ種類の放送切換ボタンを押すと、選局ガイドが表示されます。
例：BSデジタル放送を見ているときに **BS** を押すと、BSデジタル放送の選局ガイドが表示されます。
- 選局ガイドを表示中に見ている放送と同じ種類の放送切換ボタンを押すと、選局ガイドに表示されるグループが切り換わります。
 - ・ BSデジタル放送は、グループA (BS101 (NHKBS1) ～ BS222 (BS12トゥエルビ))とグループB (BS231 (放送大学BS1) ～ BS258 (ディーライフ))があります。
 - ・ 110度CSデジタル放送は、グループA～グループFがあります。
 - ・ BS・110度CSの4K放送は、グループAとグループBがあります。
- **1**～**12** ボタンを押すと、選局ガイドに表示されているチャンネルに切り換わります。

チャンネルへ・Vボタンで選局する(順次選局)

-  でチャンネルが順次に切り換わります。

チャンネル番号を入力して選局する(ダイレクト選局)

- チャンネル番号は番組表で確認できます。

- ①  を押し、・ と  で「チャンネル番号入力」を選ぶ
 - ・ 画面の右上に 、、、 のどれかが表示されます。
・ で切り換えられます。

- ②  ~ ₍₀₎ でチャンネル番号を入力する

例 103チャンネルを選ぶ場合⇒  ₍₀₎  の順に押します。(「0」は  で入力)
 ・ 入力した番号を消すには、 を押します。

・ _(*) を使った入力ができます。例   → 300番以降の最小チャンネル

- 枝番のついた放送一覧が表示されたとき



- ・ ・ で選んで  を押すか、₍₀₎ ~  で枝番を指定して選びます。

お知らせ

- 視聴できるデジタル放送のチャンネルやワンタッチ選局ボタンの番号は、番組表  で確認することができます。
-  ~  でワンタッチ選局ができるのは以下のとおりです。（「チャンネルをお好みに手で設定する」 で変更できます）
 - ・  を押したとき→「はじめでの設定」 で各ボタンに登録されたチャンネル。
 - ・  を押したとき→各ボタンにあらかじめ登録されているチャンネル。
 - ・  を押したとき→110度CS デジタル放送の一部のチャンネル（ と  だけ）
 - ・   を押したとき→放送局からの指定などにより各ボタンにあらかじめ登録されたチャンネル。
- ❖ 一つの放送局が複数のチャンネルで異なった番組を放送している場合、その放送局のチャンネルボタンを繰り返し押せばチャンネルを順番に選局できます。
- 枝番のついた放送一覧は、地上デジタル放送で隣接地域の同じチャンネル番号の放送を複数受信できたときに表示されます。
- 視聴制限のある番組の視聴には視聴制限設定が必要です。詳しくは「視聴できる番組を制限する」 をご覧ください。

字幕を表示させる

字幕放送番組で字幕の表示/非表示を切り換える

- ① **字幕** を押す

サブメニューから切り換えるには

- ① **サブメニュー** を押し、▲・▼と**決定**で「字幕」を選ぶ

- ② ▲・▼で「字幕オン」または「字幕オフ」を選び、**決定**を押す

※「字幕オン」の代わりに「日本語字幕」のような表示になることがあります。
複数言語がある場合は選択するものが増えることもあります。

操作ガイドについて

- 番組表や操作画面などには、そのときに使用できる(または使用する)リモコンボタンの操作ガイドが表示されます。
- よく使う機能がカラーボタン(**青**、**赤**、**緑**、**黄**)や**サブメニュー**に割り当てられています。

例 録画リスト



例 操作画面



サブメニューについて

- **サブメニュー**を押してサブメニューを表示させ、さまざまな便利機能を使うことができます。
- サブメニューの内容は、**サブメニュー**を押すときの場面によって変わります。
- サブメニューで選択できる項目は、放送の種類や外部機器の有無などによって変わります。選択できない項目は、薄くなって表示されます。

例 デジタル放送のテレビ番組を視聴中

機能 (一部省略しています)	詳細記載ページ
番組説明	32
録画	74
連ドラ予約	77
予約リスト	83
メディアプレーヤー	110
時計	49
字幕	29
チャンネル番号入力	28
その他の操作	
信号切換	
アンテナレベル表示	125
データ放送終了	42
テレビ/ラジオ/データ切換	43
お知らせ	142
本機の情報	141
映像信号切換	46
音声信号切換	46
音多切換	46
降雨対応放送切換	46

番組情報や番組説明を見る

番組情報を見る

1. [画面表示]を押す

- 現在視聴しているチャンネルや番組の情報が表示されます。(チャンネル以外
の表示は数秒後に消えます)
- 表示を消すには、もう一度[画面表示]を押します。
- 選局時には一部省略された状態で表示されます。



番組説明を見る

1. [サブメニュー]を押し、▲・▼で「番組説明」を選んで、[決定]を押す

2. さらに詳しい説明を見るときは▼を押す

- 「詳細情報を取得していません」が表示されたときは、[画面]を押します。
 - ・ 詳細情報が取得できなかった場合には、「詳細情報を取得できませんでした」と表示されます。
 - ・ 詳細情報がなかった場合には、「番組の詳細情報はありません」と表示されます。

3. 説明画面を消すには、[決定]を押す



番組表で番組を探す

番組表を使う

- 番組表は、放送電波で送られてくる番組情報を基にして表示されます。
- お買い上げ直後や電源を入れた直後、放送の種類を変えたときなどには、番組内容の表示に時間がかかることがあります。
- 番組表を最新にしておくために、本機の電源を毎日2時間以上「切」または「待機」にすることをおすすめします。
- 視聴年齢制限されている番組は、伏せ字(「****」)で表示されます。

1. 番組表を押す

- 通常番組表が表示されます。(「週間番組表」については「週間番組表を表示させる」[35](#)をご覧ください)
- 放送の種類を変えるときは、**地デジ**、**BS**、**CS**、**BS/CS**、**4K**を押します。
- 独立データ放送やラジオ放送の番組表に切り換えるときは、サブメニューの「テレビ/ラジオ/データ切換」[43](#)で選びます。
- 番組表を消すときは、**終了**を押します。

2. ▲▼◀▶で番組を選ぶ

- 選んだ番組の番組説明を見るには、サブメニューから「番組説明」を選びます。
- 番組表に表示しきれていないチャンネルを表示させるには、**◀▶**または「**10秒戻し 30秒送り**」を押します。

3. 決定を押す

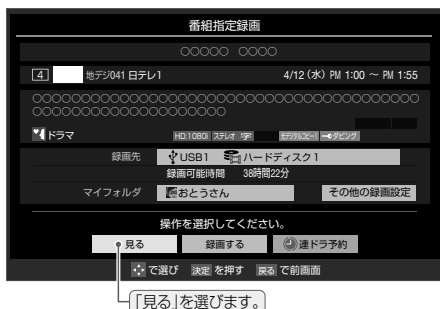
- 現在放送中の番組を選んだときは、番組指定録画画面が表示されます。
- これから放送される番組を選んだときは、番組指定予約画面になります。[75](#)の手順3をご覧ください。

- 視聴年齢制限されている番組を選んだときは、メッセージが表示されます。番組を見る場合は、**決定**を押し、**1**～**10**^(○)で暗証番号を入力します。

4. 現在放送中の番組を見るときは、

▲▼◀▶で「見る」を選び、**決定**を押す

- 画面の図は、現在放送中の番組でUSBハードディスクが接続されている場合の例です。



- 番組指定録画画面からは、録画[74](#)、連ドラ予約[77](#)の操作ができます。
- 番組指定予約画面からは、視聴予約[75](#)、録画予約[75](#)、連ドラ予約[77](#)の設定ができます。

[通常番組表画面：7チャンネル表示の例]

放送の種類

リモコンボタン、チャンネル、放送局

録画予約がある時間帯 (赤色の縦線表示)

録画予約アイコン

視聴予約アイコン

連ドラ予約アイコン

別の番組がある時間帯 (灰色の二重縦線表示)

予約重複時間帯 (オレンジ)

予約重複アイコン

放送メディア(ラジオ/データ)

番組表の日付

現在の日時

選択中の番組

色分け設定をしたジャンルに該当する番組は、開始時刻と背景が設定した色になります。

放送時間の短い番組は、番組名などが表示されます。

リモコンボタンの操作ガイド

お知らせ

- 放送波を選局している条件などによっては番組表が空欄になることがあります。この場合は、空欄の部分を選んでから、「番組表を更新する」**[36]**の操作をしてください。
- 番組表に表示できる番組情報は最大8日分です。
- 「チャンネルスキップ設定」**[130]**で、「スキップ」に設定したチャンネルの番組表は表示されません。
- データ放送の視聴中は番組表に切り換わらないことがあります。その場合は、テレビ放送に切り換えてから操作してください。
- 番組の中止・変更・延長などによって、実際の放送内容が番組表と異なることがあります。番組表や番組情報などで表示される内容および利用した結果について、当社は一切の責任を負いません。
- 「放送メディア」は、サブメニューの「テレビ/ラジオ/データ切替」**[43]**で「ラジオ」または「データ」を選んでいるときに表示されます。

視聴制限番組について

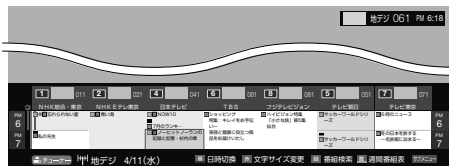
- 視聴制限番組について、詳しくは「視聴できる番組を制限する」**[133]**をご覧ください。
- 番組表で視聴制限を一時解除するときは、「番組表で視聴制限を一時解除する」**[38]**をご覧ください。

番組を見ながら他の番組を探す（ミニ番組表）

- 番組を見ながら、画面の下側にミニ番組表を表示させて番組を探すことができます。

1. 番組表を表示中に を押す

- ミニ番組表が表示されます。
- もう一度押すと、ミニ番組表が消えます。
- 操作方法は、「番組表を使う」**33**の通常番組表の場合と同じです。



番組表を便利に使う

- カラーボタンや番組表のサブメニューで、さまざまな便利機能を使うことができます。
- 番組表またはミニ番組表が表示されているときに以下の操作をします。（ミニ番組表では一部の機能を使用できません）

指定した日時の番組表を表示させる

- 日付と時間帯を選んで番組表を表示させることができます。

1. （日時切換）を押す

2. ・・・で日時を選び、を押す



週間番組表を表示させる

- 選んだ放送局の一週間分の番組表を表示させることができます。

1. で週間番組表を表示させたチャンネルを選び、（週間番組表）を押す

一週間分の番組表を表示させたい放送局の番組を選びます。



- 操作方法は、「番組表を使う」**33**の通常番組表の場合と同じです。
- 番組表の表示を週間番組表にしているときは、「マルチ表示」**36**に切り換えることはできません。

番組説明を見る

- 選択中の番組の番組説明を見ることができます。

1. **サブメニュー** を押し、**▲・▼** で「番組説明」を選んで **決定** を押す

番組表を更新する

- 番組表の中が空になっているときや、最新の番組情報に更新するときは、以下の操作をします。

1. **サブメニュー** を押し、**▲・▼** で「番組情報の取得」を選んで **決定** を押す

番組情報の取得中に表示されます。



※ 番組情報の取得中は映像、音声が出ないことがあります。

※ BS/CS 4K放送録画中は、BS/CS 4K 放送の番組情報の取得ができません。

❖ 番組表で選択している放送局の情報が更新されます。

(更新の範囲は、放送の運用により、一部例外や将来変更されることがあります。)

- BSデジタル放送は番組表全体が更新されます。
- 110度CSデジタル放送は選択した番組が含まれるネットワークの番組表全体が更新されます。
- 地上デジタル放送は選択した番組が含まれる放送局が更新されます。
- BS・110度CSの4K放送は選択した番組が含まれるチャンネルが更新されます。

- 番組情報取得中にほかの操作をすると、情報の取得が中止されることがあります。

- 番組情報の取得を中止するときは、番組情報取得中に **サブメニュー** を押し、サブメニューから「番組情報の取得中止」を選択します。

1チャンネル表示とマルチ表示を切り換える

- BSデジタル放送や地上デジタル放送(どちらもテレビ放送だけ)では、放送事業者ごとの代表チャンネル表示(1チャンネル表示)とマルチチャンネル表示(マルチ表示)の切り換えができます。

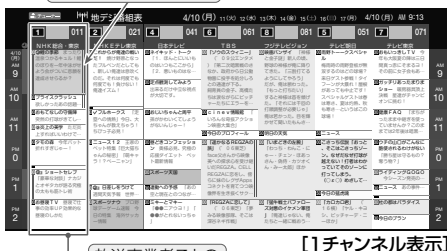
1. 切り換える放送局の番組をどれか選び、**サブメニュー** を押す

2. **▲・▼** で「1チャンネル表示」(または「マルチ表示」)を選び、**決定** を押す

- 番組表の表示によって、「マルチ表示」または「1チャンネル表示」が表示されています。

- 「1チャンネル表示」、「マルチ表示」を選ぶと、以下のように切り換わります。

別の番組がある場合、灰色の二重縦線を表示



放送事業者ごとの1チャンネル表示

放送事業者ごとのマルチチャンネル表示



【マルチ表示】

- 「マルチ表示」での番組予約については、**76頁** をご覧ください。

文字サイズを大きくする

- 番組表の文字が小さくて見えにくいときなどに、文字の大きさを切り換えることができます。

1. **赤** を押して文字の大きさを切り換える

- ボタンを押すたびに、文字の大きさが変わります。

文字の大きさに合わせて、表示する時間帯も変わります。

ジャンル別に色分けする

- 番組のジャンル(分野)別に色分けをすれば、見たい番組を探すのに便利です。
- お買い上げ時に設定されている色分けを、以下の操作で変更することができます。

1. **サブメニュー** を押し、**▲・▼** で「ジャンル色分け」を選んで **決定** を押す

2. 設定する色を **▲・▼** で選び、**決定** を押す



3. **▲・▼・◀・▶** でジャンルを選び、**決定** を押す

- **決定** を押すと手順2の画面に戻ります。ほかの色の設定を変える場合は、操作を繰り返します。

- 「指定しない」を選ぶと、色分け表示がなくなります。



4. **▲・▼** で「設定完了」を選び、**決定** を押す

番組記号の説明を見る

- **新**、**再**、**字**などの番組記号の意味を調べることができます。

1. **サブメニュー** を押し、**▲・▼** で「番組記号一覧」を選んで **決定** を押す

- 番組記号の説明が表示されます。
- 表示されるのは番組記号の一部です。
- 見終わったら、**決定** を押します。

表示させるチャンネル数を設定する

- 番組表に表示させるチャンネル数を切り換えることができます。

1. **サブメニュー** を押し、**▲・▼** と **決定** で「番組表表示設定」⇒「表示チャンネル数」の順に進む

2. **▲・▼** で表示させるチャンネル数を選び、**決定** を押す

チャンネルの並び順を設定する

- 番組表に表示させるチャンネルの並び順を切り換えることができます。

1. **サブメニュー** を押し、**▲・▼** と **決定** で「番組表表示設定」⇒「チャンネル並び順」の順に進む
2. **▲・▼** で以下のどちらかを選び、**決定** を押す
 - ・ **通常**
放送局推奨の並び順になります。
 - ・ **チャンネルボタン優先**
ワンタッチ選局ボタン
1 ～ **12** の番号順に並びます。

番組概要の表示／非表示を設定する

- 番組の概要説明を表示させるかどうかを設定します。

1. **サブメニュー** を押し、**▲・▼** と **決定** で「番組表表示設定」⇒「番組概要表示」の順に進む
2. **▲・▼** で「表示する」、「表示しない」のどちらかを選び、**決定** を押す

地上デジタル放送局の表示位置を設定する

- 地上デジタル放送の番組表で放送局の表示位置を設定します。

1. **サブメニュー** を押し、**▲・▼** と **決定** で「番組表表示設定」⇒「地デジ表示」の順に進む
2. **▲・▼** で以下のどちらかを選び、**決定** を押す

- ・ **視聴チャンネル中央表示**
視聴中のチャンネルが番組表の中央に表示されます。
- ・ **チャンネル順優先表示**
お住まいの地域のチャンネル順に表示されます。

番組表の放送メディアを切り換える

- 番組表に表示させる放送メディア(テレビ、ラジオ、独立データ)を選びます。
- 放送が運用されていない放送メディアに切り換えることはできません。

1. **サブメニュー** を押し、**▲・▼** で「テレビ/ラジオ/データ切換」を選んで **決定** を押す
2. **▲・▼** で「テレビ」、「ラジオ」、「データ」から選んで **決定** を押す

番組表で視聴制限を一時解除する

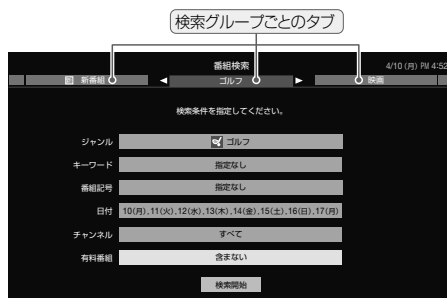
- 番組表を表示中に視聴制限の一時解除ができます。

1. **サブメニュー** を押し、**▲・▼** で「視聴制限一時解除」を選んで **決定** を押す
 - 暗証番号入力画面が表示されます。
 - ※ すでに一時解除されている場合や、地上デジタル放送などの場合は、「視聴制限一時解除」は選べません。
2. **1** ～ **10**⁰ で暗証番号を入力する
 - 番組表の視聴制限が一時解除されます。

条件を絞り込んで番組を探す

- 番組のジャンル(分野)やキーワードなどの条件を指定して、見たい番組を探すことができます。

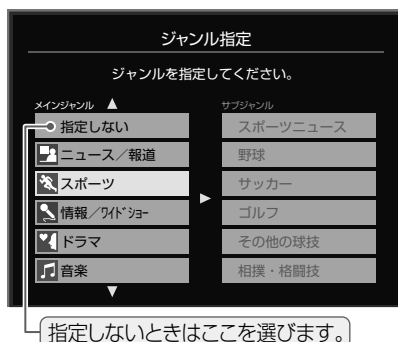
1. 番組表を押して、番組表を表示させる
2. **緑** (番組検索)を押す
 - 番組検索画面が表示されます。
3. 検索するグループのタブを◀▶で選ぶ
 - 以降の手順で指定する検索条件のうち、「日付」以外は検索グループごとに記憶されます。



4. 検索条件を指定する
 - 「ジャンル」、「キーワード」、「番組記号」のどれかは必ず指定してください。

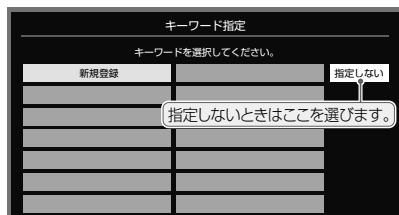
「ジャンル」を指定するとき

- ① ▲・▼で「ジャンル」を選び、**決定**を押す
- ② 指定するジャンルを▲・▼・◀・▶で一つ選び、**決定**を押す



「キーワード」を指定するとき

- ① ▲・▼で「キーワード」を選び、**決定**を押す
- ② 指定するキーワードを▲・▼・◀・▶で選び、**決定**を押す
 - お買い上げ時は登録されていません。



新しいキーワードを登録する場合

- ① ▲・▼・◀・▶ で「新規登録」を選び、**決定**を押す
● 文字入力画面が表示されます。
- ② キーワードを入力して、**決定**を押す
● 文字入力の方法は、**144**をご覧ください。
● キーワードは14個まで登録できます。

キーワードを編集する場合

- ① 編集するキーワードを ▲・▼・◀・▶ で選び、**青**を押す
- ② キーワードを編集し、**決定**を押す

キーワードを削除する場合

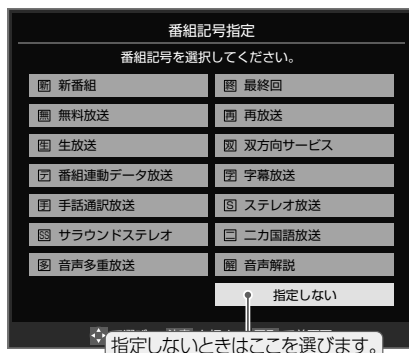
- ① 削除するキーワードを ▲・▼・◀・▶ で選び、**赤**を押す
- ② ◀・▶ で「はい」を選び、**決定**を押す

お知らせ

- 番組の詳細情報はキーワード検索の対象になっていません。
- 「チャンネルスキップ設定」**130**で、「スキップ」に設定したチャンネルの番組は番組検索の対象になりません。
- 番組検索の結果は指標としてお使いください。内容および利用した結果について、当社は責任を負いません。

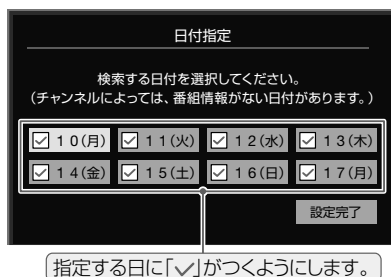
「番組記号」を指定するとき

- ① ▲・▼ で「番組記号」を選び、**決定**を押す
- ② 指定する番組記号を ▲・▼・◀・▶ で選び、**決定**を押す



「日付」を指定するとき

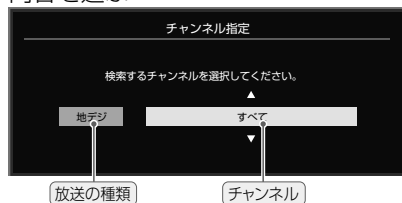
- ① ▲・▼ で「日付」を選び、**決定**を押す
- ② 指定する日付を ▲・▼・◀・▶ で選び、**決定**を押す
● **決定**を押すたびに、☒ (指定する) と ☐ (指定しない) が交互に切り替わります。
● 7日先まで指定できます。



- ③ 指定が終わったら、▲・▼・◀・▶ で「設定完了」を選び、**決定**を押す

「チャンネル」を指定するとき

- ▲・▼で「チャンネル」を選び、(決定)を押す
- 指定する項目を◀・▶で選び、▲・▼で内容を選ぶ



放送の種類

すべて / BS / CS / BS/CS 4K / 地デジ

チャンネル

指定した放送の種類やメディアに該当するチャンネル / すべて

- 指定が終わったら、(決定)を押す

「有料番組」を指定するとき

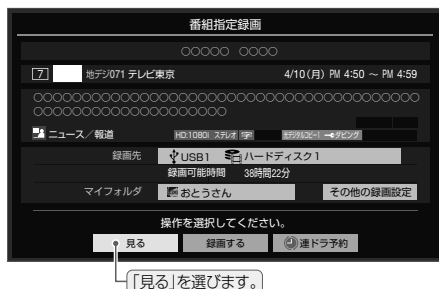
- 有料番組を検索対象に含めるかどうかを指定します。
- ▲・▼で「有料番組」を選び、(決定)を押す
 - ▲・▼で「含む」、「含まない」のどちらかを選び、(決定)を押す

- ▲・▼で「検索開始」を選び、(決定)を押す
 - 選択中のタブの検索グループに、手順3で指定した検索条件が上書きで保存されます。
- 「番組検索結果」画面から、見たい番組を▲・▼で選んで(決定)を押す



- 現在放送中の番組を選んだときは、「番組指定録画」画面が表示されます。
- これから放送される番組を選んだときは、「番組指定予約」画面が表示されます。[「75」の手順3](#)をご覧ください。
- すべての放送が表示されているときに、**地デジ**を押すと地デジ放送だけ、**BS**を押すとBS放送だけ、**CS**を押すとCS放送だけ、**BS/CS 4K**を押すとBS・110度CSの4K放送だけの検索結果になります。

- ▲・▼・◀・▶で「見る」を選び、(決定)を押す



「見る」を選びます。

- 選んだ番組の放送画面になります。

データ放送やラジオ放送を楽しむ

データ放送について

- デジタル放送では映像や音声によるテレビ放送以外に、データ放送があります。
- データ放送には、テレビ放送チャンネルとは別の独立したチャンネルで行われているデータ放送のほかに、テレビ放送チャンネルで提供されている番組連動データ放送や、番組案内、ニュース、天気予報などのデータ放送があります。

デジタル放送の双方向サービスについて

- インターネットや電話回線を利用して、視聴者と放送局との間で双方向に通信できるサービスです。クイズ番組に参加して回答したり、ショッピング番組で商品を購入したりすることができます。(本機は、電話回線を利用した双方向サービスには対応しておりません)

- 地上デジタル放送の双方向サービスには、放送番組に連動した通信サービスと、放送番組とは無関係な通信サービスがあります。

非リンク型サービス



放送番組とは無関係な通信サービスのときに表示されます。
(文字表示は数秒で消えます。)

ラジオ放送について

- ラジオ放送が運用された場合、本機で放送を受信することができます。

Hybridcast™(ハイブリッドキャスト)について

- 本機は、Hybridcast™(ハイブリッドキャスト)のサービスに対応しています。
Hybridcast™(ハイブリッドキャスト)は、放送と通信が連動・連携したサービスです。

連動データ放送を楽しむ

- 一部の番組には番組連動データ放送があります。双方向サービスが行われている番組連動データ放送では、番組に参加して楽しむことができます。
- テレビ放送チャンネルで、天気予報やニュース、番組案内などのデータ放送を提供している場合があります。

1. **[dデータ]**を押す

- 番組によっては押す必要がない場合があります。
- 放送画面に表示される操作メニューや操作説明などに従って操作をします。

2. データ放送を終了するには、

[サブメニュー]を押し、▲・▼と**(決定)**で「その他の操作」⇒「データ放送終了」の順に進む

独立データ放送やラジオ放送を楽しむ

- BSデジタル放送などで運用される独立データ放送チャンネルやラジオ放送チャンネルを選ぶときの操作です。

1. 放送の種類を選ぶ

- BSデジタルの独立データ放送やラジオ放送を視聴する場合は、**BS**を押します。

2. **サブメニュー**を押し、**▲・▼**と**決定**で「その他の操作」⇒「テレビ/ラジオ/データ切換」の順に進む

3. **▲・▼**で「データ」または「ラジオ」を選び、**決定**を押す

- で他のチャンネルに切り換えられます。
チャンネル番号を入力して選ぶこともできます。
- データ放送やラジオ放送を終了するには、上記の操作で「テレビ」を選びます。

お知らせ

- 放送データの取得中は一部の操作ができないことがあります。
- 本機の放送切換ボタンとチャンネルボタンでは、データ放送とラジオ放送の選択やチャンネル切換はできません。
- 放送画面の操作説明などで、**データ**は「データボタン」、「データ放送ボタン」などと表示されることがあります。
- データ放送、Hybridcast™は録画できません。

■ 双方向サービスについて

- ・ 双方向サービスを利用する場合は、あらかじめインターネットへの接続と設定（**113**～**119**）をしてください。また、双方向サービスの利用には登録の申し込みなどが必要な場合があります。
- ・ 双方向サービスでは、お客様の個人情報の入力を要求されることがありますが、接続先のサイトによってはSSLなどによる通信時のセキュリティ対策が行われていない場合があります。
- ・ 双方向サービスの利用時は、通信に時間がかかり、次の操作がすぐにできないことがあります。
- ・ 本機が動作中に電源プラグを抜かないでください。本機が記憶している双方向サービスでのお客様のポイント情報などが更新されないことがあります。

■ Hybridcast™サービスについて

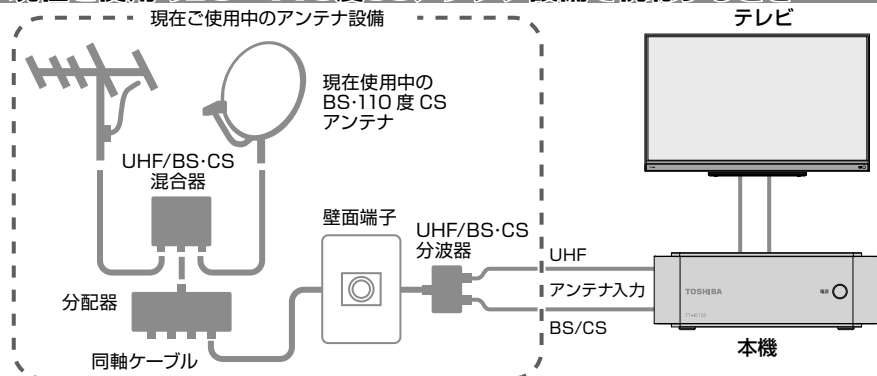
- ・ Hybridcast™サービスを利用する場合は、あらかじめインターネットへの接続と設定（**113**～**119**）をしてください。また、Hybridcast™サービスの利用には登録の申し込みなどが必要な場合があります。



- ご注意** 本機は 8K 放送には対応していません。

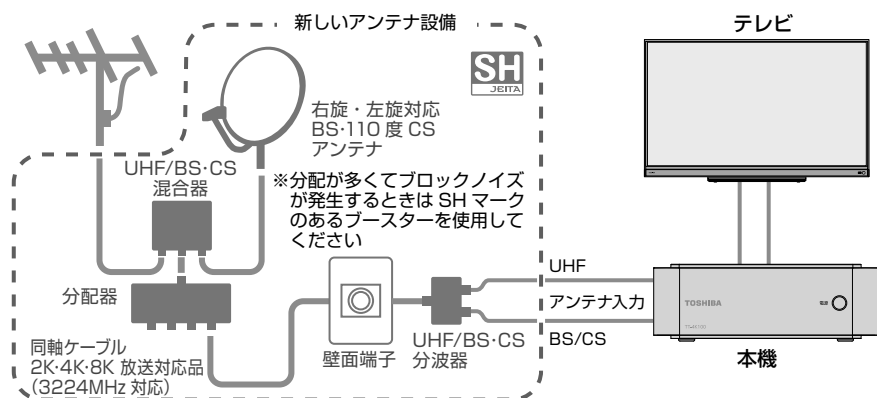
BS・110度CSの4K放送を視聴する場合のご注意

現在ご使用のBS・110度CSアンテナ設備で視聴するとき



現在ご使用中のアンテナ設備と本機のアンテナ入力を接続し、本機のアンテナ出力をテレビのアンテナ入力に接続していただくことで、NHK、BS日テレ、ビーエス朝日、BS-TBS、ビーエスフジ、BSジャパンの4K放送をご覧いただけます。

新しいBS・110度CSアンテナ設備で視聴するとき



SHマークのついた新4K8K衛星放送に対応したBS・110度CSアンテナ設備と本機のアンテナ入力を接続し、本機のアンテナ出力をテレビのアンテナ入力に接続いただくことで、NHK、BS日テレ、ビーエス朝日、BS-TBS、ビーエスフジ、BSジャパン、SCサテライト放送、QVCサテライト、東北新社メディアサービス、WOWOW、スカパー・エンターテインメントの4K放送をご覧いただけます。

ご注意

- 上記の内容に限らず、現在使用中の機器などの性能・機能によっては、機器交換や工事が必要な場合があります。また、衛星放送用受信設備の技術基準に適合させるため、機器交換や工事が必要な場合があります。お買い上げの販売店にご相談ください。
- 録画機器を経由してアンテナを接続しているとき、本機のテレビ放送の映像が映らない、または映りが悪いような場合は、録画機器を経由しないでアンテナ線を本機に直接接続してみてください。改善される場合、本機の問題ではありません。

便利な機能を使う

降雨対応放送について

- BSデジタル放送や110度CSデジタル放送、BS・110度CSの4K放送を視聴中に、雨や雪などで衛星からの電波が弱まった場合、放送局が運用していれば、降雨対応放送に切り換えて見ることができます。

※ 図のメッセージが表示された場合は、以下の手順で降雨対応放送に切り換えられます。

※ 降雨対応放送は、通常の放送よりも画質が低下します。

電波の受信状態がよくありません。
[サブメニュー] から「降雨対応放送」に切り換えられます。

コード：E201

1. **[サブメニュー]** を押し、**▲・▼** と **[決定]** で「その他の操作」⇒「信号切換」⇒「降雨対応放送切換」の順に進む
2. **▲・▼** で「降雨対応放送」を選ぶ
 - 降雨対応放送をやめるには、「通常の放送」を選びます。
 - 電波が強くなると、自動的に通常の放送に戻ります。

他の映像・音声に切り換える

音声多重番組で聴きたい音声を選ぶ

- 音声多重放送番組の場合、主音声、副音声、主：副を切り換えることができます。
- 番組説明画面に **二重音声** のアイコンが表示されます。

1. **[音声切換]** を押す

- **[音声切換]** を押すたびに以下のように切り換わります。

→ 主音声 → 副音声 → 主：副 →

- サブメニューの「音多切換」でも音声の切り換えができます。

音声を切り換える

- 複数の音声で放送されている番組の場合、音声1、音声2などの音声信号を切り換えることができます。
- 番組説明画面に **信号切換** のアイコンが表示されます。

1. **[音声切換]** を押す

- **[音声切換]** を押すたびに以下のように切り換わります

→ 音声1 → 音声2 → 音声3… →

- サブメニューの「音声信号切換」(次の説明)でも音声の切り換えができます。

映像、音声を切り換える

- デジタル放送では、一つの番組に複数の映像や音声がある場合があります、お好みで選択することができます。
- 映像、音声が切り換えられる番組は、番組説明画面に「信号切換」のアイコンが表示されます。



1. **サブメニュー** を押し、**▲・▼** と **決定** で「その他の操作」⇒「信号切換」の順に進む
2. 切り換える信号を **▲・▼** で選び、**決定** を押す
 - 視聴中の番組で切り換えのできない信号は、薄くなって表示されます。

3. 視聴したい映像、音声を **▲・▼** で選び、**決定** を押す
 - 「信号切換」のサブメニューに表示される「音声信号切換」、「音多切換」は、**音声切換** で選択する機能 **46** と同じです。

映像を静止させる

- 映像の動きを止めることができます。料理番組のレシピや、視聴者プレゼントの応募先などをメモするときに便利です。

1. **静止** を押す
 - 解除するときは、もう一度 **静止** を押します。
 - 映像の静止中でも音声は流れ続けます。

お知らせ

- ラジオ、データ放送視聴中は静止画にできません。また、映像の静止中にデータ放送の操作はできません。
- 字幕放送の場合、映像の静止中に字幕は表示されません。
- 選局操作をすると静止画が解除されます。
- 受信映像を公衆に視聴させることを目的として喫茶店、ホテルなどで「静止画」を使用すると、著作権法で保護されている権利を侵害するおそれがありますので、ご注意ください。
- 映像を静止中に、入力されている信号が切り換わると、静止が解除されることがあります。

省エネ設定をする

- 省エネに関するさまざまな設定をすることができます。

1. **設定** を押し、▲・▼と**決定**で「本体設定」⇒「詳細機能設定」⇒「省エネ設定」の順に進む

- 「省エネ設定」の画面が表示されます。

2. 設定する項目を▲・▼で選び、**決定**を押す

番組情報取得設定	取得する
無操作自動電源オフ	動作しない
無信号自動電源オフ	待機にする

3. お好みの設定を▲・▼で選び、**決定**を押す

- 以降の説明を参照し、設定してください。

番組情報取得設定

- 番組表機能や予約機能を正しく働かせるために、「取得する」で使用することをおすすめします。

取得する

電源が「待機」や「切」のときに、デジタル放送の番組情報を取得します。取得時に電力を消費します。

取得しない

番組情報を取得しません。そのため、番組表の内容が表示されなかったり、予約できなかったり、番組検索ができなかったりすることがあります。

無操作自動電源オフ

待機にする

本機の無操作状態が約3時間続くと、電源が「待機」、または「切」になります。

動作しない

本機の無操作状態が続いても電源は「入」のままです。

無信号自動電源オフ

待機にする

放送受信時に、無信号状態が約15分間続くと、電源が「待機」、または「切」になります。

動作しない

無信号状態が続いても電源は「入」のままです。

時計を表示する

- 画面に時計を表示させます。

1. **サブメニュー** を押し、**▲・▼** と **決定** で「時計」⇒「時計表示」の順に進む
2. **▲・▼** を押して、「大きいサイズ」、「小さいサイズ」または「オフ」を選び、**決定** を押す
 - 「オフ」を選ぶと時計表示を消します。

自動で電源が切れるようにする

- オフタイマーを設定すると、設定時間後に電源が切れて、「待機」、または「切」の状態になります。

1. **サブメニュー** を押し、**▲・▼** と **決定** で「時計」⇒「オフタイマー」の順に進む
2. 電源が切れるまでの時間を **▲・▼** で選び、**決定** を押す

オフタイマー
使用しない
あと30分
あと60分
あと90分
あと120分

- オフタイマーを設定したあとにオフタイマーを解除する場合は、上記の操作で「使用しない」を選びます。

お知らせ

■ 「オフタイマー」について

- 設定後に電源を切ったり「待機」にしたりすると、設定が取り消されます。

- 電源が切れる1分前になると、画面にメッセージが表示されます。
- オフタイマーが設定されているときに **サブメニュー** を押し「時計」を選択して **決定** を押すと、サブメニューの「オフタイマー」に電源が切れるまでの残り時間が表示されます。

録画・予約機能について

録画できる機器と番組

- 本機背面のUSB（HDD専用）端子に接続したUSBハードディスクにデジタル放送番組を録画できます。（データ放送、ラジオ放送番組からの映像・音声は録画できません）
 - ・ USBハードディスクの接続は「USBハードディスクを接続する」[52](#)をご覧ください。

接続・設定と録画前の準備

録画する機器	録画前の準備
USB ハードディスク（注）	・ USBハードディスクの電源を入れておきます。 ・ USBハードディスクの残量を確認します。94 ・ 「すべて」のタブの録画リストで「録画番組数」を確認します。86 ※ 残量不足や番組数超過（3000を超過）になりそうな場合は、不要な番組を削除します。96

（注）USBハードディスクは、本機に登録しないと録画できません。

- 録画や録画予約の操作をしたときに接続した機器が選択できないときは、[54](#)を参照し、登録してください。
- USBハードディスクは専用のACアダプターを接続してご使用ください。ACアダプターを使用しない場合は動作保証できません。本機で接続確認済のUSBハードディスクについては、ホームページ(http://www.toshiba.co.jp/regza/bd_dvd/cs/index.html)をご覧ください。

※ USBハードディスクの最大予約件数は128です。最大録画番組数は3000です。

USBハードディスクの自動削除機能について

- USBハードディスクの容量が足りない場合に、保護されていない日付の古い録画済番組から自動的に削除する機能で、お買い上げ時は「自動削除設定」**[97]**が「削除する」に設定されています。

ご注意

● USBハードディスクについて

USBハードディスクは精密機器であり、使用環境などによっては数年で故障する可能性があります。

本機に接続したUSBハードディスクに録画した内容の長期保存は保証できません。一時的な保存・再生機能としてご使用ください。

お知らせ

- USBハードディスクでの録画中に停電したり、電源プラグを抜いたりすると、途中で録画した番組は正しく保存されません。（「録画番組を修復する」**[90]**の操作をすれば、録画された内容を再生できるようになることがあります）
- 予約録画の開始時に、自動削除機能によって削除される番組が多い場合は、番組の冒頭部分が録画されないことがあります。
- 録画番組の再生中に予約録画の開始時刻になると、再生が自動的に停止することがあります。
- 万一、本機の故障や受信障害などによって正常に録画・録音できなかった場合の補償は一切できませんので、あらかじめご了承ください。

USB ハードディスクを接続する

- 本機に接続したUSBハードディスクで以下のことができます。

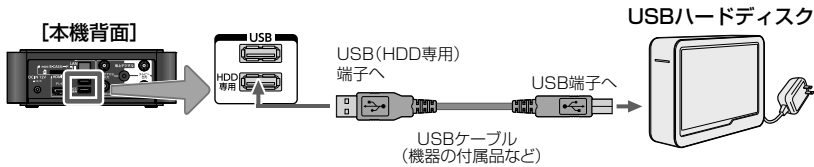
できること	記載ページ
本機で受信したテレビ放送番組の録画、録画予約	74
録画番組の再生、ムーブ	86 101

ご注意

- パソコンや他のテレビ、録画機器などで使用していたUSBハードディスクを本機に接続して登録すると、それまでに保存されていたデータや録画番組などはすべて消去されます。
- 本機で使用していたUSBハードディスクをパソコンで使用するには、パソコンで初期化する必要があります。その際に、本機で録画した番組はすべて消去されます。
- 本機に接続したUSBハードディスクを取りはずす場合は、未登録の機器を含めて「USBハードディスクの設定をする」の「機器の取りはずし」**56**の手順で操作してください。
- USBハードディスクの動作中は、USBハードディスクの電源を切ったり、接続ケーブルを抜いたりしないでください。録画した番組が消えたり、USBハードディスクが故障したりする原因となります。
- 本機背面のUSB端子にUSBバスパワー方式の機器を接続して同時に使用すると、USBハードディスクでの録画動作に障害を与えることがあります。
- USBハードディスクやUSBハブは専用のACアダプターを接続してご使用ください。本機で接続確認済の機器でもACアダプターを接続しない場合は動作保証できません。

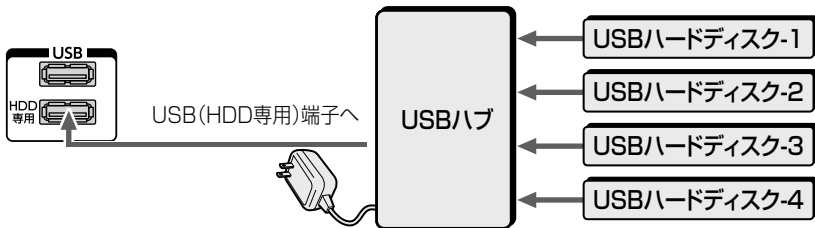
USBハードディスクが1台のとき

- USBハードディスクは、USB（HDD専用）端子に接続します。



USBハードディスクが複数台のとき

- USBハブを使用すれば、複数のUSBハードディスクを接続することができます。
- ※ 8台までのUSBハードディスクを本機に登録できます。ただし、同時に接続できるのは4台までです。



お願い

- 複数の未登録USBハードディスクを接続した状態で本機の電源を入れると、不特定の順番で登録が始まります。
USBハードディスクの登録名や接続場所などを特定しやすくするために、1台ずつ接続して登録の処理が終わったら次のUSBハードディスクを接続するようにしてください。
- 登録の手順については、次ページの「USBハードディスクを本機に登録する」をご覧ください。

お知らせ

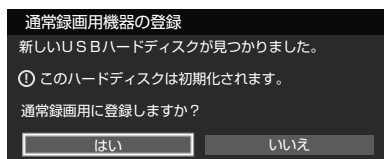
- 複数台のUSBハブを経由して本機にUSBハードディスクを接続することはできません。
- 本機で接続確認済のUSBハードディスクとUSBハブについては、ホームページ (http://www.toshiba.co.jp/regza/bd_dvd/cs/index.html) をご覧ください。
- 接続確認済機器でも、すべての動作を保証するものではありません。

USB ハードディスクの設定をする

USB ハードディスクを本機に登録する

- 本機が未登録のUSBハードディスクを検出すると、「機器の登録」の画面が表示されます。以下の手順で本機に登録します。

1. ◀▶で「はい」を選んで(決定)を押す
 - 登録しないときは「いいえ」を選びます。



- ※ 「いいえ」を選んだ場合、そのUSBハードディスクは「機器の登録」の画面で「未登録」となります。「未登録」のUSBハードディスクを登録する場合は、次ページの「USBハードディスクの設定をする」で「機器の登録」の操作をしてください。

2. 初期化の確認画面で、◀▶で「はい」を選んで(決定)を押す
 - 登録の処理が始まり、終わると次の手順の画面が表示されます。

3. 登録名を変更する場合は、◀▶で「はい」を選んで(決定)を押す

- 表示された登録名のままでよければ「いいえ」を選びます。
- 「はい」を選んだ場合は、文字入力画面が表示されます。登録名を入力して、(決定)を押します。
- 文字入力の方法は、**144**をご覧ください。
- ー(スペース)だけの名称は登録できません。

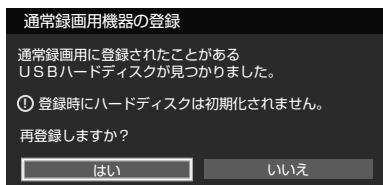
4. 登録したUSBハードディスクを録画機器にする場合は、◀▶で「はい」を選んで(決定)を押す

- 録画や予約などでの録画機器の初期候補が、今登録したUSBハードディスクになります。
 - ※ 録画機器は、録画や予約の際に変更することもできます。
- (決定)を押したあと、説明画面が表示された場合は、画面の説明を読んでから(決定)を押します。

5. 登録結果の内容を確認し、**終了**を押す

使用履歴のあるUSBハードディスクを接続したとき

- 本機に登録して使用し、登録を解除したUSBハードディスクを接続した場合、以下の確認画面が表示されます。



- 「はい」を選んで**決定**を押すと登録の処理が始まり、終わると登録機器のリスト画面が表示されます。

※ 再登録の場合、ハードディスクは初期化されません。

修理などで、本機内部のハードディスク登録情報記憶部が含まれる部分を交換した場合や、本機を交換した場合は、それまでに使用していたハードディスクは未登録（新しいハードディスク）として認識され、初期化して使用することになります。初期化の際に録画内容はすべて消去されます。

USBハードディスクの設定をする

- USBハードディスクを使用する場合は、必要に応じて以下の設定をします。

1. **設定** を押し、**▲・▼**と**決定**で「本体設定」⇒「録画・再生設定」⇒「通常録画用USBハードディスク設定」の順に進む

録画・再生設定	
通常録画用USBハードディスク設定	>
録画設定	>
再生設定	>
メディアプレーヤー設定	>
SeeQVault対応SDカード設定	>

2. 設定する項目を**▲・▼**で選んで**決定**を押し、以降の手順で設定する

機器の登録

- リストに「未登録」と表示されているUSBハードディスクを登録したり、機器の登録名を変更したり、登録を解除したりすることができます。

※ 登録できるのは8台までです。

※ USBハードディスクによっては、機器の登録画面でモデル名が正しく表示されないことがあります。

機器を登録するとき

※ はじめて登録するときには、USBハードディスクに保存されている内容はすべて消去されます。

- ① 登録する機器を**▲・▼**で選び、**決定**を押す
- ② 登録の確認画面で、**◀・▶**で「はい」を選んで**決定**を押す
- ③ 初期化の確認画面で、**◀・▶**で「はい」を選んで**決定**を押す
 - ・ 初期化と登録の処理が始まります。
- ④ 終わったら、登録結果の内容を確認し、**決定**を押す

登録名を変更するとき

- 1 登録名を変更する機器を▲・▼で選び、を押す
- 2 ◀・▶で「はい」を選び、を押す
- 3 文字入力画面で登録名を入力する
 - ・ 文字入力の方法は、をご覧ください。

登録を解除するとき

- 1 登録を解除する機器を▲・▼で選び、を押す
- 2 ◀・▶で「はい」を選び、を押す
 - 録画予約が設定されているUSBハードディスクの登録を解除するときは、以下の画面が表示されます。
 - ・ 他の登録済USBハードディスクが接続されているとき
録画先の変更を促すメッセージ付の登録解除画面が表示されます。
 - ・ 他の登録済USBハードディスクが接続されていないとき
再登録を促すメッセージ付の登録解除確認画面が表示されます。

省エネ設定

- 複数のUSBハードディスクに対して個別に設定を変えることはできません。
- ※ 「省エネモード」に設定した場合、USBハードディスクが動作するまでに時間がかかることがあります。「ハードディスクがありません。」や、録画可能時間が「--時間--分」と表示されるような場合は、少し待ってから操作してください。
- ※ USBハードディスクによっては、機器の表示ランプが「待機」と「入」の状態を正しく示さないことがあります。

※ USBハードディスクによっては、「オフ」に設定していても、USBハードディスク側の省エネ機能によって、待機状態になることがあります。

※ 本機の電源が「切」または「待機」のときでも、「自動スキャン」や「番組情報の取得」が内部で動作している場合には、USBハードディスクの電源が「入」になることがあります。

※ USBハブを使用している場合、本機の電源が「切」または「待機」のときでも、USBハブからの電源供給によって、USBハードディスクの電源が「入」になることがあります。

- 1 ▲・▼で以下から選び、を押す

・ オン

USBハードディスクの電源は、使用しない状態がしばらく続くと待機状態になり、使う操作をすると自動的に「入」になります。

・ オフ

本機の電源が「入」のとき、USBハードディスクの電源は常時「入」の状態です。

機器の取りはずし

- USBハードディスクの電源を切ったり、接続ケーブルを抜いたりするときには、その前にこの操作をします。

- 1 取りはずす機器を▲・▼で選び、を押す

- 2 確認画面で、◀・▶で「はい」を選んでを押す

・ 停止の処理が始まり、終了すると「USBハードディスクを取りはずしできます。」のメッセージが表示されます。

- 3 USBハードディスクを取りはずし、を押す

動作テスト

- USBハードディスクで以下の動作ができるかテストします。
 - ① テストする機器を ▲・▼ で選び、(決定)を押す
 - テストが始まります。終了までに数分間かかります。
 - テストが終わると結果が表示されます。テスト結果が「OK」となった動作ができます。
 - ・ 録画
 - 4Kの録画ができるか
 - ・ 録画中の再生
 - 4Kの録画をしながら番組再生ができるか
 - ・ 録画中の早見早聞
 - 4Kの録画中にハイビジョン番組の早見早聞 **88** ができるか、4Kの録画中に4K番組の再生ができるか
- ※ テスト結果は目安です。結果どおりの動作にならないことがあります。

機器の初期化

- 正常に使用できなくなったUSBハードディスクは、初期化をすれば使用できるようになることがあります。

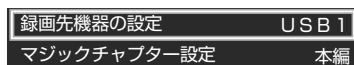
※ 初期化をすると、USBハードディスクに保存されている内容はすべて消去されます。

- ① 初期化する機器を ▲・▼ で選び、(決定)を押す
- ② 初期化の確認画面で、◀・▶ で「はい」を選んで(決定)を押す
- ③ 初期化終了の画面で(決定)を押す

録画の基本的な設定をする

● USBハードディスクでの録画・再生に関する基本的な設定をすることができます。

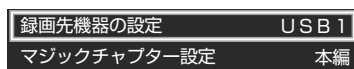
1. **設定** を押し、**▲・▼** と **決定** で「本体設定」⇒「録画・再生設定」⇒「録画設定」の順に進む
2. 以降の手順で設定する



録画に使用する機器を設定する

● 複数のUSBハードディスクを本機に登録している場合に、録画に使用する機器を設定します。

- 1 **▲・▼** で「録画先機器の設定」を選び、**決定** を押す

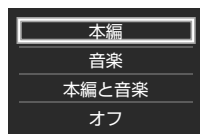


- 2 録画に使用する機器を **▲・▼** で選び、**決定** を押す

チャプター分割のしかたを設定する

● シーンの変わり目でチャプター分割（章分け）されるように設定できます。（チャプター分割をすると、再生時にチャプタースキップができるようになります）

- 1 **▲・▼** で「マジックチャプター設定」を選び、**決定** を押す
- 2 チャプター分割の場面を **▲・▼** で選び、**決定** を押す



- **本編**
本編とCMの間でチャプター分割されます。
- **音楽**
楽曲の前後でチャプター分割されます。
- **本編と音楽**
上記の両条件でチャプター分割されます。
- **オフ**
チャプター分割をしません。

※ 音楽の検出は番組のメインジャンルが「音楽」または、メインジャンルが「バラエティ」でサブジャンルが「音楽バラエティ」のときにだけ行われます。

レグザリンクダビングの接続・設定をする

- 本機でUSBハードディスクに録画した番組をレグザリンクダビング対応のDTCP-IP対応サーバーや、東芝レコーダーにダビングすることができます。
- ダビングの操作については「録画番組をダビング(ムーブ)する」[101](#)、「東芝レコーダーにダビングしてディスクに保存する」[103](#)をご覧ください。
- レグザリンクダビング対応のDTCP-IP対応サーバーと本機を接続する場合は、「機器を接続する」[67](#)と同じです。

東芝レコーダーと本機を接続する

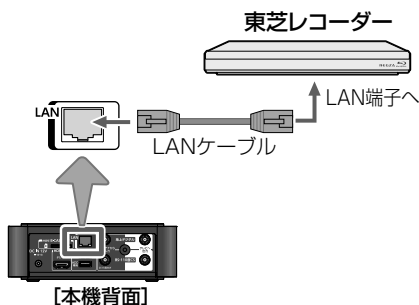
- 接続にはLANケーブルを使用します(ストレートタイプ、クロスタイプのどちらも使用可能)。カテゴリ5(CAT5)と表示された規格以上のものをご使用ください。

ルーターを経由して接続する場合

- ホームネットワークの接続やインターネットへの接続をしている場合は、「機器を接続する」[67](#)と同じです。本機と東芝レコーダーのLAN端子をブロードバンドルーターのLAN端子に接続します。

本機と東芝レコーダーを直接接続する場合

- ホームネットワークやインターネットへの接続をしない場合や、他のネットワーク機器の通信による影響を受けないようにしたい場合は、本機と東芝レコーダーのLAN端子を直接接続します。



東芝レコーダーと本機を設定する

ルーターを経由して接続した場合

東芝レコーダーの設定をする

- 東芝レコーダーの取扱説明書の「ネットワーク機能の設定をする」を参照して、以下のように設定・登録します。

項 目	設 定
イーサネット利用設定	利用する
本体名、本体ユーザー名、 本体パスワード、 グループ名、 グループパスワード	任意
ダビング要求	受け付ける
ネット de レック / サーバー設定 または レグザリンク連携機器設定	使う (フィルタ 制限なし)
DHCP (自動取得)	使う
DNS (自動取得)	使う

- 「接続テスト」をして「OK」が表示されることを確認します(インターネットに接続されている場合だけ)。

本機の設定をする

- お買い上げ時の設定(IPアドレス設定、DNSアドレス(IPv4)ともに自動取得)にします。

1. **設定** を押し、▲・▼と**決定** で「本体設定」⇒「ネットワーク設定」⇒「ネットワーク接続設定」⇒「ネットワーク情報」の順に進む

- 表示される画面で「IPアドレス」と「DNSアドレス」が「自動取得」になっていることを確認します。

アドレス設定 (IPv4)	>
IPv6接続	利用する
アドレス設定 (IPv6)	>
接続テスト	>
ネットワーク情報	>

「自動取得」になっている場合

- 以下の操作で「自動取得」に設定します。

1. **設定** を押し、▲・▼と**決定** で「本体設定」⇒「ネットワーク設定」⇒「ネットワーク接続設定」⇒「アドレス設定(IPv4)」の順に進む

2. ▲・▼で「IPアドレス」を選び、**決定** を押す

3. ▲・▼で「自動取得」を選び、**決定** を押す

アドレス設定 (IPv4)

IPアドレス **自動取得**

アドレス
サブネットマスク
デフォルトゲートウェイ

DNSアドレス **自動取得**

プライマリアドレス
セカンダリアドレス

プロキシサーバー **使用する**

サーバー名
ポート番号

設定完了

4. 設定内容を確認し、▲・▼で「設定完了」を選んで**決定** を押す

- 「IPアドレス」、「DNSアドレス」とともに「自動取得」になります。

2. **設定** を押し、▲・▼と**決定** で「本体設定」⇒「ネットワーク設定」⇒「ネットワーク接続設定」⇒「接続テスト」を選び、**決定** を押す

- インターネットに接続していない場合は、本操作は必要ありません。
- インターネットに接続している場合は、「インターネットに接続できました。」が表示されることを確認します。

本機と東芝レコーダーを 直接接続した場合

東芝レコーダーの設定をする

- 東芝レコーダーの取扱説明書の「ネットワーク機能の設定をする」を参照して、以下のように設定・登録します。

項 目	設 定
イーサネット利用設定	利用する
本体名、本体ユーザー名、 本体パスワード、 グループ名、 グループパスワード	任意
ダビング要求	受け付ける
ネット de レック / サーバー設定 または レグザリンク連携機器設定	使う (フィルタ 制限なし)
DHCP (自動取得)	使わない
IP アドレス	192. 168. 1. 15
サブネットマスク	255. 255. 255. 0
デフォルトゲートウェイ	192. 168. 1. 1
DNS (自動取得)	使わない
DNS サーバー	192. 168. 1. 1

本機の設定をする

- ① **設定** を押し、▲・▼と**決定**で「本体設定」⇒「ネットワーク設定」⇒「ネットワーク接続設定」⇒「アドレス設定 (IPv4)」の順に進む
- ② ▲・▼で「IPアドレス」を選び、**決定**を押す

- ③ ▲・▼で「手動取得」を選び、**決定**を押す

アドレス設定 (IPv4)

IPアドレス **手動取得**

アドレス

サブネットマスク

デフォルトゲートウェイ

DNSアドレス **手動取得**

プライマリアドレス

セカンダリアドレス

プロキシサーバー **使用する**

サーバー名

ポート番号

設定完了

- ④ ▼で「アドレス」の入力欄に移動し、

1～**10**で「192」、「168」、「1」、「20」と入力する

- ・ 入力欄を移動するには、◀▶を押します。
- ・ 入力した数字を消すには、**赤**を押します。

- ⑤ ▼で「サブネットマスク」の入力欄に移動し、**1**～**10**で「255」、「255」、「255」、「0」と入力する

- ⑥ ▼で「デフォルトゲートウェイ」の入力欄に移動し、**1**～**10**で「192」、「168」、「1」、「1」と入力する

- ⑦ ▲・▼で「プライマリアドレス」の入力欄に移動し、**1**～**10**で「192」、「168」、「1」、「1」と入力する

アドレス設定 (IPv4)

IPアドレス **手動取得**

アドレス 192 168 1 20

サブネットマスク 255 255 255 0

デフォルトゲートウェイ 192 168 1 1

DNSアドレス **手動取得**

プライマリアドレス 192 168 1 1

セカンダリアドレス

プロキシサーバー **使用しない**

サーバー名

ポート番号

設定完了

- ⑧ 設定内容を確認し、▲・▼で「設定完了」を選んで**決定**を押す

SeeQVault™対応のUSBハードディスクやSDメモリーカードを接続する

- 本機で録画した番組をSeeQVault™対応のUSBハードディスクなどにSeeQVault™形式で保存すると、他の東芝のSeeQVault™対応のレグザやレコーダーやPCで再生することができます。また、東芝のSeeQVault™対応のレグザやレコーダーで録画した番組を、SeeQVault™対応のUSBハードディスクなどにSeeQVault™形式で保存すると、本機で再生することができます。
- 本機では、次の機器を接続して使用することができます。
当社指定のSeeQVault™対応USBハードディスク／当社指定のSeeQVault™対応SDカードリーダー。
当社指定のSeeQVault™対応機器については以下のURLをご覧ください。
http://www.toshiba.co.jp/regza/detail/seeqvault/index_j.html

ご注意

- 本機で番組を保存したSeeQVault™対応のUSBハードディスクなどは、他社のSeeQVault™対応機器で使用した場合、動作の保証はできません。
- 他社製品で番組を保存したSeeQVault™対応のUSBハードディスクなどは、本機で使用した場合、動作の保証はできません。

USBハードディスクを接続して登録する

- USB（HDD専用）端子に接続します。
 - 本機が未登録のUSBハードディスクを検出すると、「機器の登録」の画面が表示されます。以下の手順で本機に登録します。
 - 本機とUSBハードディスクの接続のしかたは、「USBハードディスクを接続する」**[52]**と同じです。
- ※「いいえ」を選んだ場合、そのUSBハードディスクは「機器の登録」の画面で「未登録」となり、再生はできません。録画はできません。「未登録」のUSBハードディスクを登録する場合は、「USBハードディスクの設定をする」**[55]**をご覧ください。「機器の登録」の操作をしてください。
1. **[<▶]**で「はい」を選んで**[決定]**を押す
 - 録画しないときは「いいえ」を選びます。
 2. 初期化の確認画面で**[<▶]**で「はい」を選んで**[決定]**を押す
 - 登録の処理が始まり、終わると次の手順の画面が表示されます。
 - 初期化によって、他の東芝のSeeQVault™対応のレグザやレコーダーから保存されているSeeQVault™形式の番組が削除されることはありません。ただし、保存されているSeeQVault™形式以外の番組はすべて削除されます。

通常録画用機器の登録

SeeQVault対応のUSBハードディスクが見つかりました。
再生やダビング用の機器として使用できます。

①このテレビで録画された番組を他のSeeQVault対応機器で再生する場合は、SeeQVault形式の番組に変換してください。

録画にも使用しますか？

はい

いいえ

3. 登録名を変更する場合は、◀▶で「はい」を選んで(決定)を押す

- 表示された登録名のままでよければ「いいえ」を選びます。
- 「はい」を選んだ場合は、文字入力画面が表示されます。登録名を入力して、(決定)を押します。
- 文字入力の方法は、**144**をご覧ください。
- ー(スペース)だけの名称は登録できません。

4. 登録したUSBハードディスクを録画機器にする場合は、◀▶で「はい」を選んで(決定)を押す

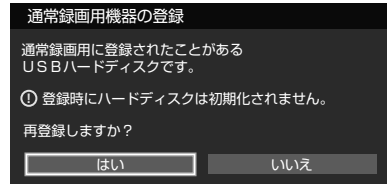
- 録画や予約などでの録画機器の初期候補が、登録したUSBハードディスクになります。

※ 録画機器は、録画や予約の際に変更することもできます。

- (決定)を押したあと、説明画面が表示された場合は、画面の説明を読んだから(決定)を押します。

使用履歴のあるUSBハードディスクを接続したとき

- 以前に登録して使用し、登録を解除したUSBハードディスクを接続した場合、初期化の確認画面の代わりに以下の確認画面が表示されます。



- 「はい」を選んで(決定)を押すと登録の処理が始まり、終わると登録名変更の画面が表示されます。

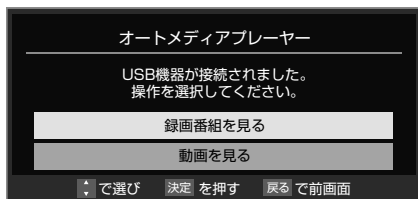
※ 再登録の場合、ハードディスクは初期化されません。

USB ハードディスクの取りはずし

- 取りはずしかたは、「USBハードディスクの設定をする」[55] をご覧になり、「機器の取りはずし」[56] の操作をしてください。

SD メモリーカードを接続する

- 当社指定のSeeQVault™対応のSDカードリーダーは、本機背面のUSB端子に接続してください。
- 「オートメディアプレーヤー」を「オン」に設定しておく、放送番組の視聴時にSDメモリーカードを挿入したときに、操作の選択メニューが表示されます。(お買い上げ時は「オン」に設定されています)
SeeQVault™形式の番組を再生するには「録画番組を見る」を選択してく



- ※ SDメモリーカードを挿入した状態で本機の電源を入れた場合や、放送の視聴以外の操作をしているときにSDメモリーカードを挿入した場合には、オートメディアプレーヤーの画面は表示されません。

SeeQVault™対応 SD メモリーカードを設定する

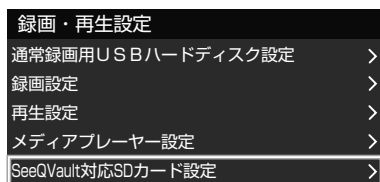
- 当社指定のSeeQVault™対応SDカードリーダーが接続されているとき、SDメモリーカードを初期化したり、SDメモリーカード名を変更したりすることができます。

当社指定のSeeQVault™対応のSDカードリーダーについては以下のURLをご覧ください。

http://www.toshiba-personalstorage.net/product/microsd/sqvl/index_j.htm

- SDメモリーカードがライトプロテクトされているときは、以下の設定は行えません。プロテクトを解除してください。

1. **設定** を押し、▲・▼と**決定**で「本体設定」⇒「録画・再生設定」⇒「SeeQVault対応SDカード設定」の順に進む
2. ▲・▼で、設定するSDメモリーカードを選び、以降の手順で設定する

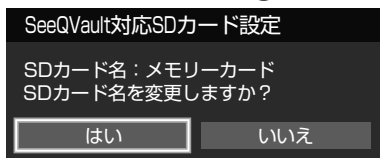


SD メモリーカードを初期化する

1. **黄** を押し
2. ◀▶で「はい」を選び、**決定** を押し
3. 内容を確認して「はい」を選び、**決定** を押し
 - SDメモリーカードが初期化されます。
4. SDメモリーカード名の設定をするには、◀▶で「はい」を選び、**決定** を押し
5. 文字入力画面で、SDカード名を入力して、**決定** を押し
 - 文字入力の方法は、**1443** をご覧ください。

SD メモリーカード名を変更する

1. **決定** を押し
2. ◀▶で「はい」を選び、**決定** を押し
3. 文字入力画面で、SDカード名を入力して、**決定** を押し
 - 文字入力の方法は、**1443** をご覧ください。



ホームネットワークについて

- ホームネットワーク(家庭内LAN)に本機とDTCP-IP対応機器を接続し、録画番組をダビングしたり、対応機器で視聴することができます。

DTCP-IP対応サーバー

- DTCP-IP (「Digital Transmission Content Protection over Internet Protocol」の略)は、ネットワーク上でデジタル放送などの著作権保護付データを配信するための規格です。この規格に対応すれば、著作権保護付データ(たとえば、1世代だけ録画が許された番組など)をホームネットワーク上で扱うことができます。また、ホームネットワーク外へのデータ伝送を禁止することで、著作権保護付データを保護します。
- 本機はDTCP-IPに対応しています。本機でUSBハードディスクに録画した番組を、DTCP-IP方式で著作権を保護しながらDTCP-IP対応サーバー(DTCP-IP対応サーバー機能を持つレコーダーなど)に本機の操作でダビングすることができます。**103**ダビングした番組は、他のDTCP-IP対応テレビで視聴することができます。
 - ※ ダビング時の動作は番組のコピー制御情報に従います。機器によってはダビングできないことがあります。
 - ※ ダビング後のコンテンツでは、再生時間の表示がズレることがあります。
 - ※ 4K放送の録画番組はダビングできません。

スマートフォンやタブレットPC (レグザAppsコネクト)

- スマートフォンやタブレットPCなどの端末機器と本機をホームネットワークに接続し、端末機器で本機やネットワーク内のレグザAppsコネクト対応機器を操作することができます。

本機のホームサーバー機能

- 本機はホームサーバー機能も備えています。本機に接続されたUSBハードディスクの録画番組を、ホームネットワーク上のDTCP-IP対応PCソフトウェアやDTCP-IP対応テレビなどで視聴することができます。(本機からの配信数は一つです)
 - ※ 4K放送の録画番組はホームネットワーク上の機器で視聴できません。

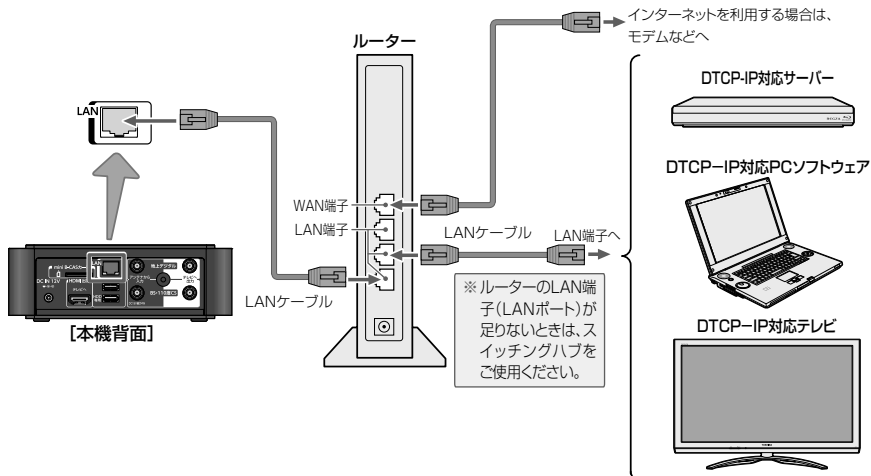
お知らせ

- DTCP-IP対応サーバーへのダビングを除き、他のネットワーク機器に本機から録画・ダビング・録音などをすることはできません。
- すべてのDTCP-IP対応PCソフトウェアやDTCP-IP対応テレビが、本機のホームサーバー機能で配信する録画番組を再生できるわけではありません。
- 本機がネットワークメディアサーバー (動画)として公開するコンテンツは、録画した一部の放送番組に限定されます。
- 本機のご使用環境や動作状態によっては、配信の映像が乱れたり、配信できないことがあります。その場合、不要な動作があれば、それを中止してみてください。

ホームネットワークに接続する

機器を接続する

- 本機とブロードバンドルーターを接続します。



機器のネットワーク設定を確認する

- 「アドレス設定 (IPv4)」の「IPアドレス」、「DNSアドレス」ともに「自動取得」で使用する前提です。「IPv6接続」が「利用する」の場合は、「アドレス設定 (IPv6)」の「IPアドレス」、「DNSアドレス」も「自動取得」で使用する前提です。
 - 接続機器側でMACアドレスによるアクセス制限をしている場合は、本機からのアクセスを許可するように設定してください。本機のMACアドレスは、「ネットワーク情報」**118**の操作で確認できます。
 - 本機で接続機器のネットワーク設定はできませんので、あらかじめルーターや接続機器側で設定してください。(ルーターや接続機器の取扱説明書をご覧ください)
- ① ルーター、ネットワーク接続機器、本機の順に電源を入れる
 - ② 「ネットワーク情報」**118**の操作で「アドレス情報 (IPv4)」の「IPアドレス」を確認する
 - ホームネットワーク接続機器のIPアドレスは、プライベートアドレス(下表の範囲のどれか)でなければなりません。

区分	使用できるアドレスの範囲
A	10.0.0.0 ~ 10.255.255.255
B	172.16.0.0 ~ 172.31.255.255
C	192.168.0.0 ~ 192.168.255.255

- 本機で双方向サービス **42**などを利用する場合は、ご使用のインターネット接続環境によっては本機のアドレスをグローバルアドレスに設定し直す必要があります。
- ③ 「IPv6接続」が「利用する」の場合は、「ネットワーク情報」**118**の操作で「アドレス情報 (IPv6)」の「アドレス」も確認する

● 次のアドレスには設定できません

設定不可アドレス一覧

IP アドレス	
0000 0000 0000 0000 0000 0000 0000 0000	未指定アドレス あるいは デフォルトポート (::/128, ::/0)
0000 0000 0000 0000 0000 0000 0000 0001	ローカルアドレス (::1/128)
0100 0000 0000 0000 0000 0000 0000 0000	破棄するトラフィック (0100::/64)
2001 001* 0000 0000 0000 0000 0000 0000	ORCHID アドレス (2001:0010::/28)
2001 002* 0000 0000 0000 0000 0000 0000	ORCHIDv2 アドレス (2001:0020::/28)
2001 0db8 0000 0000 0000 0000 0000 0000	文書記述用アドレスプレフィックスを持つアドレス (2001:db8::/32)
fe8* 0000 0000 0000 0000 0000 0000 0000	リンクローカルプレフィックスを持つアドレス (fe80::/10)
fe9* 0000 0000 0000 0000 0000 0000 0000	リンクローカルプレフィックスを持つアドレス (fe80::/10)
fea* 0000 0000 0000 0000 0000 0000 0000	リンクローカルプレフィックスを持つアドレス (fe80::/10)
feb* 0000 0000 0000 0000 0000 0000 0000	リンクローカルプレフィックスを持つアドレス (fe80::/10)
fff* 0000 0000 0000 0000 0000 0000 0000	マルチキャストアドレス (ff00::/8)
<プレフィックス長により異なる、下は 64 の例>	
***** 0000 0000 0000 0000 0000 0000	「サブネット・ルータ・エニーキャストアドレス」 (インターネット ID がオール 0)
デフォルトゲートウェイ、DNS アドレス	
0000 0000 0000 0000 0000 0000 0000 0000	未指定アドレス あるいは デフォルトポート (::/128, ::/0)
0000 0000 0000 0000 0000 0000 0000 0001	ローカルアドレス (::1/128)
0100 0000 0000 0000 0000 0000 0000 0000	破棄するトラフィック (0100::/64)
2001 001* 0000 0000 0000 0000 0000 0000	ORCHID アドレス (2001:0010::/28)
2001 002* 0000 0000 0000 0000 0000 0000	ORCHIDv2 アドレス (2001:0020::/28)
2001 0db8 0000 0000 0000 0000 0000 0000	文書記述用アドレスプレフィックスを持つアドレス (2001:db8::/32)
fff* 0000 0000 0000 0000 0000 0000 0000	マルチキャストアドレス (ff00::/8)

ホームネットワークの設定をする

接続機器から本機を操作するための設定をする ～外部連携機能～

レグザAppsコネクトの設定

- スマートフォンやタブレットPCなどの端末機器と本機をホームネットワークに接続し、端末機器で本機やネットワーク内のレグザAppsコネクト対応機器を操作することができます。
- 本機のレグザAppsコネクト機能を使う場合は、以下の設定をします。

1. **設定** を押し、▲・▼と**決定** で「本体設定」⇒「ネットワーク設定」⇒「外部連携設定」⇒「レグザAppsコネクト」の順に進む

サーバー機能設定	>
リモート電源オン	>
レグザAppsコネクト	利用する
本機の名称	>

レグザAppsコネクト

- レグザAppsコネクトを利用するか利用しないかを設定します。

- ① ▲・▼で「利用する」または「利用しない」を選び、**決定** を押す

サーバー機能設定

- 本機のサーバー機能を使うと、本機に接続されたUSBハードディスクの録画番組を、ホームネットワーク上のDTCP-IP対応PCソフトウェアやDTCP-IP対応テレビなどで視聴することができます。

※ 4K放送の録画番組はホームネットワーク上の機器で視聴できません。また、4K放送以外でも一部の録画番組が視聴できないことがあります。

- 本機のサーバー機能を使う場合は、以下の設定をします。

1. **設定** を押し、▲・▼と**決定** で「本体設定」⇒「ネットワーク設定」⇒「外部連携設定」⇒「サーバー機能設定」の順に進む

2. 設定する項目を▲・▼で選んで**決定** を押し、以降の手順で設定する

サーバー機能	使用しない
アクセス制限	制限しない
アクセス機器の登録	>
視聴制限番組の配信	—

サーバー機能

- 本機のサーバー機能の使用方法を設定します。

① ▲・▼で以下から選び、**決定**を押す

- ・ **使用しない**
サーバー機能を使用しません。
- ・ **使用する(常時)**
本機の電源が「待機」や「切」のときにもサーバー機能を使用できます。
- ・ **使用する(標準)**
本機の電源が「待機」や「切」の場合、配信や録画およびダビングをしていない状態が30分間続くとサーバー機能が停止し、その後電源を入れるまで配信できなくなります。
- サーバー機能を使用する場合、ネットワーク環境によってはセキュリティ上の問題が起こる可能性があります。状況に応じて、次の「アクセス制限」および「アクセス機器の登録」の設定をしてください。

アクセス制限

- 本機にアクセスできる機器(DTCP-IP対応PCソフトウェア、DTCP-IP対応テレビ)を制限するかしないかを設定します。

※「制限しない」に設定した場合、他の人の機器が接続されている可能性があるネットワークでは、私的使用の範囲を超えて録画番組が他の人に公開されるおそれがあります。ネットワークの安全が確認できない場合には、「制限する」に設定します。

① ▲・▼で以下から選び、**決定**を押す

- ・ **制限しない**
ネットワーク上のすべての機器からアクセスできます。
- ・ **制限する**
次の「アクセス機器の登録」で登録した機器でだけアクセスできます。

アクセス機器の登録

- 「アクセス制限」を「制限する」に設定した場合、本機にアクセスする機器を登録または解除します。
- 機器はMACアドレスで特定されます。機器のMACアドレスの確認方法は、機器の取扱説明書でご確認ください。

① 機器を▲・▼で選び、**決定**を押す

- **決定**を押すたびに、「☒」と「☐」が交互に切り換わります。登録には「☒」をつけます。

② 登録・解除の設定がすべて終わったら、▲・▼・◀・▶で「登録」を選び、**決定**を押す

視聴制限番組の配信

- 視聴制限番組を配信するかしないかを設定します。

① ▲・▼で以下から選び、**決定**を押す

- ・ **配信しない**
視聴制限番組はネットワーク上の機器に配信されません。
- ・ **配信する**
視聴制限番組をネットワーク上の機器に配信します。

本機の名称

- ホームネットワークに接続された機器から本機を識別するための情報(デバイスネーム)を設定することができます。
- お買い上げ時は本機の形名(TT-4K100)に設定されています。

1. **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「本体設定」⇒「ネットワーク設定」⇒「外部連携設定」⇒「本機の名称」の順に進む
2. **決定** を押し、文字入力画面で新しい名前を入力する
 - 文字入力の方法は、**1443** をご覧ください。
 - 15文字以内で設定します。使用できる文字は半角大文字英数字と「-」です。

接続機器から本機を起動するための設定をする ～リモート電源オン機能～

- ネットワーク接続での起動(Wake on LAN)に対応した機器に登録しておくと、接続機器での番組再生などの際に本機が起動していないときに接続機器の操作で本機を起動する(電源を入れる)ことができます。
- ※ 接続機器(Wake on LAN対応機器)側でも必要な設定をしてください。(接続機器の取扱説明書をご覧ください)
 - ・ 本機のデバイスネームについては前ページの「本機の名称」を参照してください。本機のMACアドレスは「ネットワーク情報」**118**の操作で確認することができます。

本機のリモート電源オン機能を設定する

1. **設定** を押し、▲・▼と**決定**で「本体設定」⇒「ネットワーク設定」⇒「外部連携設定」⇒「リモート電源オン」の順に進む

サーバー機能設定	>
リモート電源オン	>
レグザAppsコネクト	利用する
本機の名称	>

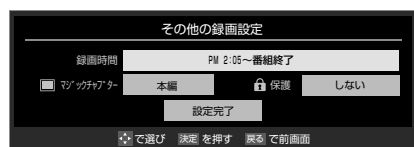
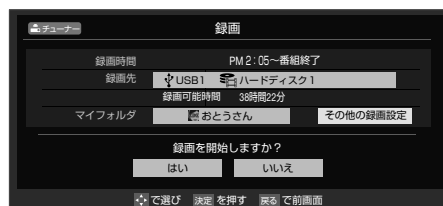
2. ▲・▼で「オン」または「オフ」を選び、**決定**を押す
 - 「オン」に設定すると、Wake on LAN対応機器から本機を起動できるようになります。

お知らせ 「オン」に設定すると、待機時の消費電力が増えます。

見ている番組を録画する

- 今本機で受信してテレビで見ている放送番組を簡単に録画することができます。受信しているテレビ番組視聴の途中で外出するような場合に便利です。

1. 本機で受信しているテレビ放送を見ているときに「サブメニュー」を押し、▲・▼で「録画」を選び、(決定)を押す
 - 録画できない番組の場合は、サブメニューの「録画」は選べません。
2. 録画設定を変更する場合は、▲・▼・◀・▶で「その他の録画設定」を選んで(決定)を押す



その他の録画設定でできる設定

● 録画時間の変更

お買い上げ時の設定では視聴中の番組が終了するまで録画されます。終了時刻を指定するには以下の操作をします。

- ① 「録画時間」で(決定)を押し、「時間指定」で録画終了時刻を設定して(決定)を押す
- ② 「設定完了」を選び、(決定)を押す

録画予約や連ドラ予約の設定を変更する場合

- 「録画予約や連ドラ予約の設定を変更するとき」**81**をご覧ください。
3. ▲・▼・◀・▶で「はい」を選び、(決定)を押す
 - 録画が開始されます。
 - 外出する場合は、本機(BS/CS 4K録画対応チューナー)の電源を「待機」または「切」にします。(録画は継続されます)
- ※ 予約録画が始まるときは、この操作での録画は中止されます。

録画を中止するとき

- 録画を途中でやめるときは、以下の操作をします。録画予約での録画中の場合も同様です。
- USBハードディスクの残量がなくなった場合は録画が自動的に停止します。

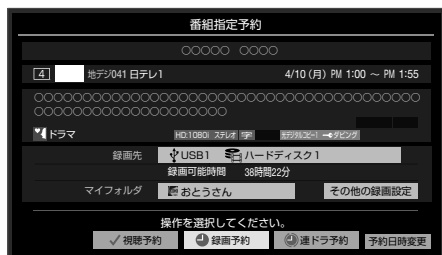
- ① 録画中に^{終了}○または□■を押す
- ② 「録画中止」の画面で、◀・▶で「はい」を選んで(決定)を押す

番組表で予約をする

- 番組表で録画したい番組を選んで予約します。

番組表

1. を押して、番組表を表示させる
2. 予約する番組を▲・▼・◀・▶で選び、を押す
 - 番組指定予約画面が表示されます。
3. 以下の操作で予約をする
 - 録画機器や設定を変更する場合は、「録画予約や連ドラ予約の設定を変更するとき」の操作をします。



1. ▲・▼・◀・▶で「視聴予約」、「録画予約」、「連ドラ予約」のどれかを選び、を押す
 - **視聴予約**：指定した番組の視聴を予約します。
 - **録画予約**：指定した番組の録画を予約します。
 - **連ドラ予約**：同じ番組を毎回録画します。
2. 「予約を設定しました。」が表示されたら、を押す

予約する日時を変更する場合

- 再放送番組などで、1話から3話まで連続して放送される場合など、1話目を番組表で予約し、以下の操作で終了時間を3話目の終了時間に変更すると、1話から3話まで一つの録画予約にすることができます。
1. ▲・▼・◀・▶で「予約日時変更」を選び、を押す
 2. メッセージが表示されたら、◀・▶で「はい」を選び、を押す
 3. 「日時を指定して予約をする」の手順3以降の操作をする

視聴制限番組について

- 視聴制限番組について、詳しくは「視聴できる番組を制限する」をご覧ください。
- 番組表で視聴制限を一時解除するときは、「番組表で視聴制限を一時解除する」をご覧ください。

メッセージが表示された場合

「設定した時間帯はこれ以上予約 できません。」が表示された場合

- ① ◀▶で「はい」を選び、**決定**を押す
● 新規予約をやめる場合は、「いいえ」を選びます。

「予約数がいっぱいです。」が表示された場合

- ① **決定**を押す
- ② 「予約の確認・変更・取り消しをする」
83の操作で予約を一つ以上取り消してから、再度予約をする

マルチ表示の番組表で予約するとき

- 一つの放送局で別の番組を放送している場合、その番組を予約するには番組表を「マルチ表示」**36**に切り換えます。
- マルチ表示の番組表で同じ番組が並んでいる場合は、どちらを選択しても予約できます。



お知らせ

- 放送局の変更があった場合、予約どおりに動作しないことがあります。
- 複数の番組が連続して予約されている場合、番組の最後の部分が録画されません。
- 予約をした時間帯は番組表に赤色の帯で表示されます。**34**
- 予約の確認や取り消しについては**83**を、予約の優先順位については**84**をご覧ください。

連続ドラマを予約する

- 連続ドラマや連日放送されている同じ番組などを、毎回自動的に録画されるように予約することができます。

※ 録画機器がUSBハードディスクの場合に連ドラ予約ができます。

番組表

1. ○を押して、番組表を表示させる
2. 連ドラ予約をする番組を▲・▼・◀・▶で選び、決定を押す
 - 現在放送中の番組を選んだ場合は「番組指定録画」画面が、これから放送される番組を選んだ場合は、「番組指定予約」画面が表示されます。
3. 番組の録画先をUSBハードディスクに設定する
 - 「録画予約や連ドラ予約の設定を変更するとき」81頁の操作で、「録画先」を設定します。
4. ▲・▼・◀・▶で「連ドラ予約」を選び、決定を押す
 - 画面の図は、「番組指定予約」画面の場合の例です。



5. 「連ドラ予約」画面で内容を確認する
 - 番組名(連ドラ)や追跡基準の曜日などが正しく表示されているか確認してください。

「連ドラ予約」がより正しく実行されるために

「録画予約や連ドラ予約の設定を変更するとき」81頁の操作で「連ドラ設定」の画面を表示させ、「追跡キーワード」の確認・編集をすることをおすすめします。

6. ▲・▼・◀・▶で「はい」を選び、決定を押す
7. 「予約を設定しました。」が表示されたら、決定を押す

視聴中の番組を連ドラ予約する場合

- ① **サブメニュー** を押し、▲・▼で「連ドラ予約」を選んで**決定** を押す
- ② 手順5～7の操作をする

連ドラ予約の動作について

- 連ドラ予約は、追跡基準(指定した番組の放送曜日と開始時刻)と、追跡キーワード(番組名など)を基に、次の番組を検索して自動的に録画予約をする機能です。
 - ※ 追跡基準(開始時刻)の前後約2時間が検索されます。
- 追跡キーワードには連ドラ予約をした番組の番組名、追跡基準には番組の放送時間が自動で設定されます。

お知らせ

- 電源を「入」にしてからしばらくの間は連ドラ予約ができません。
 - 連ドラ予約後に、番組情報が取得できなくなった場合や、追跡キーワードに該当する番組が検出できなかった場合は録画されません。
 - 予約の確認や取り消しについては**83** を、予約の優先順位については**84** をご覧ください。
-

日時を指定して予約をする／ 番組を検索して録画・予約をする

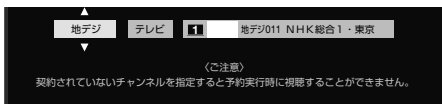
日時を指定して予約をする

1. **サブメニュー** を押し、**▲・▼** で「予約リスト」を選んで **決定** を押す
2. **青** を押す
 - 日時指定予約画面が表示されます。
 - 視聴制限番組は表示されません。表示させるときは、**緑** を押して、視聴制限一時解除してください。
3. 録画予約の日時を設定する



- ① 設定する項目を **◀▶** で選び、**▲・▼** で日時を設定する
 - 6週間先まで指定できます。
 - 特定の日のほかに、「毎日」、「毎週(日)」、「毎週(土)」、「月〜木」、「月〜金」、「月〜土」などの繰り返し録画も選べます。
 - 設定できる時間は最大23時間59分です。
- ② 設定が終わったら、**決定** を押す

4. 録画するチャンネルを設定する

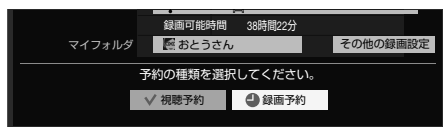


- ① 設定する項目を **◀▶** で選び、**▲・▼** で内容を選び
 - **放送の種類**
地デジ／BS／CS／BS/CS 4K
 - **放送メディア**
テレビ／ラジオ／データ
(放送が運用されていない放送メディアは選択できません)
 - **チャンネル**
指定された放送の種類やメディアに該当するチャンネル

② 設定が終わったら、**決定** を押す

5. 録画設定を変更する場合は、**83** の手順で操作をする

6. **▲・▼・◀▶** で「視聴予約」または「録画予約」を選び、**決定** を押す



7. 「予約を設定しました。」が表示されたら、**決定** を押す

メッセージなどが表示された場合

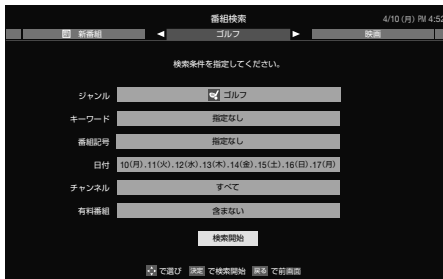
- 「設定した時間帯はこれ以上予約ができません。」「予約数がいっぱいです。」のメッセージ表示された場合の操作については、**76** をご覧ください。

番組を検索して録画・予約をする

番組表

1. を押して、番組表を表示させる
2.  (番組検索)を押す

● 番組検索画面が表示されます。



3. 「条件を絞りこんで番組を探す」
[39] の手順3～5の操作をして、
録画・予約したい番組を検索する

4. 「番組検索結果」画面から録画したい
番組を▲・▼で選び、を押す



番組検索結果			4/10 (月) PM 4:56
検索条件: ニュース, 報道			
NEWS	放送中	4/10 (月) PM 4:56	
京都府のニュース	放送中	4/10 (月) PM 4:56	
Newsチャンネル	放送中	4/10 (月) PM 4:56	
今日のニュース	放送中	4/10 (月) PM 4:56	
夕方のニュース	放送中	4/10 (月) PM 5:00	
ニュース各地から	放送中	4/10 (月) PM 5:00	
報道	放送中	4/10 (月) PM 5:00	
ニュース(徳の部局)	放送中	4/10 (月) PM 6:00	
ニュース	放送中	4/10 (月) PM 6:45	

5. 録画・予約をする

- 操作方法は、「番組表で予約をする」
[75] の手順3と同じです。
- 放送予定の番組を選んで予約をした場合には、「番組検索結果」の画面に戻ります。ほかの番組の予約を続けることができます。

お知らせ

- 日時指定予約では放送時間連動の設定はできません。
- 予約の確認や取り消しについては[83]を、予約の優先順位については[84]をご覧ください。

録画予約や連ドラ予約の設定を変更するとき

1. 録画・録画予約・連ドラ予約画面などで、「その他の録画設定」を▲・▼・◀・▶で選び、**決定**を押す
2. 設定する項目を▲・▼・◀・▶で選び、**決定**を押す
※ そのときの状況によって、設定や変更ができない項目があります。
3. ▲・▼で内容を選び、**決定**を押す
4. ▲・▼・◀・▶で「設定完了」を選び、**決定**を押す

「録画先」を変更するとき

- ① 録画・録画予約画面で、「録画先」を▲・▼・◀・▶で選び、**決定**を押す
- ② ▲・▼で設定したい録画先を選び、**決定**を押す

「マイフォルダ」を変更するとき

- ① 録画・録画予約画面で、「マイフォルダ」を▲・▼・◀・▶で選び、**決定**を押す
- ② ▲・▼で設定したいフォルダグループを選び、**決定**を押す

項 目	内 容
録画先	・ 録画をする機器を選びます。
マイフォルダ	・ 番組の再生時に探しやすくするために、録画時にフォルダ分けします。 再生のときに録画リストを「マイフォルダ別」の表示にすれば、保存した「マイフォルダ」の中から番組を探すことができます。「マイフォルダ」の名称は変更することができます。 [99]
マジックチャプター	・ 「本編」に設定すると、本編とCMの間でチャプター(章)が分割されます。 ・ 「音楽」に設定すると、楽曲の前後でチャプターが分割されます。(メインジャンルが「音楽」またはメインジャンルが「バラエティ」でサブジャンル「音楽バラエティ」のときだけ) ・ 「本編と音楽」に設定すると、「本編」と「音楽」の両方の条件でチャプターが分割されます。 ・ マジックチャプターの機能を使わないときは、「オフ」に設定します。 ・ 録画済の番組でチャプター編集をすることもできます。 [98] ※ 番組内容などによってはチャプター分割ができなかったり、分割位置がずれたりすることがあります。 ※ チャプター数の上限(99個)に達すると、それを超えるチャプターの作成はできなくなります。
保護	・ 録画する番組を保護する(消さないようにする)かどうかを設定します。 録画後に設定することもできます。 [97]
連ドラ	・ 文字入力画面が表示され、必要に応じて連ドラの名称を編集することができます。(再生の際に「連ドラ別」の録画リストから番組を探しやすい名称などに編集します) ・ 文字入力の方法は、 [144] をご覧ください。 ・ 連ドラの名称(連ドラグループ名)はあとで変更することもできます。 [99]
追跡キーワード	・ 文字入力画面が表示され、必要に応じて連ドラ予約の追跡キーワードを編集することができます。(1回の放送に限られるようなキーワードは削除しておきます)
追跡基準	・ 必要に応じて、連ドラ予約をする番組の録画曜日と時間を設定することができます。
上書き録画	・ 連ドラ予約の場合に上書き録画の設定をします。 上書き録画にすると前回の録画番組が削除されます。
放送時間	・ 放送局から番組遅延の情報が送信されると、最大3時間までの遅れに連動して録画をする機能です。(放送時間の繰り上げには対応できません) ・ ほかの予約と時間帯の一部が重なったときの優先順位については [84] をご覧ください。

予約の確認・変更・取り消しをする

● 予約の確認や取り消し、録画設定や連ドラ設定の変更をすることができます。

1. **サブメニュー** を押し、**▲・▼** で「予約リスト」を選んで **(決定)** を押す

- 視聴制限番組は表示されません。
表示させるときは、**緑** を押して、
視聴制限一時解除してください。

2. 予約の確認や変更、取り消しをする
番組を **▲・▼** で選び、**(決定)** を押す



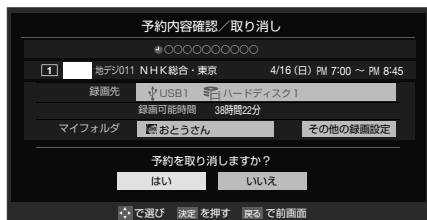
録画や予約状況、上書き保存などのアイコンが表示されます。
 ● 録画アイコンは予約時間が重複する番組があると、重複アイコンが表示されます。
 ● 放送時間変更などで同一の有料番組に予約が重複したときに表示されます。

- たとえば、録画予約の重複があるような場合などは、予約を取り消す番組を選択します。

3. 以下の操作をする

予約を取り消すとき

1. **◀▶** で「はい」を選び、**(決定)** を押す

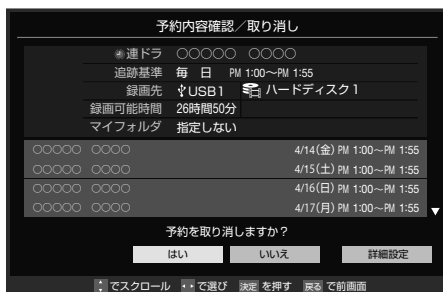


録画設定を変更するとき

- 「録画予約や連ドラ予約の設定を変更するとき」**81** の操作をします。

連ドラ予約を取り消すとき

1. **◀▶** で「はい」を選び、**(決定)** を押す



- 予約時間が重なっているときは、**!** が表示されます。

- 同一の有料番組が重なっている場合は、**!** が表示されます。

※ 連ドラ予約を取り消すと、直近の録画予約番組(録画中を含む)から予約が取り消されます。

予約内容を変更する場合

1. **▲・▼・◀▶** で「詳細設定」を選び、**(決定)** を押す

2. **▲・▼** で設定を変更する項目を選び、**(決定)** を押す

- 設定画面に表示されている項目の内容については、前ページの「録画予約や連ドラ予約の設定を変更するとき」の表を参照してください。

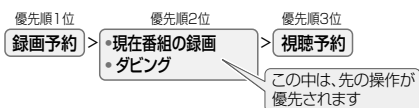
3. **▲・▼・◀▶** で「設定完了」を選び、**(決定)** を押す

予約・録画の優先順位と予約の動作について

予約・録画の優先順位について

「録画予約」が最優先されます

- 録画予約と他の録画や視聴予約などが重なった場合、録画予約が優先されて、他の録画や視聴予約は中止または取り消しになります。



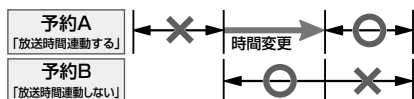
放送時間に変更されたとき

- 予約した番組の放送時間に変更されて、他の予約番組と重なったときは、以下の優先順位で録画されます。

「放送時間」を「連動する」に設定した予約番組と「連動しない」に設定した番組が重なった場合

- 「放送時間」を「連動する」に設定した番組が優先されます。

例「放送時間」を「連動する」に設定していた予約Aが時間変更に対応したため、予約Aと重なった部分の予約Bは録画されません。

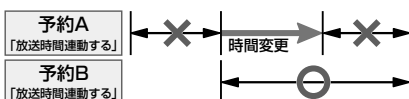


「放送時間」を「連動する」に設定した複数の予約番組が重なった場合

① 開始時刻が変更された場合

- 開始時刻の早い予約が優先されます。

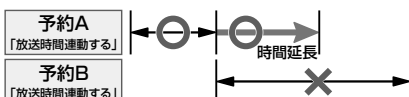
例 予約Aの変更後の開始時刻よりも、予約Bの開始時刻が早くなるので、予約Aは取り消されます。



② 放送時間が延長された場合

- 先に録画を開始した番組の時間延長が優先されます。

例 先に録画を開始し、放送時間延長に対応した予約Aが優先されます。開始時刻の遅い予約Bは取り消されます。



③ 複数の予約番組の開始時刻が同じになった場合

- 予約を登録した順に録画されます。

- 番組情報が更新されるタイミングによっては正しく録画されないことがあります。
- 終了時刻が未定のままで、継続して録画される時間は3時間までです。
- 番組情報(放送時間)が変更され、「録画予約」と「連ドラ予約」が同時刻で重なった場合は「録画予約」が優先録画されます。

予約の動作について

- 予約設定後、本機の動作は以下ようになります。

予約した番組放送が始まる時

- 予約を中止する場合は、終了または  を押します。
- 録画予約の場合は、予約した番組のチャンネルに切り換わることがあります。
- 予約した視聴制限のある番組が始まる時は、メッセージが表示されます。 を押し、暗証番号  を入力してください。

予約した番組の放送中

- 録画予約した番組の録画中に操作できないボタンを押すと、録画中を知らせるメッセージが表示されます。
- 録画予約した番組の録画が始まると、予約・録画の優先順位  に従って他の録画は中止されます。

予約した番組の終了後

- 本機を通常どおり使用できます。

録画した番組を再生する

● USBハードディスクに録画した番組を見るには、以下の操作をします。

再生の基本操作とさまざまな再生のしかた

1. 録画を押す



2. 必要に応じて録画リストの表示を変える

- 分類タブとグループタブについては、次ページの図を参照してください。

10秒戻し 30秒送り

① « ・ »で分類タブを切り換える

- ・ **すべて**
すべての録画番組が表示されます。
- ・ **未視聴**
未再生の録画番組が表示されます。
- ・ **曜日別**
録画した曜日ごとに表示されます。
- ・ **ジャンル別**
ドラマや映画などのジャンルごとに表示されます。番組情報がない場合は、「その他」に分類されます。
- ・ **連ドラ別**
「連ドラ予約」の予約ごとに表示されます。
- ・ **マイフォルダ別**
指定した「マイフォルダ」ごとに表示されます。

② ◀▶でグループタブを切り換える

- 分類が「すべて」「未視聴」の場合はグループタブはありません。
- 分類が「すべて」以外の場合は、分類タブとグループタブで選ばれた番組だけリストに表示されます。
- 分類が「未視聴」の状態で、録画リストを表示しなおした場合、分類は「すべて」の状態になります。
- 視聴年齢制限番組は表示されません。表示させるときは、**サブメニュー**を押してから、「視聴制限一時解除」を選んで **決定** を押してから暗証番号を入力してください。

3. 見たい番組を▲▼で選び、**決定**を押す

- 選んだ番組の再生が始まります。
- 前回、再生を途中で停止した番組を選んだ場合は、続きから再生されます(レジューム再生)。
- 番組を最後まで再生し終わると、そのまま静止状態になり、しばらくするとテレビ放送になります。
- 再生中にできるリモコン操作については、「録画番組の再生中にできるリモコン操作」**88頁**をご覧ください。

4. 番組再生を終了するには、 または **終了** を押す

- 放送画面などに戻ります。

番組の冒頭から再生するー 頭出し再生

- 再生する番組を選んでから、**サブメニュー**を押し、**▲・▼**で「頭出し再生」を選んで**決定**を押す

録画中の番組を再生するー 追っかけ再生

- 録画中の番組を**▲・▼**で選んで**決定**を押す

チャプターの一覧画面から再生する

- チャプターが分割されている録画番組でできます。
- 再生する番組を**▲・▼**で選んで **緑**を押す
 - チャプター一覧画面が表示されます。
 - 再生するチャプターを**▲・▼・◀・▶**で選んで**決定**を押す
 - 選択したチャプターの先頭から再生が始まります。

再生中にタイムサーチで再生位置を指定する

- サブメニュー**を押し、**▲・▼**で「サーチ」を選んで**決定**を押す
 - 画面右上に **サーチ----**が表示されます。
- 1**～**10**₍₀₎で時間を指定する
 - 例 冒頭から1時間25分5秒後の位置を指定するとき
10₍₀₎ **1** **2** **5** **10**₍₀₎ **5**の順に押します。



お知らせ

- 番組冒頭部分の約 2 秒間を飛ばして再生が始まります。(録画は番組開始時刻の約 2 秒前から開始されるようになっています)

録画リストについて

- 録画開始直後の番組は、録画リストに表示されるまでに少し時間がかかります。
- 録画リストに表示できる最大数は、通常番組が 3000 と SeeQVault™形式の番組が 3000 で合計 6000 件までです。これを超えた機器では正しく動作しないことがあります。
- 機器に記録されている情報によっては、選択中の録画番組の情報が正しく表示されないことがあります。

録画番組の再生中にできるリモコン操作

ボタン	内 容
	一時停止、早送り / 早戻し再生から通常の再生に戻します。 - 再生中に繰り返し押すと、1.5倍の速さの音声付早送り再生「早見早聞」と通常の再生が交互に切り換わります。 - 放送番組の視聴中に押すと、USBハードディスクで前回再生した番組の続きから再生されます。
静止 	再生中に押すと一時停止になり、もう一度押すと再生が再開されます。
	再生を終了し、放送画面などに戻ります。
	早送り再生をします。(押すたびに速さが変わります) - 一時停止中に押すとコマ送りができます。 - 一時停止中に1秒ほど押し続けるとスロー再生になります。スロー再生中に押すと、押すたびにスロー再生の速さが変わります(3段階)。
	早戻し再生をします。(押すたびに速さが変わります) - 一時停止中に押すと0.5秒ほど戻って一時停止になります。番組によっては、戻る時間が大きくなることがあります。 - 一時停止中に1秒ほど押し続けると連続コマ戻し再生になります。
	再生中に押すと、20 ポイントに分割された番組の前後のポイントへスキップします。 録画時間が短い番組では動作しないことがあります。
30秒送り 	再生中または早見早聞での再生中に押すと、30 秒ほど先に進んで再生します。(ワンタッチスキップ)
10秒戻し 	再生中または早見早聞での再生中に押すと、10 秒ほど戻って再生します。(ワンタッチリプレイ)
	次のチャプターの先頭にスキップして再生します。 チャプターのない録画番組では録画日時が一つ次の番組を再生します。
	現在のチャプターの先頭にスキップして再生します。再生してから4秒以内に押した場合は、一つ前のチャプターの先頭にスキップします。 チャプターのない録画番組では再生中の番組の先頭に戻って再生します。再生してから4秒以内に押した場合は、録画日時が一つ前の番組の先頭にスキップします。
録画リスト 	再生中に押すと、録画リストが表示されます。 放送番組視聴時などに押した場合も録画リストが表示されます。

- ※ 4K録画番組は、「早見早聞」「スロー再生」「連続コマ戻し再生」「コマ送り」「コマ戻し(0.5秒戻し)」の操作はできません。
- ※ 録画番組によっては、「早見早聞」が正しく動作しないことがあります。
- ※ 録画中の番組再生での早送り/早戻し再生などの特殊再生機能は、正しく動作しないことがあります。
- ※ 録画番組を早見早聞や特殊再生しているときは、字幕の表示ができません。
- ※ 録画番組によっては、一時停止やワンタッチスキップなどの特殊再生操作をしたときに映像が表示されなくなることがあります。その場合は、/観閲で通常再生に戻してから再度特殊再生の操作をしてください。

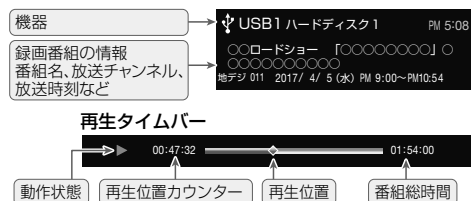
ワンタッチスキップ／ワンタッチリプレイの時間を変更する

- ワンタッチスキップとワンタッチリプレイの時間を変更することができます。お買い上げ時の設定のように、飛ばす時間よりも戻す時間を短く設定しておく、飛ばしすぎて戻すときに便利です。
- ① **設定** を押し、**▲・▼**と**決定**で「本体設定」⇒「録画・再生設定」⇒「再生設定」の順に進む
 - ② **▲・▼**で「ワンタッチスキップ設定」または「ワンタッチリプレイ設定」を選び、**決定**を押す
 - ③ **▲・▼**で時間を選び、**決定**を押す

録画番組の情報や番組説明を見る

番組の情報を見る

- ① 再生中に**画面表示**を押す
 - 再生中の番組の情報が表示されます。
 - しばらくすると番組情報の表示は消えます。



- ② 表示を消すには、もう一度**画面表示**を押す

番組説明を見る

- ① 録画リスト表示中または番組の再生中に、**サブメニュー**を押し、**▲・▼**で「番組説明」を選択して**決定**を押す
 - 番組説明画面が表示されます。
- ② 番組説明画面を消すには、**終了**を押す
 - しばらく放置した場合にも消えます。

録画番組を修復する

- 録画中に停電したり、電源プラグを抜いてしまったりすると録画番組が正しく保存されず、そのままでは再生できません。このような場合、「録画番組の修復」をすると、録画された内容を再生できるようになることがあります。

- ① **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「本体設定」⇒「録画・再生設定」⇒「通常録画用USBハードディスク設定」の順に進む
- ② ▲・▼で「録画番組の修復」を選び、**決定** を押す
- ③ 番組を修復する機器を▲・▼で選び、**決定** を押す
- ④ 確認画面で、◀・▶で「はい」を選び、**決定** を押す
 - 修復の処理が始まります。終わるまでそのままお待ちください。
- ⑤ 「録画番組の修復を行いました。」が表示されたら、**決定** を押す
 - この操作には、30分程度かかることがあります。
 - 録画番組を修復できなかった場合は、「録画番組の修復ができませんでした。」が表示されます。
 - ※ 録画番組が修復できた場合でも、通常再生以外の再生機能は正しく動作しないことがあります。

見たい録画番組を探して再生する

- USBハードディスクに録画した番組の中から、視聴したい番組を探すことができます。
- ジャンル、キーワードなどの検索条件を指定して録画番組を検索します。
- 録画番組のグループ(タブ)ごとに検索条件を設定できます。

1. 録画リストの表示中に「サブメニュー」を押す
2. ▲・▼で「番組検索」を選び、(決定)を押す
● 録画番組検索画面が表示されます。
3. 検索するグループのタブを◀▶で選ぶ



4. 検索条件を指定する

- 「ジャンル」、「キーワード」、「番組記号」の指定方法は、「条件を絞りこんで番組を探す」**39**の手順4と同じです。ほかの項目は以下の手順で指定します。

「日付」を指定するとき

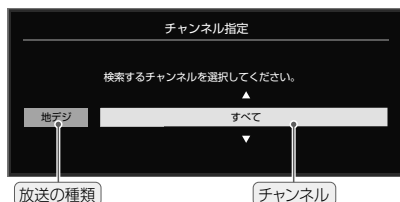
- ① ▲・▼で「日付」を選び、(決定)を押す



- ② ◀▶で左端の欄に移動し、▲・▼で「指定する」を選ぶ
- ③ ◀▶で欄を移動し、検索範囲の開始～終了の年、月、日を▲・▼で選ぶ
- ④ 指定が終わったら、(決定)を押す

「チャンネル」を指定するとき

- ① ▲・▼で「チャンネル」を選び、(決定)を押す
- ② 指定する項目を◀▶で選び、▲・▼で内容を選ぶ



- ・ 放送の種類
すべて / BS / CS / 地デジ / BS/CS 4K
 - ・ チャンネル
指定した放送の種類に該当するチャンネル / すべて
- ③ 指定が終わったら、(決定)を押す

5. ▲・▼・◀・▶で「検索開始」を選び、

決定を押す

- 検索にはしばらく時間がかかることがあります。
- 検索が終わると、検索結果画面が表示されます。

6. 見たい録画番組を▲・▼で選び、決定を押す



- 選んだ番組の再生が始まります。

録画リストのさまざまな機能を使う

- 録画リストの表示中に以下のさまざまな機能を使うことができます。

繰り返し再生の設定を変える

- 録画番組の繰り返し再生(リピート再生)を設定することができます。
- 設定した状態は本機に記憶されます。

1. **[サブメニュー]** を押し、▲・▼で「再生設定」を選んで**[決定]**を押す

2. ▲・▼で以下から選び、**[決定]**を押す
 - ・ 1コンテンツリピート
選択した一つの番組の再生を繰り返します。
 - ・ リピート
すべての番組の連続再生を繰り返します。
 - ・ オフ
繰り返し再生をしません。

- リピート再生をしているときは、画面左上にリピート再生アイコンが表示されます。(1コンテンツリピート: 、リピート: )
- 録画中の番組はリピート再生できません。

番組を並べ替える

- 録画リストに表示される番組の並び順を変えることができます。

1. **[サブメニュー]** を押し、▲・▼で「並べ替え」を選んで**[決定]**を押す

2. ▲・▼で以下から選び、**[決定]**を押す
 - ・ 新しい順
日付の新しい順に表示されます。
 - ・ 古い順
日付の古い順に表示されます。

※ 録画リストの表示順が変わっても録画番組の再生の順番は変わりません

ほかの機器を選択する

- 再生する機器を変更するには以下の操作をします。

1. **[青]** を押す

- 機器選択画面が表示されます。
- ※ 機器が1台しか接続されていない場合は、メッセージが表示されます。

2. 使用する機器を▲・▼・◀・▶で選び、**[決定]**を押す

連ドラ予約をする

- 録画リストに表示されている番組を選んで、「連ドラ予約」をすることができます。

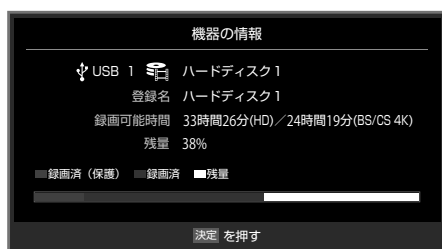
1. 連ドラ予約にする番組を▲・▼で選び、**サブメニュー**を押す
 2. ▲・▼で「連ドラ予約」を選び、**決定**を押す
 3. 「連ドラ予約」画面で内容を確認し、**◀▶**で「はい」を選んで**決定**を押す
 - 番組名や追跡基準の曜日などが正しく表示されているか確認します。
- 設定を変更する場合は、「録画予約」や連ドラ予約の設定を変更するとき**81**の操作をします。

機器の情報を確認する

- 使用中の機器の情報を確認します。
- USBハードディスクの残量も画面で確認できます。
 - ※ 残量表示や録画可能時間表示は、あくまでも目安であり、保証するものではありません。
 - ※ USBハードディスクの残量は、BS・110度CSデジタルハイビジョン放送(24Mbps)と4K放送(33Mbps)の録画が可能な時間を基準に算出しています。地上デジタルハイビジョン放送(約17Mbps)の録画番組などを削除した場合、残量の増加分は削除した番組の時間よりも少なくなります。

1. **サブメニュー**を押し、▲・▼で「機器の情報」を選んで**決定**を押す
 - 機器の情報画面が表示されます。

例：USBハードディスクの場合



2. 情報画面を消すには、**決定**を押す

SeeQVault™形式の番組を再生する

- SeeQVault™形式に変換してダビングされた番組や、他の機器で保存されたSeeQVault™形式の番組では、項目が表示されないことがあります。
- SeeQVault™形式の番組が選ばれているときは、**緑**の「チャプター一覧」の操作はできません。
- SeeQVault™対応SDメモリーカードの録画リストでは**黄**の「ダビング」は非表示となります。
- 録画リストに表示できる最大数は、通常番組が3000とSeeQVault™形式の番組が3000で合計6000件までです。これを超えた機器では正しく動作しないことがあります。
- 「録画した番組を再生する」**86**もご覧ください。

再生の基本操作

1. 録画リストを押す
○
2. 必要に応じて録画リストの表示を変える
 - ① 10秒戻し 30秒送り
「**◀**」・「**▶**」で分類タブを切り換える
 - ② **◀▶**でグループタブを切り換える
3. 見たい番組を、**▲▼**で選び、**決定**を押す
 - 選んだ番組の再生が始まります。
4. 番組再生を終了するには、**■**または**終了**を押す
 - 放送画面などに戻ります。

SeeQVault™対応機器を選択する

1. 録画リストの表示中に**青**を押す
 - 機器選択画面が表示されます。
 - ※ 機器が1台しか接続されていない場合は、メッセージが表示されます。
2. SeeQVault™対応機器を**▲▼◀▶**で選び、**決定**を押す



不要な録画番組を消す／ 誤って消さないように保護する

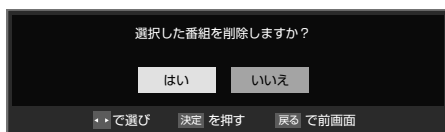
● 見終わった録画番組などを消したり、消さないように保護したりする場合は、録画リストの表示中に以下の操作をします。

一つの録画番組を消す

1. 消す番組を▲▼で選び、**赤**（削除）を押す

● 保護されている録画番組を消す場合は、保護を解除（次ページの「誤って消さないように保護する」を参照）してから **赤** を押してください。

3. 確認画面で、◀▶で「はい」を選んで **決定** を押す



2. ▲▼で「1件削除」を選び、**決定** を押す

4. 削除が終了したら、**決定** を押す

複数の録画番組を消す

1. 消す番組のどれかを▲▼で選び、**赤**（削除）を押す

2. ▲▼で「複数削除」を選び、**決定** を押す

3. 消す番組を▲▼で選び、**決定** を押す

● **決定** を押すたびに、☒と☐が交互に切り換わります。

削除する番組に✓をつけます。

● 保護された番組を消す場合は、その番組を選び、**青** を押して保護を解除してから **決定** を押します。

4. 選択が終わったら **赤**（削除実行）を押す

5. 確認画面で、◀▶で「はい」を選んで **決定** を押す

6. 削除が終了したら、**決定** を押す

✓をつけた番組が削除されます **青**は **青**で解除してから



グループ内の録画番組をすべて消す

1. まとめて消すグループの録画リストを表示させる
 - 「録画した番組を再生する」の手順2をご覧ください。
2.  (削除) を押し、▲・▼で「グループ内全削除」を選び、 を押す
3. 確認画面で、◀・▶で「はい」を選んで  を押す
4. 削除が終了したら、 を押す

自動的に消す（自動削除設定）

- お買い上げ時は、USBハードディスクの容量が足りなくなったときに、保護されていない古い録画番組が自動的に削除されるように設定されています。削除されないようにする場合は「削除しない」に設定してください。

1.  を押し、▲・▼で「自動削除設定」を選んで  を押す
2. ▲・▼で「削除する」または「削除しない」を選び、 を押す

誤って消さないように保護する

- 自動削除機能で削除されたり、誤って消してしまったりしないように、録画番組を保護することができます。

※ 録画中にこの操作はできません。

1. 保護する番組を ▲・▼ で 選び、
 を押す
2. ▲・▼で「保護」を選び、 を押す
 - 選択した番組が保護されます。(🔒 がつきます)
 - 保護されている番組を選択してサブメニューを表示させると、「保護解除」ができます。

チャプター編集をする

録画済番組の再生中に編集する

● 録画済番組の再生中にチャプターの分割と結合ができます。

1. 録画リストを表示させる (**86** 1~2)
2. チャプター編集をする録画済番組を
▲・▼で選び、(決定)を押す
3. 各種の再生操作をして、チャプター
分割をしたい場面で **静止** を押す
● 画面右下に操作ガイドと再生タイムバーが表示されます。
4. **青** または **赤** でチャプター
編集をする
 - **青** を押すと、一時停止した場面でチャプターが分割されます。
 - **赤** を押すと、一時停止したチャプターとその前のチャプターが結合されます。
 - 必要に応じて、手順3と4を繰り返します。



- **◀◀**・**▶▶** で、コマ送りやスロー再生ができます。

▶▶	- 一時停止中に押すとコマ送りができます。 - 一時停止中に1秒ほど押し続けるとスロー再生になります。スロー再生中に押すたびにスロー再生の速さが変わります(3段階)。
◀◀	- 一時停止中に押すと0.5秒ほど戻って一時停止になります。 - 一時停止中に1秒ほど押し続けると連続コマ戻しになります。

グループ名を変更する

- 「マイフォルダ別」の録画リストで表示されるグループのタブ名を変更することができます。
- 「連ドラ別」の場合にも同様の操作ができます。その場合は、グループ名を変更すると予約リストの予約番組名も同じ名前に変更されます。
- ハードディスクが複数接続されている場合、機器ごとにグループ名を変更することはできません。
- 番組の録画中にこの操作をすることはできません。

1. 「マイフォルダ別」の録画リストを表示させる(86㉾ 1~2)

- 連ドラグループ名を変更する場合は、「連ドラ別」の録画リストを表示させます。

2. 名前を変更するグループのタブを

◀▶で選ぶ

例「わたし」のグループを選択



3. [サブメニュー] を押し、▲▼と決定で「編集・管理」⇒「マイフォルダ管理」⇒「マイフォルダ名の変更」の順に進む

- 「連ドラ別」のグループ名を変更する場合は、「編集・管理」⇒「連ドラグループ名の変更」の順に進みます。

4. 文字入力画面でグループ名を入力する

- お好みの分類名にすることができます。
- 文字入力の方法は、144㉾ をご覧ください。
- 全角文字で10文字まで入力できます。
- 文字入力の操作が終わると、録画リストのグループタブ名が変更されます。

例「わたし」⇒

「まさみのお気に入り」に変更



ほかのグループに移動する

- 録画番組をほかのグループに移動することができます。

たとえば、録画時の設定で「 わたし」に分類した番組を、録画後に「お気に入り2」に移すことができます。

※ USBハードディスクでの録画中は、この操作はできません。

※ 保護された録画番組は、移動することはできません。

1. 「マイフォルダ別」の録画リストを表示させる (1~2)

2. 移動する番組が保存されているグループのタブを◀▶で選ぶ

3. 移動する番組を▲▼で選ぶ

4. を押し、▲▼と で「編集・管理」⇒「マイフォルダ管理」⇒「マイフォルダの変更」の順に進む

5. ▲▼で以下から選び、 を押す

・ 1件変更

選択中の番組を別のグループに移動します。

・ 複数変更

複数の番組を選択して、まとめて別のグループに移動します。

・ グループ内全変更

選択中のグループの全番組を別のグループに移動します。

6. 移動先のグループを ▲▼ で 選び、 を押す

- グループアイコンとグループ一覧(お買い上げ時の設定)

	みんな		お気に入り 1
	おとうさん		お気に入り 2
	おかあさん		お気に入り 3
	ぼく		お気に入り 4
	わたし		お気に入り 5
	おじいちゃん		お気に入り 6
	おばあちゃん		指定しない

7. 「複数変更」の場合は以下の操作をする

- ① 移動する番組を ▲▼ で 選び、 を押す

● を押すたびに、☒ と ☐ が交互に切り換わります。移動する番組に ☒ をつけます。

● 保護されている番組は移動できません。

移動する番組に ☒ をつけます



- ② 移動する番組をすべて選んだら を押す

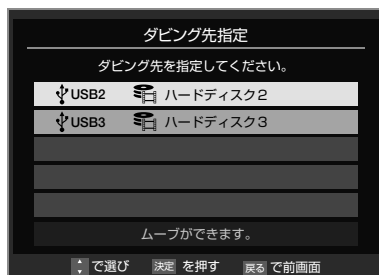
8. 確認画面で、◀▶で「はい」を選んで を押す

録画番組をダビング（ムーブ）する

- 本機でUSBハードディスクに録画した番組を他の機器にダビングすることができます。
 - ・ 機器の接続や設定については、「レグザリンクダビングの接続・設定をする」
[59] ～ [61] をご覧ください。
 - ・ USBハードディスク間のダビングは、ムーブ(移動)だけできます。
 - ・ レグザリンクダビングに対応しているDTCP-IP対応サーバーには、番組のコピー制御情報(コピーワンスやダビング10など)に従ってダビングすることができます。
- ※ USBハードディスクからDTCP-IP対応サーバーへダビングをした番組をUSBハードディスクに戻すことはできません。
- ※ ダビング中に機器の接続を変更したり、電源プラグをコンセントから抜いたりしないでください。
- ※ ダビング中の番組は再生できません。
- ※ 4K放送の録画番組はDTCP-IP対応サーバーへダビングできません。

USB ハードディスク間でムーブする

1. 録画リストを表示させる([86] 1～2)
2. ダビングする番組を▲・▼で選び、**黄**を押す
3. ▲・▼で「1件ダビング」または「複数ダビング」を選び、**決定**を押す
4. ダビング先を▲・▼で選び、**決定**を押す
 - ダビング先に指定できる機器が1台の場合、この手順はありません。



5. 「複数ダビング」の場合は以下の操作をする

① ダビングする番組を▲・▼で選び、**決定**を押す

- **決定**を押すたびに、☒と☐が交互に切り換わり、✓をつけた番組がダビングされます。
- 保護された番組をダビングする場合は、その番組を選び、**青**を押して保護を解除してから**決定**を押します。

✓をつけた番組がダビングされます **青**は 青 で解除してから



② ダビングする番組をすべて選んだら **黄**を押す

- 一度にダビングできるのは64番組までです。

6. 「ダビング」画面で、◀▶で「はい」を選んで**決定**を押す



東芝レコーダーにダビングしてディスクに保存する

ネットワーク接続でダビングする

- DTCP-IP対応の東芝レコーダー(RD-X8以降の対応機種)にネットワーク経由でダビングをすることができます。

※ 4K放送の録画番組はダビングできません。

- 番組のコピー制御情報に従ったダビングとなります。

準備

1. 本機と東芝レコーダーをLANで接続する

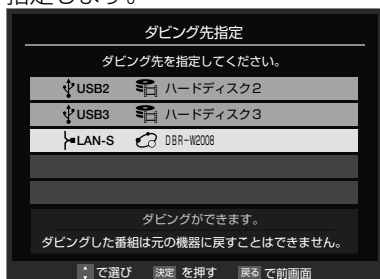
- 「レグザリンクダビングの接続・設定をする」**[59]**～**[61]**と同じです。

2. ネットワークの設定を確認する

- 「レグザリンクダビングの接続・設定をする」**[59]**～**[61]**と同じです。

ダビングの操作

- 「USBハードディスク間でムーブする」**[101]**の操作手順と同じです。
手順4で、LAN接続したDTCP-IP対応の東芝レコーダーをダビング先に指定します。



- ※ 使用する機器が「ダビング先指定」の画面(1台だけの場合は「ダビング」の画面)に表示されない場合は、接続や設定を確認します。

- 手順6の「ダビング」画面で、必要に応じて▲・▼・◀・▶で「ダビング終了時電源オフ」を選び、**(決定)**を押して✓をつけます。(この機能に対応しているレコーダーだけ)



ダビング終了後にレコーダーの電源を切るには、☒をつける

ブルーレイディスクに手間なくダビングする

- 本機でUSBハードディスクに録画した番組を、東芝レコーダーのブルーレイディスクに直接ダビングする操作感覚でダビングすることができます。
 - ・ 東芝レコーダー対応機種 形名 (2018年4月現在)
DBR-T3008、DBR-W2008
他の対応機種については、以下のURLをご覧ください。
<http://www.toshiba.co.jp/regza/>
- 番組のコピー制御情報に従ったダビングとなります。

準備

- 「ネットワーク接続でダビングする」の「準備」を参照してください。

ダビングの操作

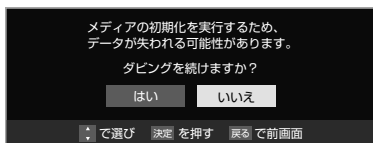
1. 録画リストを表示させる (863 1～2)
2. ダビングする番組を▲・▼で選び、**黄**を押す
3. ▲・▼で「1件ダビング」または「複数ダビング」を選び、**決定**を押す
4. ダビング先を▲・▼で選び、**決定**を押す
 - 対象の東芝レコーダーをダビング先に指定します。

5. ブルーレイディスクが挿入されているドライブを▲・▼で選び、**決定**を押す

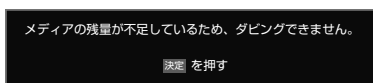


メッセージが表示されたとき

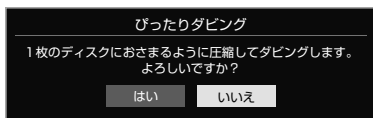
- レコーダーがメディアの自動初期化に対応している場合、レコーダーが未初期化状態として認識するブルーレイディスクが挿入されていると以下のメッセージが表示されます。
「はい」を選択して続行した場合、ブルーレイディスクに記録されたデータはすべて消去されます。(レコーダー以外の機器で記録したデータなどがある場合はご注意ください)



- レコーダーのハードディスク残量が不足している場合や、ハードディスクに録画できる残りの番組数が不足していると、以下のメッセージが表示されます。



- レコーダーが「ぴったりダビング」に対応している場合は、以下のメッセージが表示されます。
「はい」を選択した場合、圧縮ダビングによって画質が低下することがあります



6. 「複数ダビング」の場合は「102」の手順5の操作をする

- この場合は選択した順番でダビングされます。(☑の右側に順番を表す番号が表示されます)

7. 「ダビング」画面で、◀▶で「はい」を選んで決定を押す

- ダビング終了時にレコーダーの電源を切る場合は、▲▼◀▶で「ダビング終了時電源オフ」を選び、決定を押して✓をつけてから「はい」を選びます。
- レコーダーのハードディスクや挿入されたブルーレイディスクの状態によっては、手順5のメッセージが表示されます。
- ダビングが始まってしばらくすると、画面の右下に進行状況が表示されます。
- 本機からレコーダーへのダビングが完了すると、レコーダー側でブルーレイディスクへの書き込みが開始されます。

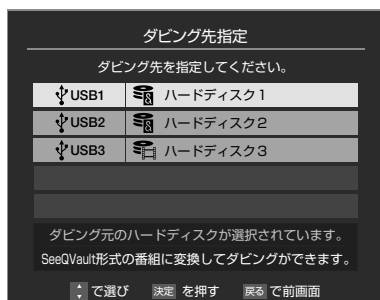
録画番組を SeeQVault™形式にする

- 次の手順によって本機で録画した番組をSeeQVault™形式に変換することができます。
- ※ SeeQVault™形式で直接録画はできません。ダビング処理でSeeQVault™形式に変換してください。
- ※ 4K放送の録画番組はSeeQVault™形式に変換できません。

SeeQVault™形式に変換して USB ハードディスクにダビングする

- 録画した番組を、SeeQVault™形式に変換してダビングすると、他の東芝のSeeQVault™対応のレグザやレコーダーで再生できます。

1.  を押し、録画リストを表示させる
 - 「再生の基本操作とさまざまな再生のしかた」[86](#) をご覧ください。
2. ダビングする番組を ▲・▼ で選び、 を押す
3. ▲・▼ で「1件ダビング」または「複数ダビング」を選び、 を押す
4. SeeQVault™ 対応のUSBハードディスクを ▲・▼ で選び、 を押す

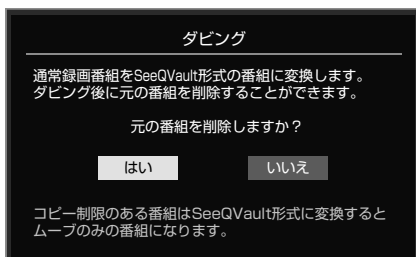


- ダビング元がSeeQVault™対応USBハードディスクの場合は、ダビング先をダビング元と同一にすることもできます。

5. ◀▶ で「はい」または「いいえ」を選び、 を押す

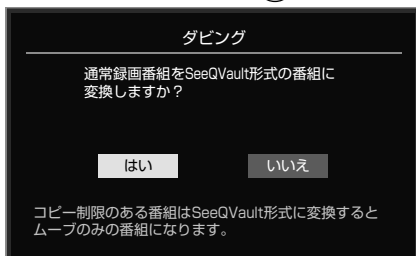
ダビング先がダビング元と同一のとき

- 番組はSeeQVault™形式に変換されます。ダビング後に元の番組を削除するかどうか選択します。



ダビング先がダビング元と異なるUSBハードディスクのとき

- ① ◀▶ で「はい」を選び、 を押す



6. 「複数ダビング」の場合は以下の操作をする

① ダビングする番組を▲・▼で選び、**決定**を押す

- **決定**を押すたびに、☒と☐が交互に切り換わり、✓の番組がダビングされます。
- 保護された番組をダビングする場合は、その番組を選び、**青**を押して保護を解除してから**決定**を押します。

② ダビングする番組を▲・▼で選んだら**黄**を押す

- 一度にダビングできるのは64番組までです。

7. 「ダビング」画面で、◀・▶で「はい」を選んで**決定**を押す



SeeQVault™形式に変換してSDメモリーカードにダビングする

1. 「SeeQVault™形式に変換してUSBハードディスクにダビングする」の手順1～3の操作をする

2. ダビング先に「SDカードリーダー」を▲・▼で選んで**決定**を押す

3. ◀・▶で「はい」を選び、**決定**を押す

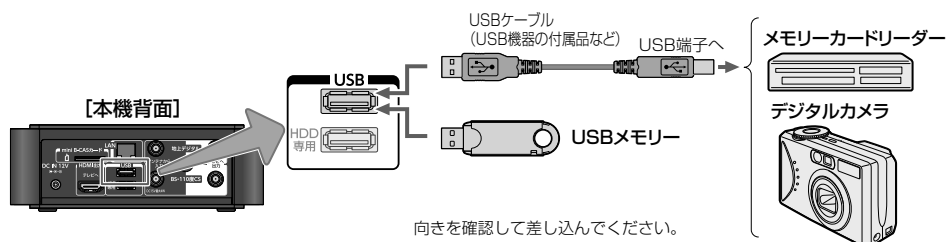


USB 機器を接続する

- USB 機器に保存されている動画を本機で再生することができます。**110** ~ **112**
- ※ 暗号化や指紋認証などのセキュリティ機能を有効にした機器や記録メディアなどは、本機では使用できません。

ご注意

- 以下の USB 機器は、図の位置の USB 端子に接続してください。HDD 専用端子には接続しないでください。
- USB 機器を取りはずすときは、動画の再生を終了させてください。再生中に機器を取りはずしたり、電源を切ったりすると、機器や記録メディアに記録されているデータが破壊されるおそれがあります。
- それぞれの機器の動作や取り扱いなどについては、機器の取扱説明書をよくお読みください。



機器の接続時に操作メニューが表示されるようにする

- 「オートメディアプレーヤー」を「オン」に設定しておく、放送番組の視聴時に USB メモリーなどを挿入したときに、オートメディアプレーヤーもしくは動画リストの画面が表示されます。**110**（お買い上げ時は「オン」に設定されています）

※ USB メモリーなどを挿入した状態で本機の電源を入れた場合や、放送番組の視聴以外の操作をしているときに USB メモリーなどを挿入した場合には、オートメディアプレーヤーもしくは動画リストの画面は表示されません。

1. **設定** を押し、▲▼で **決定** で「本体設定」⇒「録画・再生設定」⇒「メディアプレーヤー設定」⇒「オートメディアプレーヤー」の順に進む

オートメディアプレーヤー	オン	オン
動画自動再生設定	オフ	オフ

2. ▲▼で「オン」または「オフ」を選び、**決定** を押す
 - ・ **オン**
オートメディアプレーヤーもしくは動画リストの画面が表示されます。
 - ・ **オフ**
オートメディアプレーヤーもしくは動画リストの画面は表示されません。

起動時に動画が自動的に再生されるようにする

- 「動画自動再生設定」を「オン」に設定しておくと、本機の電源をオンにした時点で接続されているUSB機器に記録されている動画が自動的に再生されます。(お買い上げ時は「オフ」に設定されています)

※ 接続されているUSBメモリーなどのルートフォルダに動画コンテンツが存在しない場合、この機能は働きません。

1. **設定** を押し、**▲・▼**と**決定**で「本体設定」⇒「録画・再生設定」⇒「メディアプレーヤー設定」⇒「動画自動再生設定」の順に進む

オートメディアプレーヤー	オン
動画自動再生設定	オフ
	オン
	オフ

2. **▲・▼**で「オン」または「オフ」を選び、**決定**を押し

- **オン**

電源オン時に、USB端子に接続された機器の動画を自動的に再生します。

- **オフ**

この機能は働きません。

お知らせ

- すべてのUSB機器の動作を保証するものではありません。
- USBハブを使って本機のUSB端子に接続した場合に認識できるUSBハブは二つで機器数は最大7台です。スロットを複数持つメモリーカードリーダーなどの場合は、1スロットで1台とみなされます。なお、USBハブを使った場合は、正常に動作しないことがあります。

動画を再生する

- USB機器に保存されている動画を本機で再生できます。
- 機器の接続や設定などの準備については、「USB機器を接続する」**[108]**をご覧ください。
- 本機で再生できる動画のフォーマットについては、**[149]**をご覧ください。

ご注意

- 再生中は、機器を取りはずしたり、機器や本機の電源を切ったりしないでください。記録されているコンテンツが損なわれることがあります。

動画再生の操作

- オートメディアプレーヤーの画面が表示された場合は、▲・▼で「録画番組を見る」または「動画を見る」を選んで**[決定]**を押し、手順**3**から操作します。



1. **[サブメニュー]**を押し、▲・▼で「メディアプレーヤー」を選んで**[決定]**を押し
2. 再生機器を▲・▼・◀・▶で選び、**[決定]**を押し
3. フォルダを▲・▼で選び、**[決定]**を押し
 - 機器によっては、この操作はありません。



4. 動画を▲・▼で選び、**[決定]**を押し



- 再生中に次ページのリモコン操作ができます。
5. 動画再生を終了するには、**[終了]**または**[終了]**を押し
 - 放送画面などに戻ります。

お知らせ

- レジュームポイントが記憶されている場合は、続きから再生されます。
- USB 機器で記録されたコンテンツの場合、手順**4**で選択した動画を先頭にリスト内の動画の連続再生になります。

動画再生時にできるリモコン操作

- 機器によっては再生と停止しかできないなど、機能が制限されることがあります。
- 動画によっては、機能が制限されることがあります。4Kの動画では「早見早聞」「スロー再生」「連続コマ戻し再生」の操作はできません。
- ワンタッチスキップとワンタッチリプレイの時間は、「ワンタッチスキップ／ワンタッチリプレイの時間を変更する」**[89]**で変更することができます。

ボタン	内 容
	動画の再生を開始します。 再生中に繰り返し押すと、1.5倍の速さの音声付早送り再生「早見早聞」と通常の再生が交互に切り換わります。 ※ 動画や機器によっては、「早見早聞」が正しく動作しないことがあります。
静止 	再生中に押すと一時停止になります。 一時停止中にもう一度押すと、再生が再開されます。
	動画の再生を終了し、放送画面などに戻ります。
	早送り再生をします。(押すたびに速さが変わります) 一時停止中に1秒ほど押し続けるとスロー再生、または連続コマ送りになります。スロー再生または連続コマ送り中に押すと、押すたびに速さが変わります(2段階または3段階(再生する動画のある機器によって異なります))。
	早戻し再生をします。(押すたびに速さが変わります) 一時停止中に1秒ほど押し続けると連続コマ戻しになります。
	再生中に押すと、20 ポイントに分割された動画の前後のポイントへスキップします。 再生時間が短い動画では動作しないことがあります。
30秒送り 	再生中に押すと、30 秒ほど先に進んで再生します。(ワンタッチスキップ)
10秒戻し 	再生中に押すと、10 秒ほど戻って再生します。(ワンタッチリプレイ)
	次の動画の先頭にスキップして再生します。
	現在の動画の先頭にスキップして再生します。再生してから約 4 秒以内に押した場合は、一つ前の動画の先頭にスキップします。
録画リスト 	再生中に押すと、動画再生のリスト画面が表示されます。

※ 機器によってはスキップの対象がチャプターになります。

動画の再生方法を設定する

- 動画を繰り返して再生することができます。
- 設定した状態は本機に記憶されます。

1. 動画再生リストの表示中に **サブメニュー** を押す
2. **▲・▼** で「再生設定」を選び、**決定** を押す
3. **▲・▼** で以下から選び、**決定** を押す
 - ・ **1コンテンツリピート**
選択した一つの動画の再生を繰り返します。(↺)
 - ・ **リピート**
フォルダ内にあるすべての動画の連続再生を繰り返します。(↺)
 - ・ **オフ**
繰り返し再生をしません。

時間を指定して再生する (タイムサーチ)

1. 再生中に **サブメニュー** を押し、**▲・▼** で「サーチ」を選んで **決定** を押す
 - 画面右上に **サーチ-----** が表示されます。
2. **1** ~ **10**₍₀₎ で時間を指定する
例 冒頭から1時間25分5秒後の位置を指定するとき
10₍₀₎ **1** **2** **5** **10**₍₀₎ **5** の順に押します。

動画を並べ替える

- 機器によっては並べ替えができないことがあります。

1. 動画再生リストの表示中に **サブメニュー** を押す
 2. **▲・▼** で「並べ替え」を選び、**決定** を押す
 3. **▲・▼** で「新しい順」または「古い順」を選び、**決定** を押す
- ※ 動画再生リストの表示順が変わると動画の再生の順番が変わります

機器を選び直す

- 使用する機器を選び直すときは、**青** を押します。
動画再生リストのときに **サブメニュー** を押し、**▲・▼** で「機器の情報」を選んで **決定** を押すと、機器の情報を確認できます。

動画再生リストの操作ガイドについて

- 機器によっては、以下の操作ガイドが表示される場合があります。
 - ・ **赤** 削除
「不要な録画番組を消す」**96** を参考にしてください。

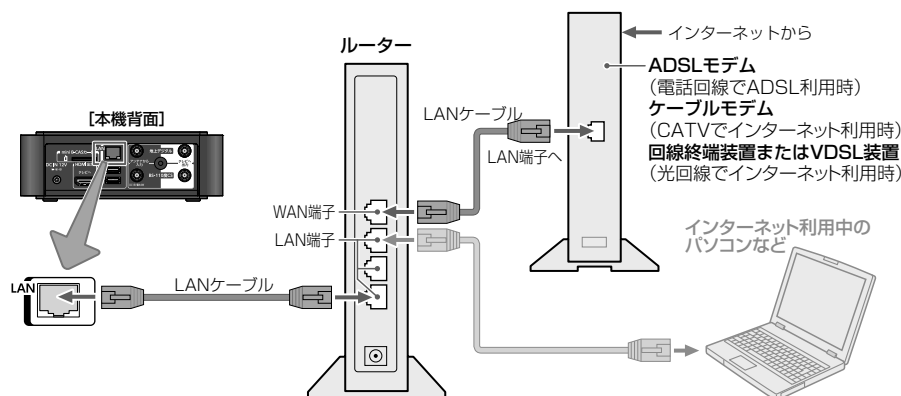
インターネットを利用するための接続をする

- はじめてインターネットを利用する場合は、通信事業者やプロバイダー(インターネット接続業者)との契約が必要です。通信事業者または取り扱いの電気店などにご相談ください。
- 接続方法でご不明な点は、裏表紙に記載の「東芝DVDインフォメーションセンター」にお問い合わせください。
- 接続が終わったら、必要に応じて **115** のネットワーク設定をしてください。
- すでにパソコンでインターネットを利用している場合は、本機のLAN端子とルーターのLAN端子を市販のLANケーブルで接続するだけです。
- モデムとルーターが一体化されている場合もあります。それぞれの取扱説明書もよくお読みください。

本機をインターネットに接続したときにできること

できること	内 容	記載ページ
データ放送の 双方向サービス	● データ放送の双方向サービスを利用して、クイズ番組に参加したり、ショッピング番組で買物をしたりすることができます。 ※ 本機は電話回線を利用した双方向サービスには対応していません。	42
ソフトウェアの更新	● 東芝サーバーから本機の最新ソフトウェアをダウンロードすることができます。	139

接続のしかた



ご注意

- LAN ケーブルを抜き差しするときは、本機および接続機器などの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

お願い

- LAN ケーブルは、カテゴリ 5（CAT5）と表示された規格以上のものをご使用ください。
- 本機の LAN 端子は、必ず電気通信端末機器の技術基準認定品ルーターなどに接続してください。
- 通信事業者およびプロバイダーとの契約費用および利用料金などは、ご自身でお支払いください。
- 以下の場合やご不明な点は、ご契約の回線事業者やケーブルテレビ会社、プロバイダーなどにお問い合わせください。
 - ・ ご契約によっては、本機やパソコンなどの機器を複数接続できないことがあります。
 - ・ 一部のインターネット接続サービスでは、本機を利用できないことがあります。
 - ・ プロバイダーによっては、ルーターの使用を禁止あるいは制限している場合があります。
 - ・ 回線の状況によっては、うまく通信できないことがあります。
 - ・ モデムについてご不明な点など。

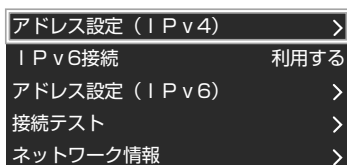
お知らせ

- 本機では、ルーターやルーター内蔵モデムの設定はできません。これらの機器によっては、パソコンでの設定が必要な場合があります。
- 本機はダイヤルアップ通信や ISDN 回線などでインターネットを利用することはできません。
- この取扱説明書で図示していない機器が接続されている場合は、正常に通信できないことがあります。
- ルーターなどが正しく設定されていない回線に本機の LAN 端子を接続すると、本機が正常に動作しないことがあります。

インターネットを利用するための設定をする

- お買い上げ時の設定でネットワーク接続した機器が利用できない場合やネットワークの設定をやり直す場合などに、必要に応じて設定します。

1. **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「本体設定」⇒「ネットワーク設定」⇒「ネットワーク接続設定」の順に進む
2. 設定する項目を▲・▼で選んで、**決定** を押す



3. 以降の手順で設定する

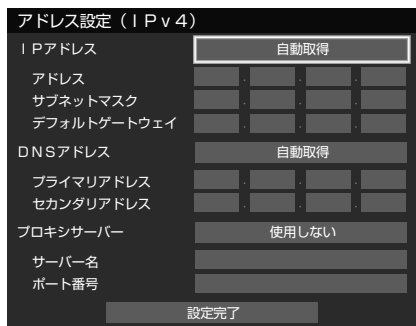
アドレス設定 (IPv4)

- インターネットに接続するために、本機に割り当てられる固有の番号を設定します。

IPアドレス

- ※ 「IPアドレス」を「手動設定」に設定した場合は、「DNSアドレス」は、自動的に「手動設定」に設定されます。その場合は、DNSアドレスを手動で設定します。

- ① IPアドレスを自動取得できる場合は、▲・▼で「自動取得」を選び、**決定** を押す



自動取得できないネットワーク環境の場合

- ① ▲・▼で「手動設定」を選び、**決定** を押す
 - ② ▲・▼で「アドレス」を選び、**1**～**10**₍₀₎で入力する
 - ③ ▲・▼で「サブネットマスク」を選び、**1**～**10**₍₀₎で入力する
 - ④ ▲・▼で「デフォルトゲートウェイ」を選び、**1**～**10**₍₀₎で入力する
- ・ ②～④では0～255の範囲の数字(左端の欄は0以外)を四箇所の欄に入力します。
 - ・ 欄を移動するには、◀▶を押します。

- ② ▲・▼で「設定完了」を選び、**決定** を押す

DNSアドレス

- ドメイン名をIPアドレスに置き換える機能を持ち、IPアドレスで特定されているDNSサーバーを設定します。

※ 「IPアドレス」を「手動設定」に設定した場合は、「DNSアドレス」は自動的に「手動設定」に設定され、「自動取得」にはできません。その場合は、DNSアドレスを手動で設定します。

- ① DNSアドレスを自動取得できる場合は、▲・▼で「自動取得」を選び、(決定)を押す

自動取得できないネットワーク環境の場合

- ① ▲・▼で「手動設定」を選び、(決定)を押す
 - ② ▲・▼で「プライマリアドレス」を選び、～₍₀₎で入力する
 - ③ ▲・▼で「セカンダリアドレス」を選び、～₍₀₎で入力する
- ・ ②と③では0～255の範囲の数字(左端の欄は0以外)を四箇所の欄に入力します。
 - ・ 欄を移動するには、◀・▶を押します。

- ② ▲・▼で「設定完了」を選び、(決定)を押す

プロキシサーバー

- インターネットとの接続時にプロキシ(代理)サーバーを経由する場合に設定します。
- ご契約のプロバイダーから指定がある場合にだけ設定します。
- ここでのプロキシ設定はHTTPに関するものです。

- ① ▲・▼で「使用する」を選び、(決定)を押す

- ② ▲・▼で「サーバー名」を選び、(決定)を押す

- ③ サーバー名を入力する
 - ・ 文字入力の方法は、をご覧ください。
 - ・ 入力できる文字は半角英字／半角数字で、記号は半角の!"#\$%&()*+,-::;<=>@[¥]^_`?`/です。

- ④ ▲・▼で「ポート番号」を選び、～₍₀₎でポート番号を入力する

- ⑤ ▲・▼で「設定完了」を選び、(決定)を押す

IPv6 接続

- IPv6アドレスを用いてネットワークに接続する場合に設定します。

※ ルーターのIPv6パススルー (IPv6ブリッジ)を有効にした場合は、外部からのアクセスが可能になり、セキュリティが低下します。同じルーターにつながパソコンは、正しくアクセス制限の設定をおこない、セキュリティ対策ソフトなどをお使いになることをお勧めします。

- ① ▲・▼で「利用する」または「利用しない」を選んで、(決定)を押す

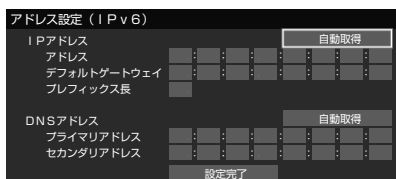
アドレス設定 (IPv6)

- IPv6で接続するときに、本機に割り当てられる固有の番号を設定します。

IPアドレス

- ※「IPアドレス」を「自動取得」に設定した場合は、IPv6ステートレスアドレス自動設定方式によりIPアドレスを取得した後、DHCPv6によりDNSアドレスを取得します。
- ※「IPアドレス」を「手動設定」に設定した場合は、「DNSアドレス」は自動的に「手動設定」に設定されます。その場合は、DNSアドレスを手動で設定します。

- ① IPアドレスを自動取得できる場合は、▲▼で「自動取得」を選び、決定を押す



自動取得できないネットワーク環境の場合

- ① ▲▼で「手動設定」を選び、決定を押す
- ② ▲▼で「アドレス」を選び、1～10(0)、11(a～c)、12(d～f)で入力する
- ③ ▲▼で「デフォルトゲートウェイ」を選び、1～10(0)、11(a～c)、12(d～f)で入力する
- ④ ▲▼で「プレフィックス長」を選び、1～10(0)で入力する
 - ・ ②、③では0～9、a～fの英数字(左端の欄は0以外)を八箇所の欄に入力します。
 - ・ ④では1～127の範囲の数字を入力します。
 - ・ 欄を移動するには、◀▶を押します。

- ② ▲▼で「設定完了」を選び、決定を押す

DNSアドレス

- ※「IPアドレス」を「手動設定」に設定した場合は、「DNSアドレス」は自動的に「手動設定」に設定され、「自動取得」にはできません。その場合は、DNSアドレスを手動で設定します。

- ① DNSアドレスを自動取得できる場合は、▲▼で「自動取得」を選び、決定を押す

自動取得できないネットワーク環境の場合

- ① ▲▼で「手動設定」を選び、決定を押す
- ② ▲▼で「プライマリアドレス」を選び、1～10(0)、11(a～c)、12(d～f)で入力する
- ③ ▲▼で「セカンダリアドレス」を選び、1～10(0)、11(a～c)、12(d～f)で入力する
 - ・ ②と③では0～9、a～fの英数字(左端の欄は0以外)を八箇所の欄に入力します。
 - ・ 欄を移動するには、◀▶を押します。

- ② ▲▼で「設定完了」を選び、決定を押す

接続テスト

1. **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「本体設定」⇒「ネットワーク設定」⇒「ネットワーク接続設定」の順に進む
2. ▲・▼で「接続テスト」を選び、**決定** を押す
 - 「ネットワーク設定」が正しいかテストします。テストが終わると「接続テスト結果」画面が表示されます。「インターネットに接続できました。」と表示された場合は、「終了」を押します。
 - 正しく接続できなかった場合は、「再テスト」を選んで **決定** を押します。再度接続テストを行い、接続テスト結果画面が表示されます。再テストを行っても接続できない場合は、「設定をやりなおす」を選んで **決定** を押し、設定をやり直してください。

ネットワーク情報

1. **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「本体設定」⇒「ネットワーク設定」⇒「ネットワーク接続設定」の順に進む
2. ▲・▼で「ネットワーク情報」を選び、**決定** を押す
 - 現在利用しているネットワーク情報が表示されます。
 - ネットワーク接続の設定によっては、表示されない項目もあります。

ネットワーク設定の接続テスト結果について

- 接続テストの結果、正しく通信できなかった場合は、以下を確認します。
- ① LAN端子の接続状態と「ネットワーク設定」を確認する
 - ・ 正しく接続・設定されているかを確認ください。設定内容については、ルーターの設定内容に關係することがありますのでご注意ください。(ルーターの設定については、ルーターの取扱説明書をご覧ください)
- ② ネットワーク環境の接続確認
 - ・ 以下の手順で本機と同一ネットワーク上に接続されたパソコンからインターネットに接続できるか確認します。
 - ① パソコンのインターネット・ブラウザ(Internet Explorerなど)を起動する
 - ② URL欄 に「www.toshiba.co.jp/」を入力し、ページが表示されることを確認する
 - ・ ページが正しく表示されない場合は、接続されているパソコンやルーターの設定が正しいか確認します(詳しくは、パソコン、ルーターの取扱説明書をご覧ください)。この場合、本機の問題ではない可能性があります。
- 接続テストの結果で「IPv6接続のご利用について」が表示された場合
 - ・ 「アドレス設定(IPv6)」の設定内容が、ご使用のネットワーク環境に合っているかをご確認ください。
 - ・ ルーターのIPv6設定が有効かを確認ください。
上記を確認してもIPv6の接続ができない場合は、IPv6をご利用いただける契約か、プロバイダーにご確認ください。
- ※ IPv6接続でネットワーク接続をご利用にならない場合は、「IPv6接続」を「利用しない」に変更してください。

ネットワークに関するお知らせ・用語

お知らせ

■ アドレス設定 (IPv4) の IP アドレスについて

- 本機に接続されたルーターの DHCP 機能 (IP アドレスを自動的に割り当てる機能) が ON のときは、アドレス設定 (IPv4) の IP アドレスを「自動取得」、「手動設定」のどちらでも設定できます。
(通常は、「自動取得」に設定します。「手動設定」の方法は [115](#) をご覧ください)
- ルーターの DHCP 機能が OFF のときは、「手動設定」にして、プロバイダーから指定されたアドレスを手動で設定します。
- 手動で設定する際は、他の接続機器と IP アドレスが重複しないように設定します。設定する固定 IP アドレスはプライベートアドレスでなければなりません。
- 設定終了後、本機に設定された IP アドレスとルーターのローカル側に設定された IP アドレスのネットワーク ID 部分がそれぞれ同じであることを確認します。(詳しくは、ルーターの取扱説明書をご覧ください)

■ アドレス設定 (IPv4) の DNS アドレスについて

- 本機に接続されたルーターの DHCP 機能が ON のときは、アドレス設定 (IPv4) の DNS アドレスを「自動取得」、「手動設定」のどちらでも設定できます。
(通常は、「自動取得」に設定します。「手動設定」の方法は [116](#) をご覧ください)
- 本機に接続されたルーターの DHCP 機能が OFF のときは、アドレス設定 (IPv4) の DNS アドレスを「手動設定」にして、プロバイダーから指定されたものを手動で設定します。(プロバイダーによって設定方法が異なります。プロバイダーとの契約内容に沿った設定をしてください)

■ PPPoE 設定について

- 本機では PPPoE の設定はできません。PPPoE はルーター側に設定してください。(設定にはパソコンが必要です)
-

用語

■ アドレス (IPv4)

ネットワークに接続する場合に、端末に割り当てられる固有の番号です。最大 3 ケタの数字 4 組を点で区切った形式で表現されます。(例: 111.112.xxx.xxx)

■ アドレス (IPv6)

ネットワークに接続する場合に、端末に割り当てられる固有の番号です。最大 4 ケタの数字または a ~ f までのアルファベット 8 組を「:」で区切った形式で表現されます。(例: 1111:ABCD:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx)

■ DNS サーバー

ドメイン名 (xxx.co.jp など) を IP アドレスに置き換える機能を持つサーバーで、本機では自動的に取得されます。自動で取得できない場合は、手で、プロバイダーからの資料で指定された DNS アドレスを「プライマリ」に入力します。二つある場合は、もう一方を「セカンダリ」に入力します (例: 111.112.xxx.xxx)。ご契約のプロバイダーによっては、「ネームサーバー」、「DNS1/DNS2 サーバー」、「ドメインサーバー」などと呼ばれることがあります。

■ サブネットマスク

ネットワークを区切るために、端末に割り当てられる IP アドレスの範囲を限定するためのものです。(例: 255.255.xxx.xxx)

■ デフォルトゲートウェイ

ネットワーク外のサーバーにアクセスする際に、使用するルーターなどの機器を指定するためのものです。IP アドレスで特定されています。(例: 111.112.xxx.xxx)

■ プロキシ

ご契約のプロバイダーから指定があるときだけ設定してください。(例: proxy.xxx.xxx.xxx)

この設定をすると、HTTP プロキシサーバーからファイアウォール (外部からの不正侵入防護壁) を越えて通信先のサーバーにデータを送ることができます。

■ MAC アドレス

ネットワーク上に接続されている機器の識別のために、機器ごとに割り当てられる固有の番号です。

表示の大きさを選ぶ

- 接続するテレビに合わせて、番組表などの表示する範囲を設定します。

画面表示エリア設定

1. **設定** を押し、▲・▼と**決定**で「本体設定」⇒「詳細機能設定」⇒「画面表示エリア設定」の順に進む
2. お好みの設定を▲・▼で選び、**決定**を押す
 - **標準**
画面全体で表示します。通常はこちらを選びます。
 - **縮小**
接続するテレビで、番組表などの表示の範囲が、テレビ画面の枠の外に出て、使いにくい場合に選びます。

HDMI 接続の設定をする

- 接続するテレビに合わせて、HDMI出力の設定ができます。

HDMI 連動機能

- HDMIケーブルで接続したテレビと連動して、電源のオン／オフなど本機を操作できるようになります。
- ※ 使用するテレビの側でも「HDMI 連動機能」の設定をおこなってください。

1. **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「本体設定」⇒「HDMI接続設定」⇒「HDMI連動機能」の順に進む
2. ▲・▼で「使用する」を選び、**決定** を押す

- 接続したテレビと連動して、本機を操作できるようになります。

出力解像度設定

- 出力する画面の解像度を設定します。

1. **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「本体設定」⇒「HDMI接続設定」⇒「出力解像度設定」の順に進む
2. ▲・▼で以下から選び、**決定** を押す
 - オート
接続したテレビに合わせた出力を自動でおこないます。
 - 720p
 - 1080p
 - 2160p

3. 確認画面で、◀▶を押して「はい」を選び、**決定** を押す

- 出力解像度が変更されます。

- ※ 解像度を選択して映像が映らなくなった場合は、/観を5秒以上押し続けると、設定を「オート」に変更することができます。

- ※ 接続したテレビが対応できない解像度は選べません。

HDMI ディープカラー

- 接続したテレビがディープカラーに対応している場合、高い階調の映像信号を出力することができます。

1. **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「本体設定」⇒「HDMI接続設定」⇒「HDMIディープカラー」の順に進む

2. ▲・▼で以下から選び、**決定** を押す

- オート
接続した機器に応じて自動的に制御されます。
- オフ
この機能は働きません。

ハイダイナミックレンジ出力

- 明るさの領域を復元し、表現領域を拡大する機能です。

※「HDMIディープカラー」が「オフ」に設定されている場合は、「ハイダイナミックレンジ出力」は「オフ」になり、設定を変えることはできません。

1. **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「本体設定」⇒「HDMI接続設定」⇒「ハイダイナミックレンジ出力」の順に進む

2. ▲・▼で以下から選び、**決定** を押す

- オート

ハイダイナミックレンジ(HDR)対応するテレビが自動判別し、ハイダイナミックレンジ出力します。

- オフ

ハイダイナミックレンジ出力しません。

音声出力

- HDMI端子から出力する音声信号の種類を設定します。
- テレビが対応している音声信号については、テレビの取扱説明書でご確認ください。
- テレビから音声がでない、または正常に再生できない場合は、「PCM」に設定してください。

1. **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「本体設定」⇒「HDMI接続設定」⇒「音声出力」の順に進む

2. ▲・▼で信号を選び、**決定** を押す

- PCM

常にリニアPCM信号が出力されます。機器がリニアPCM信号だけに対応している場合は、この設定にします。

- オート

信号が自動で出力されます。

- Dolby Audio変換

Dolby信号に変換して出力します。

ご注意

- 非対応の音声フォーマットを対応と通知してくる ARC 対応機器もあります。その場合、非対応音声フォーマットの再生中は音が出なくなります。

- 本機から出力されるデジタル音声は、音声出力設定を「PCM」以外に設定するとコンテツによってはオーディオ機器（AV アンプなど）で正常に再生できない形式があります。

お知らせ

- 音声出力設定が「PCM」以外に設定されている場合で、MPEG-2 AAC 音声の場合には、データ放送の一部の音声（効果音など）が HDMI 端子から出力されないことがあります。

アンテナを調整する

電波の強さ（信号強度）を確認する

- テレビが全く映らない、または画面が乱れるなどの場合は、以下の手順でアンテナレベルを確認します。

地上デジタル用アンテナの場合

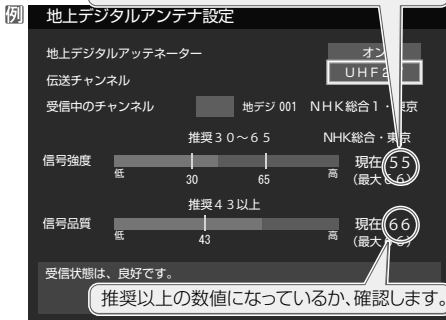
1. **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「放送受信設定」⇒「地上デジタル設定」⇒「地上デジタルアンテナ設定」の順に進む

地上デジタルアンテナ設定

地上デジタルスキャン設定

2. ▲・▼で「伝送チャンネル」を選び、**決定** を押し
3. ▲・▼でチャンネルを選び、**決定** を押し
 - お住まいの地域の地上デジタル放送に使用されている伝送チャンネルを選びます。（お買い上げの販売店などにお聞きください）
 - 信号強度（○印の数値）が推奨範囲内になっているか、信号品質（○印の数値）が推奨の数値以上になっているかを確認します。

推奨範囲の数値になっているか、確認します。



BS・110度CS用アンテナの場合

1. **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「放送受信設定」⇒「BS・110度CSアンテナ設定」の順に進む
2. **BS** または **CS** で放送の種類を選ぶ
3. **移動** でチャンネルを選ぶ

- 無料チャンネルまたは契約済チャンネルを選びます。
- 信号強度が推奨範囲内になっているか、信号品質が推奨数値以上になっているかを確認します。

BS/CS 4K放送用アンテナの場合

1. **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「放送受信設定」⇒「BS/CS 4K設定」⇒「BS/CS 4Kアンテナ設定」の順に進む
2. **移動** でチャンネルを選ぶ
 - 無料チャンネルまたは契約済チャンネルを選びます。
 - 信号強度が推奨範囲内になっているか、信号品質が推奨数値以上になっているかを確認します。

お知らせ

- アンテナレベルの信号強度の数値は、受信入力電力を換算したものです。
- アンテナレベルの信号品質の数値は、受信 C/N を換算したものです。（「受信 C/N」とは放送電波と雑音電波の比を表すもので、電波の品質を知るときを目安となります）

アンテナを調整する

- 衛星を使用していて、アンテナレベルが不足している場合は、「アンテナレベル」の画面を確認しながらアンテナの調整をします。

※ 高所での作業は危険です。アンテナの調整については、販売店にご相談ください。

1. アンテナをゆっくり動かして、アンテナレベルの数値が最大となるように調整する

- 画面のアンテナレベルの最大値を参考に、アンテナを固定したあとにレベル値が下がっていないことを確認します。

2. アンテナを固定して、**決定**を押す

地上デジタルアッテネーター設定を変更する

- 信号強度が高すぎて受信障害が発生している場合は、「地上デジタルアッテネーター設定」を「オン」にします。
- お買い上げ時は、「オフ」に設定されています。

2. **▲・▼**で「地上デジタルアッテネーター」を選び、**決定**を押す

3. **▲・▼**で「オン」または「オフ」を選び、**決定**を押す

※ 「オン」または「オフ」に切り換えたとき、画面にブロックノイズなどの映像乱れや音声ノイズが発生することがあります。

1. **設定** を押し、**▲・▼**と **決定** で「放送受信設定」⇒「地上デジタル設定」⇒「地上デジタルアンテナ設定」の順に進む

地上デジタルアンテナ設定	>
地上デジタルスキャン設定	>

BS・110度CS用アンテナの電源供給の設定を変更する

- BS・110度CS用アンテナは電源を必要とします。
- お買い上げ時は、「する」に設定されています。
マンションなどで、他の機器からアンテナに電源が供給されているときは、「しない」に設定します。

1. **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「放送受信設定」⇒「BS・110度CSアンテナ設定」の順に進む

放送受信設定

地上デジタル設定	>
BS・110度CSアンテナ設定	>
BS/CS 4K設定	>
リモコンボタン設定	>
データ放送設定	>
視聴制限設定	>
B-CASカード情報	>
BS/CS 4K視聴チップ(ACAS)情報	>

2. ▲・▼で「衛星アンテナ電源供給」を選び、**決定** を押す
3. ▲・▼で「する」または「しない」を選び、**決定** を押す

ご注意

「衛星アンテナ電源供給」を「する」に設定したときは、本機の電源プラグを常にコンセントに差し込んで通電状態にしておいてください。

お知らせ

1台のBS・110度CS用アンテナを複数の機器で共用しているときは、アンテナ(ケーブル)を最初に接続している機器からアンテナ電源を供給してください。

アンテナ線がショートしたとき

- BS・110度CS用アンテナのレベル表示画面に「アンテナ線がショートしています。」のメッセージが表示された場合は、電源を切ってから電源プラグを抜き、ショートの原因を取り除いてからもう一度電源を入れてアンテナレベル表示の操作をしてください。

- マンションなどの共聴アンテナを使用しているときは、以下のエラーメッセージは表示されず、「衛星アンテナ電源供給」の設定が「しない」に切り換わります。

① アンテナ線がショートしています。
アンテナ線の接続を確認してください。
コード：E209

BS/CS 4Kの受信環境を確認したいとき

- 現在の受信環境でBS/CS 4K放送が視聴できるか確認できます。

1. **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「放送受信設定」⇒「BS/CS 4K設定」⇒「BS/CS 4K受信環境確認」の順に進む

チャンネルを追加したり設定を変更したりするとき

地上デジタルチャンネルを自動で設定する

- 地上デジタル放送には以下の3種類のチャンネル自動設定機能があります。

- **初期スキャン**

「はじめての設定」の「① 地上デジタルチャンネル設定」で行われる「初期スキャン」だけをやり直すことができます。

- **再スキャン**

放送局が増えたなど、放送チャンネルに変更があったときに、ワンタッチ選局ボタンに設定できます。

- **自動スキャン**

本機の電源が「切」や「待機」のときに自動的に探し、変更されたチャンネルがあればワンタッチ選局ボタンに自動で設定されます。

※ 初期スキャンをしていないと、再スキャンや自動スキャンはできません。

初期スキャンをするとき

- 受信可能なチャンネルを本機が探し、ワンタッチ選局ボタン(1~12)に放送の運用規定に基づいて設定します。

1. **設定** を押し、▲・▼と**決定**で「放送受信設定」⇒「地上デジタル設定」⇒「地上デジタルスキャン設定」⇒「初期スキャン」の順に進む
2. お住まいの地方を▲・▼・◀・▶で選び、**決定**を押す
3. お住まいの都道府県または地域を▲・▼・◀・▶で選び、**決定**を押す

再スキャンをするとき

- 新たに放送局が開局してチャンネルが増えた場合など、放送に変更があった場合は、「再スキャン」をすればチャンネルを追加設定することができます。

1. **設定** を押し、▲・▼と**決定**で「放送受信設定」⇒「地上デジタル設定」⇒「地上デジタルスキャン設定」⇒「再スキャン」の順に進む

自動スキャンの設定を変えるとき

- お買い上げ時は自動スキャンは「する」に設定されています。

チャンネル設定の内容が自動変更されないようにする場合は、自動スキャンを「しない」に設定してください。

1. **設定** を押し、▲・▼と**決定**で「放送受信設定」⇒「地上デジタル設定」⇒「地上デジタルスキャン設定」⇒「自動スキャン」の順に進む
2. ▲・▼で「する」または「しない」を選び、**決定**を押す

チャンネルをお好みに手動で設定する

- お好みに、リモコンのワンタッチ選局ボタン(1~12)で選局するチャンネルを変更したり、空いているワンタッチ選局ボタンに設定を追加したりすることができます。
- はじめて地上デジタル放送の「チャンネルボタン設定」をする場合は、前ページの「初期スキャン」をしてください。「初期スキャン」をしていない状態では「チャンネルボタン設定」はできません。

1. **設定** を押し、**▲・▼** で **決定** で「放送受信設定」⇒「リモコンボタン設定」⇒「チャンネルボタン設定」の順に進む

- 放送の種類を選択する画面が表示されます。

2. 設定するデジタル放送の種類を **▲・▼** で選び、**決定** を押す

3. 設定するボタン(1~12)の番号を **▲・▼** で選び、**決定** を押す

- 図は手順2で「地上デジタル」を選んだ場合の例です。

例

チャンネルボタン設定		地上デジタル
リモコン	チャンネル	
1	011	NHK総合・東京
2	021	NHKEテレ東京
3	031	t v k
4	041	日本テレビ
5	051	テレビ朝日
6	061	TBS
7	071	テレビ東京
8	081	フジテレビジョン
9	091	TOKYO MX
10	031	テレ玉
11	---	---
12	ワンタッチ選局ボタンの番号	

- 地上デジタル以外の放送の場合は、リモコン列の左にグループ列が表示されます。

グループのA、B (BSデジタル放送、BS/CS 4K放送)、A~F(110度CSデジタル放送)は選局ガイドのグループになります。

グループAはワンタッチ選局ボタンになります。

4. **▲・▼** で受信チャンネルを選ぶ

110度CSデジタル放送のチャンネルを簡単に設定する

- 手順2、3で以下の操作をすると、簡単にチャンネルを設定することができます。

- 1 手順2で、「110度CS」を選び、**決定** を押す

- 2 チャンネルボタン設定画面(手順3)で **緑** を押す

- 3 **▲・▼** で登録したいチャンネルを選び、**決定** を押す

- 選んだチャンネルは、登録されていないボタンで数字が小さいボタンに登録されます。

- ボタンが登録されているチャンネルを選んだときは、登録が解除されます。

お知らせ チャンネルボタン設定をしたあとで、「初期スキャン」や「はじめての設定」をすると、チャンネルボタン設定をした内容が消えますので再度設定をしてください。

視聴しないチャンネルをスキップする

-  で選局するときに、視聴しないチャンネルを飛ばすことができます。
 - 「スキップ」に設定したチャンネルは番組表  に表示されません。また、番組検索  の対象になりません。
-
1. **設定** を押し、、 と **決定** で「放送受信設定」⇒「リモコンボタン設定」⇒「チャンネルスキップ設定」の順に進む
 - 放送の種類を選択する画面が表示されます。
 2. 設定する放送の種類を 、 で選び、**決定** を押す
 3. スキップ設定を変更したいチャンネルを 、 で選び、**決定** を押す

お知らせ

チャンネルスキップ設定について

- 「チャンネルボタン設定」をしたチャンネルは、自動的に「しない」に設定されます。
- 放送局の代表チャンネルを「する」に設定すると、その放送局の代表チャンネル以外のチャンネルもスキップされます。代表チャンネル以外のチャンネルを「する」に設定した場合は、代表チャンネルは選局できます。

例

チャンネルスキップ設定		地上デジタル
チャンネル	スキップ	
 011 NHK総合1・東京	しない	
 012 NHK総合2・東京	しない	
 021 NHK Eテレ1東京	しない	
 022 NHK Eテレ2東京	しない	
 023 NHK Eテレ3東京	しない	
 031 t v k 1	しない	
 032 t v k 2	しない	
 033 t v k 3	しない	
 041 日テレ1	する	
 042 日テレ2	する	
 051 テレビ朝日	する	
 052 テレビ朝日	しない	

手順2で「地上デジタル」を選んだ場合

データ放送の設定をする

地域と郵便番号を設定する

- お住まいの地域に応じたデータ放送や緊急警報放送などを視聴するための設定です。
- 「はじめての設定」で設定した状態から変更したいときに以下の操作をします。

地域を設定する

1. **設定** を押し、▲・▼と**決定** で「放送受信設定」⇒「データ放送設定」⇒「地域設定」の順に進む
2. 該当する地方を ▲・▼・◀・▶ で選び、**決定** を押す
 - 「設定しない」を選んだ場合は、これで終わりです。
3. 該当する地域を ▲・▼・◀・▶ で選び、**決定** を押す
 - 伊豆、小笠原諸島地域の方は「東京都島部」を選んでください。
 - 南西諸島の鹿児島県地域の方は「鹿児島県島部」を選んでください。

郵便番号を設定する

1. **設定** を押し、▲・▼と**決定** で「放送受信設定」⇒「データ放送設定」⇒「郵便番号」の順に進む
 - 郵便番号の入力画面が表示されます。
2. お住まいの地域の郵便番号を **1** ～ **10**₍₀₎ で入力し、**決定** を押す
 - 上3ケタを入力して**決定**を押すと、残り4ケタは自動的に「0」が入力されます。

例

郵便番号

お住まいの地域の郵便番号を入力してください。

1	0	5	-	0	0	2	3
---	---	---	---	---	---	---	---

お知らせ

郵便番号と地域の設定について

- データ放送を視聴している状態で設定を変更した場合、放送によっては、設定終了後そのままの状態では設定内容は反映されません。設定終了後に再度データ放送を選局してください。

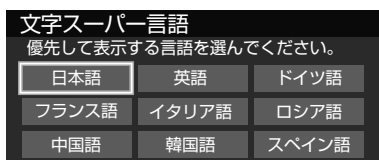
災害発生時に文字情報を表示させる

- デジタル放送には文字スーパー表示機能があり、災害時の速報などに使用されます。複数言語の文字スーパーに対応した番組の場合には、表示する言語を選択することができます。
- お買い上げ時は、文字スーパーが日本語優先で表示されるように設定されています。

1. **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「放送受信設定」⇒「データ放送設定」⇒「文字スーパー表示」の順に進む
 - 「文字スーパー表示」の画面が表示されます。
2. ▲・▼で「する」を選び、**決定** を押す

文字スーパーの言語を設定する

1. **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「放送受信設定」⇒「データ放送設定」⇒「文字スーパー言語」の順に進む
 - 「文字スーパー言語」の画面が表示されます。
2. 優先する言語を ▲・▼・◀・▶ で選び、**決定** を押す



お知らせ 文字スーパー表示の設定について

- 設定した言語の文字スーパーがあるときは、その言語で表示されます。設定した言語が視聴している放送にない場合は、その放送に従って表示されます。
- 「しない」を選択した場合でも、災害時などの速報は、放送局指定によって放送受信時に強制表示することがあります。

ルート証明書番号を確認する

- 地上デジタル放送の双方向サービスで、本機と接続するサーバーの認証をする際に使用されるルート証明書番号を確認することができます。
- ルート証明書は地上デジタル放送で放送局から送られます。

1. **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「放送受信設定」⇒「データ放送設定」⇒「ルート証明書番号」の順に進む
 - ルート証明書番号のリストが表示されます。
2. ルート証明書番号を確認し、**決定** を押す

用語

ルート証明書

サーバーを認証する第三者機関（認証局）を証明するものです。この証明書を基にして、「サーバ証明書」のデジタル署名を検証し、「サーバ証明書」が信頼できることを確認します。

視聴できる番組を制限する

制限するために暗証番号を設定する

- 暗証番号は、視聴年齢制限のある番組を見たりするときが必要です。
- 暗証番号を設定した場合には、暗証番号の変更・削除および「すべての初期化」**[137]**をするときにも暗証番号の入力が必要になります。

ご注意

- 暗証番号を忘れないようにご注意ください。暗証番号を忘れた場合は、裏表紙に記載の「東芝 DVD インフォメーションセンター」にご連絡ください。

※ 必要としない場合は、登録しないことをおすすめします。

重要

登録した暗証番号はメモするなどして、忘れないようにしてください。

4. **[1]** ~ **[10]**₍₀₎ でもう一度同じ暗証番号を入力する
5. 確認画面で **[決定]** を押す

暗証番号を削除するとき

1. **[設定]** を押し、**[▲・▼]** と **[決定]** で「放送受信設定」⇒「視聴制限設定」⇒「暗証番号削除」の順に進む
 - 暗証番号の入力画面になります。
2. **[1]** ~ **[10]**₍₀₎ で暗証番号を入力する
3. 確認画面で、**[◀▶]** で「はい」を選び、**[決定]** を押す

1. **[設定]** を押し、**[▲・▼]** と **[決定]** で「放送受信設定」⇒「視聴制限設定」⇒「暗証番号設定」の順に進む
 - 暗証番号の入力画面が表示されます。
2. 暗証番号を変更する場合は、変更前の暗証番号を **[1]** ~ **[10]**₍₀₎ で入力する
 - 新規設定の場合、この手順はありません。
3. 登録したい暗証番号を **[1]** ~ **[10]**₍₀₎ で入力する
 - 間違えて入力した場合は、**[◀]** を押し、もう一度入力します。
 - 入力した数字は画面には「*」で表示されます。

暗証番号設定

新たに登録する暗証番号を入力してください。

* * *

- ① 暗証番号は視聴を制限する機能の設定や、視聴制限の解除に必要です。
暗証番号を忘れないようにご注意ください。

番組の視聴を制限する

- デジタル放送では番組ごとに視聴年齢が設定されている場合があります。視聴年齢制限のある番組を見るには設定が必要です。
- お買い上げ時には、番組の視聴制限は設定されていません。
- 暗証番号を設定していない場合は、先に暗証番号を設定します。

1. **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「放送受信設定」⇒「視聴制限設定」⇒「放送視聴制限設定」の順に進む

- 暗証番号の入力画面になります。

2. **1** ~ **10**₍₀₎ で暗証番号を入力する

3. ◀▶ で年齢を設定し、**決定** を押す

- 設定できる年齢は、4歳から20歳までです。
- 視聴年齢制限機能を使わない場合は、「20歳(制限しない)」に設定します。

放送視聴制限設定

4～20歳の間で、視聴制限したい年齢を設定してください。

4 歳 ▶

番組の対象年齢が、設定した年齢よりも高い場合、その番組を視聴するためには暗証番号の入力が必要になります。
視聴制限を使わないときは「20歳(制限しない)」に設定してください。

- 視聴時の動作および必要な操作は以下のとおりです。

番組の制限年齢が設定した年齢よりも上の場合

- メッセージが表示されます。
- **決定** を押し、**1** ~ **10**₍₀₎ で暗証番号を入力します。

視聴年齢制限が設定されていない場合

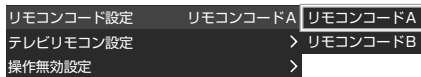
- 視聴年齢制限のある番組を見ることはできません。
- **決定** を押し、設定が必要な項目を設定します。

リモコンの設定を変更する

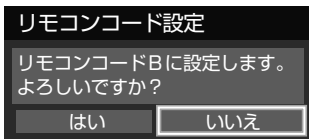
本機のリモコンが他のレグザサーバー（またはレコーダー）を操作しないようにする

- 同じ室内で本機とレグザサーバー（あるいはレコーダー）を使用している場合などに、リモコンを操作すると2台とも反応してしまうことがあります。このような場合、リモコンコードの設定を変えれば1台だけが操作できるようになります。
- ※ 必ず以下の手順で操作してください。手順が異なるとリモコン操作ができなくなります。

1. **設定** を押し、**▲・▼**と**決定**で「初期設定」⇒「リモコン設定」⇒「リモコンコード設定」の順に進む



2. **▲・▼**で「リモコンコードA」または「リモコンコードB」を選び、**決定**を押す
3. **◀▶**で「はい」を選び、**決定**を押す



- 今までと異なるコードに設定した場合、次の手順4を終えるまでの間リモコン操作ができなくなります。

4. **決定**を押したままで、**1**または**2**を約2秒間以上押し続ける

- 手順2〜3で「リモコンコードA」に設定した場合は**1**を、「リモコンコードB」に設定した場合は**2**を押し続けます。

※ この操作ができるのは、付属のリモコンだけです。

5. リモコンで本機が操作できることを確認する

リモコンの乾電池を取りはずした場合(電池交換などの際)、「リモコンコードA」になることがあります。

お知らせ 本機とリモコンのリモコンコードが一致していない場合、電源が「待機」、または「切」のときにリモコンの**電源**を押すと、本体の「電源」表示が赤色に点滅します。その場合は、リモコンまたは本体のリモコンコードを変更してください。

テレビ操作のボタンの設定をする

- 本機のリモコンでテレビの電源入／切、入力切換、音量調整などの操作をする場合に設定します。
 - 説明画面が表示されるので、それに従って設定します。設定方法は「④テレビリモコン設定」**26**の手順1と同じです。
1. **設定** を押し、▲・▼と**決定** で「初期設定」⇒「リモコン設定」⇒「テレビリモコン設定」の順に進む

使わない放送選択ボタンの操作を無効にする

- リモコンの放送選択ボタン **地デジ**、**BS/CS**、**BS**、**CS**、**4K** のうち、使わないボタンの操作を無効にすることができます。
1. **設定** を押し、▲・▼と**決定** で「初期設定」⇒「リモコン設定」⇒「操作無効設定」の順に進む
 2. ▲・▼でボタンを選び、**決定** を押す
 3. ▲・▼で「有効」または「無効」を選び、**決定** を押す

地上デジタル	有効	有効
BS	有効	無効
110度CS	有効	
BS/CS 4K	有効	

お買い上げ時の設定に戻すには

(設定内容を初期化するには)

- お買い上げ時の設定(工場出荷設定)に戻す方法は3種類あります。目的に合わせて操作してください。

ご注意 初期化をすると初期化前の状態に戻すことはできませんのでご注意ください。

項 目	内 容
初期化 1	● 以下の項目以外の設定項目をお買い上げ時の設定に戻します。 ・「チャンネル設定」 ・「視聴制限設定」の「暗証番号設定」、「放送視聴制限設定」 ・「リモコンコード設定」 ・USBハードディスクの「自動削除設定」
初期化 2	● 以下の項目以外の設定項目をお買い上げ時の設定に戻します。 ・「視聴制限設定」の「暗証番号設定」、「放送視聴制限設定」 ・「リモコンコード設定」 ・USBハードディスクの「自動削除設定」
すべての初期化	● 本機に設定された「リモコンコード設定」以外のすべての内容をお買い上げ時の状態に戻します。 ※ この初期化は、データ放送の個人情報(住所、氏名、視聴ポイント数など)についてもすべて初期化されますので、本機を廃棄処分する場合や他の人に譲り渡す場合にだけ行ってください。

1. **設定** を押し、▲・▼と**決定**で「本体設定」⇒「詳細機能設定」⇒「設定の初期化」の順に進む

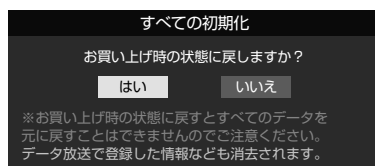
2. ▲・▼で「初期化1」、「初期化2」、または「すべての初期化」を選び、**決定**を押す

- 初期化される項目の内容は、上の表をご覧ください。

すべての初期化をする場合

- 暗証番号を設定している場合は暗証番号入力画面が表示されます。暗証番号を入力します。

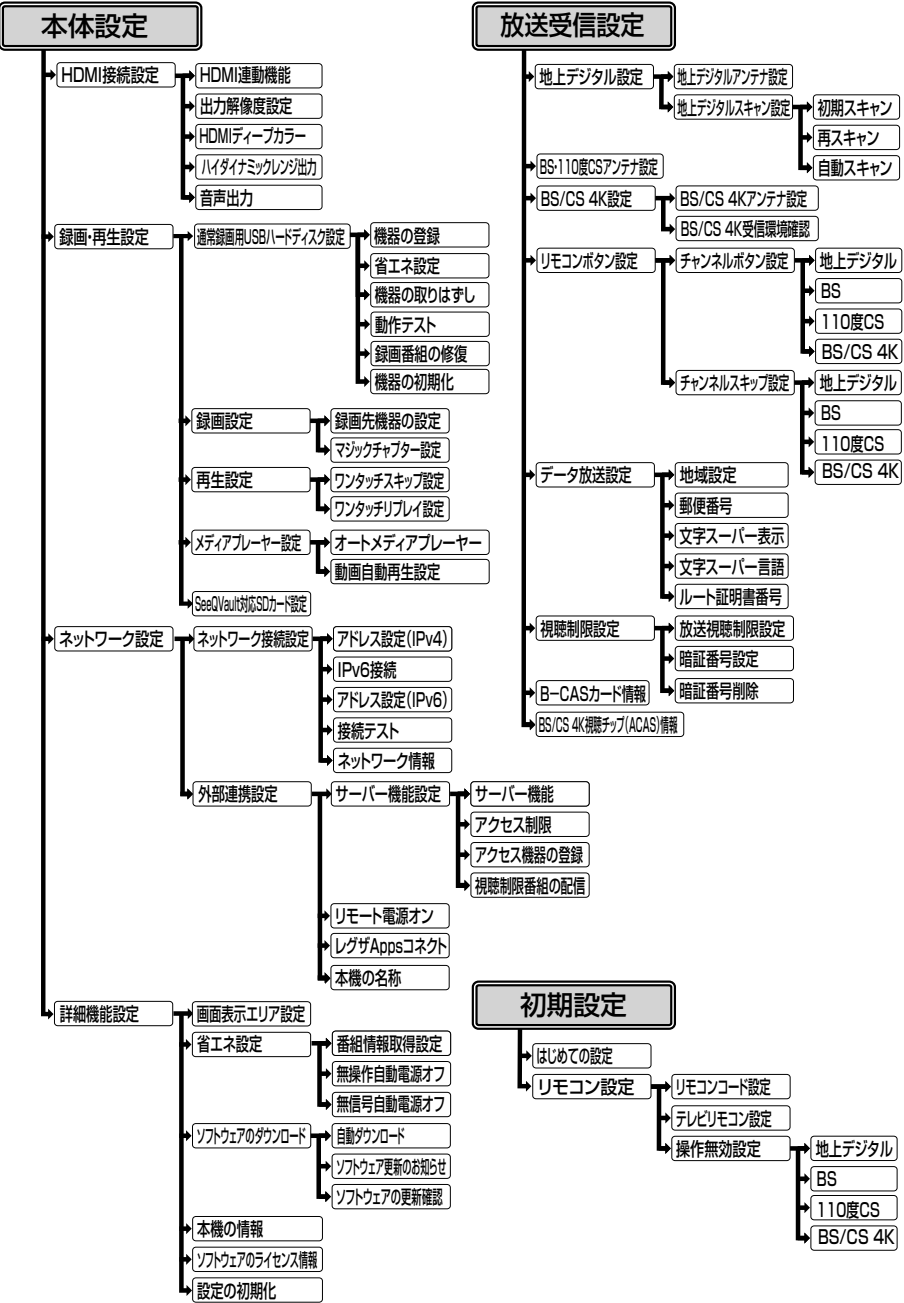
3. 初期化する場合は◀▶で「はい」を選び、**決定**を押す



4. 初期化終了の画面が表示されたら、以下の操作をする

- 「初期化1」、「初期化2」の場合は**決定**を押します。
- 「すべての初期化」の場合は電源を切ります。

設定メニュー一覧



ソフトウェアを更新する

ソフトウェアの更新機能について

- 本機は、内部に組み込まれたソフトウェア(制御プログラム)で動作するようになっています。
- お買い上げ後、より快適な環境でお使いいただくために、ソフトウェアを更新する場合があります。
- 更新用のソフトウェアはBSデジタルや地上デジタルの放送電波で送られてきます。本機は、放送電波で送られてくる更新用のソフトウェアを自動的にダウンロードし、内部ソフトウェアを自動的に更新する機能を備えています。
ネットワークに接続している場合は、ネットワーク経由でソフトウェアを自動的にダウンロードし、更新することもできます。
- ソフトウェアダウンロード情報をホームページ(http://www.toshiba.co.jp/regza/bd_dvd/cs/index.html)でお知らせしています。
 - ・ 放送電波を利用したソフトウェアのダウンロードは、都度、限られた日時に行われます。
- 電源プラグが抜かれていたなどの事情で自動ダウンロードができなかった場合は、都合のよいときにインターネットを利用して東芝サーバーから更新用のソフトウェアを入手することができます。
- ソフトウェアの更新中は電源プラグを抜かないでください。
ソフトウェアの更新が正常に行われず、本機が起動しなくなるおそれがあります。
 - ・ ソフトウェアの更新中は「電源」表示が緑色と赤色に交互に点灯します。

ソフトウェアの自動ダウンロードについて

- 「自動ダウンロード」の設定を「する」(お買い上げ時の設定)にしておき、日常的にデジタル放送を受信し、視聴しないときにも電源プラグをコンセントに差し込んだままにしておけば、特別に意識する必要はありません。放送電波やネットワーク経由での更新用のソフトウェアを自動的にダウンロードし、内部ソフトウェアを自動的に更新することができます。
更新用のソフトウェアがある場合は、ダウンロード情報が放送電波で送られます。本機は、地上デジタル放送またはBSデジタル放送を受信しているときにダウンロード情報を取得します。(情報を確認する操作はありません)。
放送を受信していなくても、ネットワークに接続していれば、自動的にソフトウェアの更新をおこないます。

自動ダウンロードの設定を変更する

1. **設定** を押し、▲・▼と**決定**で「本体設定」⇒「詳細機能設定」⇒「ソフトウェアのダウンロード」⇒「自動ダウンロード」の順に進む
2. ◀・▶で「する」または「しない」を選び、**決定**を押す

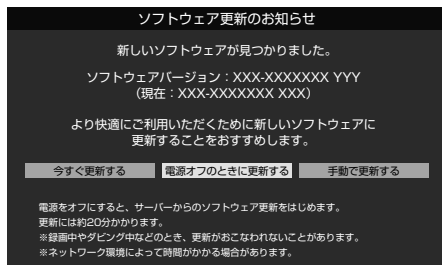
● **青** を押しと、放送電波でのダウンロード予定を一覧で確認することができます。

● 「しない」を選んだときは、「ソフトウェア更新のお知らせ」の設定が「表示する」に自動的に変更されます。また、手動でソフトウェアの更新をすることもできます。

141

インターネットに接続している場合

- 「自動ダウンロード」を「しない」に設定し、「ソフトウェア更新のお知らせ」が「表示する」に設定されている場合、本機の電源を入れたときに更新用のソフトウェアを検出すると、ソフトウェア更新のお知らせ画面が表示されます。



● ◀・▶で以下のどれかを選び、**決定**を押します。

- ・ **今すぐ更新する**
ソフトウェアの更新を始めます。
- ・ **電源オフのときに更新する**
本機の電源を待機状態にすると、ソフトウェアの更新を始めます。
- ・ **手動で更新する**
ソフトウェアの更新は始めません。「東芝サーバーから手動でダウンロードする」**141**の操作でソフトウェアをダウンロードします。

ソフトウェア更新のお知らせ画面を表示させないようにする

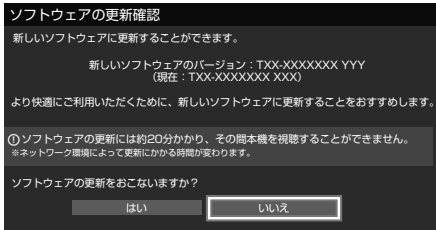
- ソフトウェア更新のお知らせ画面は、以下の操作で表示させないようにすることもできます。
- ① **設定** ⇒ 本体設定 ⇒ 「詳細機能設定」 ⇒ 「ソフトウェアのダウンロード」 ⇒ 「ソフトウェア更新のお知らせ」の順に進む
- ② ▲・▼で「表示しない」を選び、**決定**を押す
 - 上記の操作で「表示する」を選べると、ソフトウェア更新のお知らせ画面が表示されるようになります。
- 「自動ダウンロード」を「する」に設定している場合、「ソフトウェア更新のお知らせ」は「しない」に設定され、変更することはできません。

東芝サーバーから手動でダウンロードする

- インターネットを利用して東芝サーバーからソフトウェアをダウンロードし、本機内部のソフトウェアを更新することができます。
- インターネットへの接続と設定 **113** ～ **119** が必要です。

1. **設定** を押し、▲・▼ と **決定** で「本体設定」⇒「詳細機能設定」⇒「ソフトウェアのダウンロード」⇒「ソフトウェアの更新確認」の順に進む

- 新しいソフトウェアがある場合、更新の確認画面が表示されます。



2. ◀▶ で「はい」を選び、**決定** を押す

- ソフトウェア更新が始まります。
- ソフトウェアの更新中は操作できません。そのままです終了するまでお待ちください。
- 電源が「待機」になってから再び「入」になり、通常の視聴ができるようになります。

ソフトウェアのバージョンを確認するには

1. **サブメニュー** を押し、▲・▼ と **決定** で「その他の操作」⇒「本機の情報」の順に進む

- **設定** ⇒「本体設定」⇒「詳細機能設定」⇒「本機の情報」でも確認できます。

お知らせ

- 電源プラグがコンセントから抜かれていると、自動ダウンロードができないため、ソフトウェアの自動更新は行われません。
- ダウンロードによって、一部の設定内容がお買い上げ時の状態に戻ったり、予約やお知らせが削除されたりする場合があります。
- 悪天候などでダウンロードが取り消された場合は、「本機に関するお知らせ」でお知らせします。
- 本機の状態によっては、ソフトウェアの更新が行われない場合があります。
- **東芝サーバーからのダウンロードについて**

回線の速度が遅いと正しくダウンロードできないことがあります。このとき、「通信エラー」が表示されます。サーバーが一時的に停止していることもありますので、インターネットへの接続や設定を確認し、しばらくたってからもう一度ダウンロードしてみてください。

用語

■ ダウンロード

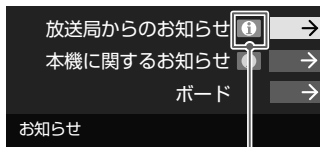
放送電波やインターネットを使って、ソフトウェアなどを端末（この場合は本機）に転送することです。

お知らせを見る

- お知らせには、「本機に関するお知らせ」、「放送局からのお知らせ」、「ボード」の3種類があります。
- 未読のお知らせ(「ボード」を除きます)があると、「画面表示」を押したときに、画面に「お知らせアイコン」が表示されます。**148**

1. **サブメニュー**を押し、**▲・▼**と**決定**で「その他の操作」⇒「お知らせ」を選び、**決定**を押す

2. **▲・▼**でお知らせの種類を選び、**決定**を押す



未読のお知らせはオレンジ色で表示されます。

- ・ **本機に関するお知らせ**
本機が発行したお知らせです。
- ・ **放送局からのお知らせ**
デジタル放送局からのお知らせです。
- ・ **ボード**
110度CSデジタル放送の視聴者に向けたお知らせです。

3. 読みたいお知らせを**▲・▼**で選び、**決定**を押す

- 選択したお知らせの内容が表示されます。

画面に「本機のお知らせを確認」が表示されたときは



① **青**を押す

- 「本機に関するお知らせ」が表示されます。
- お知らせが複数件ある場合は、「本機に関するお知らせ」一覧が表示されます。**▲・▼**で確認するお知らせを選び、**決定**を押して表示させます。

「本機に関するお知らせ」を削除するには

※ 削除できるのは「本機に関するお知らせ」だけです。

① 「本機に関するお知らせ」の画面で、

青を押す

② **◀▶**で「はい」を選び、**決定**を押す

※ 本機に関するお知らせがすべて削除されます。

お知らせ

■「お知らせ」について

- ・ 「放送局からのお知らせ」は、地上デジタル放送が10通まで記憶され、BSデジタル放送と110度CSデジタル放送は、合わせて24通まで記憶されます。また、BS 4K放送とCS 4K放送は、それぞれ10 通まで記憶されます。放送局の運用によっては、それより少ない場合もあります。記憶できる数を超えて受信した場合は、古いものから順に削除されます。
- ・ 「本機に関するお知らせ」は、既読の古いものから順に削除される場合があります。
- ・ 「ボード」は110度CSデジタル放送のそれぞれに対し、今送信されているものが50通まで表示されます。
- 「お知らせアイコン」は、未読のお知らせが1件でも残っていると表示されます。

- ## B-CASカード情報の確認

2. 情報を確認したら、戻るを押す

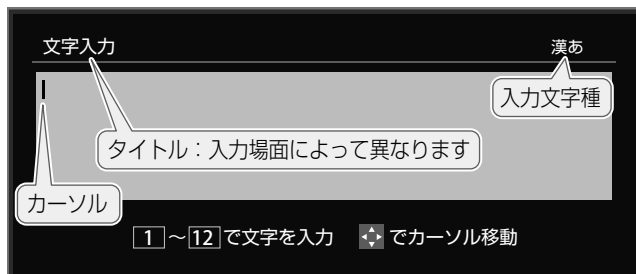
2. 情報を確認したら、戻るを押す

ID番号記入欄

- [illegible]

文字を入力する

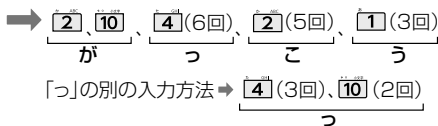
- 番組検索のキーワード指定で、新しいキーワードを登録する場面などで文字入力画面が表示されます。



1. 1 ~ 12 で文字を入力する

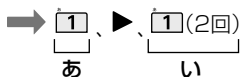
- 携帯電話と同様の操作で文字を入力します。

入力例：がっこう



- 文字に続けて¹⁰10を押せば、濁点(・)や半濁点(゜)の入力および小文字変換ができます。
- 同じボタンに割り当てられた文字を続けて入力する場合は、次の文字の前に▶を押します。

入力例：あい



- 入力文字の種類を変えるときは、青(文字切替)を押します。
- 文字を挿入するには、挿入する場所を▲・▼・◀・▶で選んで入力します。
10秒戻し 30秒送り
《[戻る]・[送り]》を押すと、カーソルがその行の先頭または末尾に移動します。
- スペースを入力するときは、緑(スペース)を押します。

文字を削除するには

- 1文字を削除するには、赤(削除)を短く押します。
カーソルの右に文字がない場合は、カーソルの左の1文字が削除されます。カーソルの右に文字がある場合は、カーソルの右の1文字が削除されます。
- 文字をまとめて削除するには、赤(削除)を押し続けます。
カーソルの右に文字列がない場合は、文字がすべて削除されます。カーソルの右に文字列がある場合は、カーソルより右の文字がすべて削除されます。

2. 以下の操作で文字を確定する

- 漢字に変換しないときは、決定(決定)を押す
- 漢字に変換するときは、▼を繰り返し押し、希望の漢字が見つかったら決定(決定)を押す
・ 希望する漢字に変換されない場合は、変換する範囲を◀・▶で変え、▲・▼で再度変換します。

3. すべての入力が終わったら、決定(決定)を押す

- 文字入力画面が表示される前の操作画面に戻ります。

文字切換(入力文字種の切り換え)

「漢あ」	漢字変換	ひらがなや漢字を入力できます。
「カナ」	全角カナ	カタカナを入力できます。
「a A」	全角英字	全角の英字を入力できます。
「abAB」	半角英字	半角の英字を入力できます。
「1 2」	全角数字	全角の数字を入力できます。
「1234」	半角数字	半角の数字を入力できます。
「全角記号」	全角記号	全角の記号を入力できます。
「半角記号」	半角記号	半角の記号を入力できます。
「定型文」	定型文	定型文を入力できます。

- 文字入力の場面によっては、使用できる入力文字種が少なかったり、切り換えられなかったりすることがあります。
- 入力文字種が「全角記号」、「半角記号」のときには、入力したい記号を文字入力画面から選びます。

入力文字一覧

リモコン	入力文字種			
	漢字変換	全角カナ	英字	数字
1 あ	あ→い→う→え→お →あ→い→う→え→お	ア→イ→ウ→エ→オ →ア→イ→ウ→エ→オ	1→2→3→4→5→ 6→7→8→9→0	1
2 か ABC	か→き→く→け→こ	カ→キ→ク→ケ→コ →カ→ケ	a→b→c →A→B→C	2
3 さ DEF	さ→し→す→せ→そ	サ→シ→ス→セ→ソ	d→e→f →D→E→F	3
4 た GHI	た→ち→つ→て→と →っ	タ→チ→ツ→テ→ト→ッ	g→h→i →G→H→I	4
5 な JKL	な→に→ぬ→ね→の	ナ→ニ→ヌ→ネ→ノ	j→k→l →J→K→L	5
6 は MNO	は→ひ→ふ→へ→ほ	ハ→ヒ→フ→ヘ→ホ	m→n→o →M→N→O	6
7 ま PQRS	ま→み→む→め→も	マ→ミ→ム→メ→モ	p→q→r→s →P→Q→R→S	7
8 や TUV	や→ゆ→よ →や→ゆ→よ	ヤ→ユ→ヨ →ヤ→ユ→ヨ	t→u→v →T→U→V	8
9 ら WXYZ	ら→り→る→れ→ろ	ラ→リ→ル→レ→ロ	w→x→y→z →W→X→Y→Z	9
10 半角英字	*→°→小文字変換	*→°→小文字変換	小文字変換	0
11 ワかんへ	わ→を→ん→わ→、→。→ー	ワ→ヲ→ン→ワ→、→。→ー	※ 1	*
12	※ 2 逆方向へ入力	※ 2 逆方向へ入力	※ 2 逆方向へ入力	#

●最後の候補まで行くと、次は最初の候補に戻ります。

※ 1 全角英字の場合……。→/→:→→→_→~→@
半角英字の場合……。→/→:→-→_→~→@

※ 2 文字入力変換中に文字を通り過ぎたときに、逆方向へ戻します。

お知らせ

- 入力した文字は、次のように表示されます。
入力中の文字：黄色背景／未確定の文字：白色背景／漢字変換候補選択中の文字：
黒色背景／確定した文字：背景なし
- 確定せずに変換できるのは 4 文節までです。4 文節以上のときは、確定してから
残りを変換してください。
- 漢字候補選択時に^{戻る}○を押せば、その文節を未変換状態に戻すことができます。

アイコン一覧

番組についてのアイコン

アイコン	説明	アイコン	説明
ステレオ	ステレオ音声放送	〇〇オ～	視聴年齢制限が設定されている番組。〇〇は4～20の数字が入ります。
サラウンド	サラウンドステレオ放送	契約済	有料放送で契約済のチャンネル。
二重音声	二重音声放送	未契約	有料放送で契約していないチャンネル。
字	字幕放送	PPV	PPV（ペイ・パー・ビュー）番組。
HD:1080i	放送フォーマットが1080iのデジタルハイビジョン放送	🔑ダビング	録画回数が制限されている番組
HD:720p	放送フォーマットが720pのデジタルハイビジョン放送	ダビング10	録画回数が制限されている番組
SD:480i	放送フォーマットが480iのデジタル標準テレビ放送	デジタルコピー可	デジタル録画ができる番組
SD:480p	放送フォーマットが480pのデジタル標準テレビ放送	デジタルコピー1	1回だけデジタル録画ができる番組
4K:2160p	放送フォーマットが2160pの4K映像放送	デジタルコピー¥	有料でデジタル録画ができる番組
8K:4320p	放送フォーマットが4320pの8K映像放送	デジタルコピー×	デジタル録画ができない番組
信号切換	複数の映像、または音声またはデータがある番組	光デジタルコピー可	光デジタル録音ができる番組
		光デジタルコピー1	1回だけ光デジタル録音ができる番組
		光デジタルコピー¥	有料で光デジタル録音ができる番組
		光デジタルコピー×	光デジタル録音ができない番組

- ダビング・コピー関係のアイコンの中には、本機の機能とは無関係に番組の情報として表示されるものがあります。

お知らせ、予約、その他についてのアイコン

アイコン	説 明	アイコン	説 明
	録画予約		視聴予約が重なったときに表示されます。
	連ドラ予約		録画番組が「保護」対象
	視聴予約		録画番組が「上書き」対象
	録画中		未読の「お知らせ」
	録画準備中 録画の約1分前に表示されます。		既読の「お知らせ」
	録画確認中 前番組の放送延長などで録画番組の放送時間 が変更されたときなどに 表示されます。		データの取得中です。
	連ドラ予約番組の追跡 結果や放送時間変更で、 予約が重なったときなど に表示されます。		非リンク型サービス （通信番組） 42
	連ドラ予約番組の追跡 結果や放送時間変更で、 有料番組の予約が重 なったときなどに表示 されます。		

対応フォーマット

本機で再生できる動画のフォーマット

対応機器	ファイル フォーマット	映像 フォーマット	音声フォーマット	最大解像度	最大ファイル数
USB 機器	MPEG2-TS	MPEG2 Video	AAC、 MPEG-1 Layer II	1920 × 1080	3000/ フォルダ
		H.264/ MPEG4-AVC	AAC、 ドルビーデジタル (AC3)	1920 × 1080	3000/ フォルダ
		HEVC	AAC、HE-AAC ドルビーデジタル (AC3)	3840 × 2160	3000/ フォルダ
	MPEG2-PS	MPEG2 Video	リニア PCM、 ドルビーデジタル (AC3)、 MPEG-1,2 Layer II	1920 × 1080	3000/ フォルダ
	MP4	MPEG-4 Visual	AAC	1920 × 1080	3000/ フォルダ
		HEVC	AAC、HE-AAC	3840 × 2160	3000/ フォルダ
		H.264/ MPEG4-AVC	AAC、HE-AAC、 リニア PCM	3840 × 2160	3000/ フォルダ

- ※ H.264/MPEG4-AVCの3840×2160の場合、フレームレートは最大で30fpsまでです。その他のフォーマットは60fpsまで対応しています。
- ※ 一部の動画は再生できないことがあります。特にMP4動画については、対応機器によっては再生できないことがあります。
- ※ 音声がついていない映像だけの動画は再生できません。
- ※ 対応機器の性能によっては、映像が乱れたり、雑音が出たりするなど、正常に再生できないことがあります。

ライセンス及び商標などについて

- **ACCESS™** 本製品は、株式会社ACCESSのNetFront Browserを搭載しています。
- **NetFront®** ACCESS、NetFrontは、日本国およびその他の国における株式会社ACCESSの商標または登録商標です。
© 2009 ACCESS CO., LTD. All rights reserved.
- **DOLBY AUDIO™** この製品はドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
Dolby、ドルビー、Dolby Audio及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- **HDMI®** HDMI、High-Definition Multimedia Interface、およびHDMIロゴは、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または、登録商標です。
- SeeQVault™およびSeeQVaultロゴは、NSM initiatives LLCの商標です。
- Blu-ray Disc™(ブルーレイディスク)、Blu-ray™(ブルーレイ)はブルーレイディスク アソシエーションの商標です。
- 本製品の一部分に Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- この製品に含まれているソフトウェアをリバース・エンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイル、分解またはその他の方法で解析、及び変更することは禁止されています。
- **AVC PATENT PORTFOLIO LICENSE**

THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE AVC PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL AND NON COMMERCIAL USE OF A CONSUMER TO (i) ENCODE VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE AVC STANDARD ("AVC VIDEO") AND/OR (ii) DECODE AVC VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL AND NON-COMMERCIAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED TO PROVIDE AVC VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, L.L.C. SEE [HTTP://WWW.MPEGLA.COM](http://www.mpegla.com)

- This product contains technology subject to certain intellectual property right of Microsoft. Use or distribution of this technology outside of this product is prohibited without the appropriate license(s) from Microsoft.
PlayReady end user notice
Content owners use Microsoft PlayReady™ content access technology to protect their intellectual property, including copyrighted content. This device uses PlayReady technology to access PlayReady-protected content and/or WMDRM-protected content. If the device fails to properly enforce restrictions on content usage, content owners may require Microsoft to revoke the device's ability to consume PlayReady-protected content. Revocation should not affect unprotected content or content protected by other content access technologies. Content owners may require you to upgrade PlayReady to access their content. If you decline an upgrade, you will not be able to access content that requires the upgrade.
- This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit
(<http://www.openssl.org/>)
- This product has used the FreeType code.

本機で使われるソフトウェアのライセンス情報

本機に組み込まれたソフトウェアは、複数の独立したソフトウェアコンポーネントで構成され、個々のソフトウェアコンポーネントは、それぞれに当社または第三者の著作権が存在します。

本機は、第三者が規定したエンドユーザーライセンスアグリーメントあるいは著作権通知(以下、「EULA」といいます)に基づきフリーソフトウェアとして配布されるソフトウェアコンポーネントを使用しております。

「EULA」の中には、実行形式のソフトウェアコンポーネントを配布する条件として、当該コンポーネントのソースコードの入手を可能にするよう求めているものがあります。当該「EULA」の対象となるソフトウェアコンポーネントに関しては、以下のホームページをご覧くださいようお願いいたします。

ホームページアドレス

<http://www.toshiba.co.jp/regza/LZ1/eula/>

また、本機のソフトウェアコンポーネントには、当社自身が開発もしくは作成したソフトウェアも含まれており、これらソフトウェア及びそれに付帯したドキュメント類には、当社の所有権が存在し、著作権法、国際条約条項及び他の準拠法によって保護されています。「EULA」の適用を受けない当社自身が開発もしくは作成したソフトウェアコンポーネントは、ソースコード提供の対象とはなりませんのでご了承ください。

ご購入いただいた本機は、製品として、弊社所定の保証をいたします。

ただし、「EULA」に基づいて配布されるソフトウェアコンポーネントには、著作権者または弊社を含む第三者の保証がないことを前提に、お客様がご自身でご利用になることが認められるものがあります。この場合、当該ソフトウェアコンポーネントは無償でお客様に使用許諾されますので、適用法令の範囲内で、当該ソフトウェアコンポーネントの保証は一切ありません。著作権やその他の第三者の権利等については、一切の保証がなく、「as is」(現状)の状態で、かつ、明示か黙示であるかを問わず一切の保証をつけないで、当該ソフトウェアコンポーネントが提供されます。ここでいう保証とは、市場性や特定目的適合性についての黙示の保証も含まれますが、それに限定されるものではありません。当該ソフトウェアコンポーネントの品質や性能に関するすべてのリスクはお客様が負うものとします。また、当該ソフトウェアコンポーネントに欠陥があるとわかった場合、それに伴う一切の派生費用や修理・訂正に要する費用は、当社は一切の責任を負いません。適用法令の定め、又は書面による合意がある場合を除き、著作権者や上記許諾を受けて当該ソフトウェアコンポーネントの変更・再配布を為し得る者は、当該ソフトウェアコンポーネントを使用したこと、又は使用できないことに起因する一切の損害についてなんらの責任も負いません。著作権者や第三者が、そのような損害の発生する可能性について知らされていた場合でも同様です。なお、ここでいう損害には、通常損害、特別損害、偶発損害、間接損害が含まれます(データの消失、又はその正確さの喪失、お客様や第三者が被った損失、他のソフトウェアとのインタフェースの不適合化等も含まれますが、これに限定されるものではありません)。当該ソフトウェアコンポーネントの使用条件や遵守いただかなければならない事項等の詳細は、各「EULA」をお読みください。

本機に組み込まれた「EULA」の対象となるソフトウェアコンポーネントは、設定の「ソフトウェアのライセンス情報」から表示し、確認できます。

これらソフトウェアコンポーネントをお客様自身でご利用いただく場合は、対応する「EULA」をよく読んでから、ご利用くださるようお願いいたします。なお、各「EULA」は、当社以外の第三者による規定であるため、原文(英文)を表示します。

症状に合わせて解決法を調べる

- 正しく動作しないなどの症状があるときは、以降の記載内容から解決法をお調べください。
- 解決法の対処をしても症状が改善されない場合は、電源プラグをコンセントから抜き、「東芝 DVD インフォメーションセンター」にご相談ください。
- 表の「ページ」の欄は関連事項が記載されているページです。

このような場合は故障ではありません

- 降雨や降雪などで電波が弱くなったときには、映像にノイズが多くなったり、映らなくなったりすることがあります。
天候が回復すれば正常に映るようになります。
- 使用していないのに温まる
使用していない場合でも、番組情報取得などの動作をしているときなどは、本機の温度が多少上昇します。

本機が操作できなくなったとき—本機をリセットする

- リモコンでも本体前面の電源ボタンでも操作できなくなった場合は、以下の操作を試みてください。

電源プラグを抜いてリセットする	本体の電源ボタンを長押ししてリセットする
① 電源プラグをコンセントから抜く ② 1分間以上待つ ③ 電源プラグをコンセントに差し込んで、電源を入れる	① 本体の電源ボタンを4秒以上押し続ける ② 本体前面の「電源」の表示ランプが点滅したら、電源ボタンから手を離す ● しばらくすると電源が「入」になり、画面に「リセット機能により、再起動しました。」が表示されます。

操作

電源がはいらない

確認すること	解決法・その他	ページ
電源プラグが抜けていませんか。	● 電源プラグをコンセントに差し込みます。	—
ACアダプターまたは電源コードが本体から抜けていませんか。	● ACアダプターのDCプラグを本機背面のDC-IN端子に接続します。また、電源コードのプラグをACアダプターに接続します。	213

「電源」表示が赤色に点滅していますか。	• 電源プラグをコンセントから抜き、一分以上たってからもう一度コンセントに差し込みます。	—
「電源」表示が赤色／緑色に交互に点滅していますか。	• ソフトウェアの更新を行っているため、「電源」表示の点滅が終わるのを待ってから操作してください。	—

リモコンで操作ができない

確認すること	解決法・その他	ページ
リモコンと本機の間に障害物はありませんか。	• 障害物を取り除きます。	—
リモコンの乾電池が消耗していませんか。	• 新しい乾電池に交換します。	22
リモコンの乾電池の向き（＋、－）が合っていますか。	• 向き（＋、－）を確認し、正しく入れてください。	22
リモコンと本体のリモコンコードが合っていますか。	• リモコンと本体のリモコンコードが合っていないと、操作できません。リモコンと本体のリモコンコードを正しく合わせてください。	135

映像

放送の映像が出ない、またはきれいに映らない

確認すること	解決法・その他	ページ
テレビに正しく接続されていますか。	• 確認して正しく接続します。	17
テレビの電源がはいっていますか。	• テレビの電源を入れます。	—
接続した入力に切り換えましたか。	• テレビの入力切替で、本機を接続した入力端子を選びます。	23
アンテナ線がはずれていたり、切れていたり、ショートしたりしていませんか。	• アンテナ線を確認して正しく接続します。 ※ 屋外の接続については、販売店にご相談ください。	17
アンテナ線プラグの芯線が曲がっていませんか。	• 確認して、まっすぐにします。（折らないようにご注意ください）	—

確認すること	解決法・その他	ページ
アンテナ線プラグの芯線が折れたり、短くなっていたりしていませんか。	アンテナ線を交換します。	—
電波が弱くありませんか。	- アンテナレベルを確認します。 - アンテナの向きを調整してみます。(販売店にご相談ください)	125
アンテナ線の差し込みがゆるんでいたり、接触不良になっていたりしていませんか。	確認して、しっかりと接続します。	17
アンテナ線（端子）がさびていませんか。	販売店にご相談ください。	—

地上デジタル放送

地上デジタル放送が映らない、または映像が乱れる、または引越をしたら地上デジタル放送が映らなくなった

確認すること	解決法・その他	ページ
アンテナレベルが推奨値以下ではありませんか。	- サブメニューの「その他の操作」の「アンテナレベル表示」でアンテナレベルを確認します。 ※ 推奨値よりも低い場合は、放送を受信できないことがあります。お買い上げの販売店にご相談のうえ、アンテナの向きを確認・調整してください。	125
「初期スキャン」をしましたか。	「初期スキャン」をします。	128
お住まいの地域は地上デジタル放送の受信可能エリアですか。	一般社団法人 放送サービス高度化推進協会のホームページ (http://www.apab.or.jp/) で確認することもできます。	—
共聴システムやCATVをご利用の場合、地上デジタル放送のパススルー方式に対応していますか。	CATVの場合はご契約のCATV会社に、その他の場合は共聴システムの管理者にお問い合わせください。(CATVがパススルー方式でない場合はCATV用チューナーが必要な場合があります)	—

BS・110度CSデジタル放送

BS・110度CSデジタル放送が映らない、または映像が乱れる

確認すること	解決法・その他	ページ
アンテナ接続に分配器を使用していますか。	分配器は「全端子通電型」のものを使用します。	—
有料放送ではありませんか。	有料放送を視聴するには契約が必要です。視聴の申し込みや視聴料金などについては、放送事業者にご相談ください。	—
マンションなどで、壁のアンテナ端子が一つだけになっていますか。	- 視聴できる放送の種類についてマンションなどの管理会社にご確認ください。 - ご自身で確認する場合は、アンテナ線を本機のBS・110度CSアンテナ入力端子に直接接続してみます。(地上デジタル放送を確認する場合は、地上デジタルアンテナ入力端子へ) - BS・110度CSデジタル放送と地上デジタル放送の両方が受信できる場合は、分波器を使用してアンテナ線をBS・110度CSアンテナ入力端子と地上デジタルアンテナ入力端子に接続します。	187
本機またはアンテナ線の近くで携帯電話、スマートフォン、コードレス電話、Wi-Fi機器(アクセスポイントを含む)などの無線機器を使用していませんか。	左記の機器は、本機またはアンテナ線から離れて使用してください。映像・音声が乱れることがあります。	—
「衛星アンテナ電源供給」設定が「しない」に設定されていませんか。	- BS・110度CS共用アンテナを、ご自身で設置して利用している場合、BS・110度CS共用アンテナへの電源供給が必要となります。「衛星アンテナ電源供給」設定が「する」に設定されていることを確認してください。 ※ アンテナショートを検出した場合、「衛星アンテナ電源供給」設定を自動的に「しない」に変更する場合があります。	127

番組表

番組表に内容が表示されない

確認すること	解決法・その他	ページ
電源プラグを抜いていませんかでしたか。	- 電源プラグをコンセントに差し込んでおきます。 「番組表を更新する」の操作をします。	— 36

番組表の文字が小さい

確認すること	解決法・その他	ページ
—	番組表を表示中に 赤 を押して、文字の大きさを変更することができます。	37

放送局のすべてのチャンネルが表示されない

確認すること	解決法・その他	ページ
「1 チャンネル表示」にいませんか。	番組表のサブメニューで「マルチ表示」を選択します。	36
「チャンネルスキップ設定」でスキップ「する」に設定していませんか。	「チャンネルスキップ設定」でスキップ「しない」に設定します。	130

お知らせアイコン が何度も表示される

確認すること	解決法・その他	ページ
「お知らせ」の内容を確認しましたか。	- サブメニューの「お知らせ」で内容を確認します。 ※ 未読のお知らせが1件でも残っていると、画面表示 を押したときにアイコンが表示されます。	142

録画・再生

USBハードディスクが使用できない(認識されない)

確認すること	解決法・その他	ページ
本機で接続確認済のUSBハードディスクですか。	- 本機で接続確認済のUSBハードディスクはホームページ(http://www.toshiba.co.jp/regza/bd_dvd/cs/index.html)でお知らせしています。 ※ 本機で接続確認済の機器でない場合は、使用できないことがあります。	—
機器が正しく接続されていますか。	「USBハードディスクの接続をする」に従って、正しく接続します。	52
機器の電源がはいっていますか。	- USBハードディスクの電源を入れます。 ※ USBハードディスクは専用のACアダプターを接続してご使用ください。	—
機器が本機に登録されていますか。	USBハードディスクを本機に登録します。	54
USBハブを使用している場合、本機で使えるようになっていませんか。	- ホームページ(http://www.toshiba.co.jp/regza/bd_dvd/cs/index.html)でUSBハブが推奨機器であることを確認します。 ※ 推奨機器でない場合は使用できないことがあります。「USBハードディスクの接続をする」の「お知らせ」をご覧ください。 ※ USBハードディスクは専用のACアダプターを接続してご使用ください。	53

録画ができない、または録画されなかった

確認すること	解決法・その他	ページ
USBハードディスクの残量が足りていますか。	- 残量を確認する。 - 不要な番組を削除する。 「自動削除設定」を「削除する」に変更する。	94 96
コピー禁止の番組ではありませんか。	録画はできません。	—
独立データ放送番組、ネットワークからの映像などではありませんか。	本機は左記の番組や映像の録画には対応していません。	—

予約した番組の放送時間が繰り上げられませんでしたか。	- 本機は放送時間が繰り上げられた番組の録画はできません。 ※「その他の録画設定」の「放送時間」を「連動する」に設定した場合でも、放送時間の繰り上げには対応できません。	84
連ドラ予約の場合、「追跡基準」、「追跡キーワード」は正しく設定されていますか。	「その他の録画設定」で「追跡キーワード」を正しく設定します。 ※ 1回限りのキーワード(「第〇〇話」や出演者名など)を削除します。	82
「お知らせ」のアイコンが表示されていませんか。	- サブメニューの「お知らせ」で内容を確認します。 ※ 番組の重複や、放送時間の変更などで録画できなかった場合は、「本機に関するお知らせ」が発行されます。	142

録画した番組が消えた

確認すること	解決法・その他	ページ
「自動削除設定」が「削除する」になっていませんか。	「自動削除設定」を「削除しない」に設定する。 - または、消したくない番組を保護する。	97
録画中に電源プラグや接続ケーブルを抜きましたか。	- 録画中や録画設定をしたときは電源プラグを抜かない。 ※ 左記の場合、録画中の番組は残りません。また、録画したすべての番組が消えることがあります。 「録画番組を修復する」の操作をすれば、録画された内容を再生できるようになることがあります。	— 90
録画リストの分類タブが「すべて」以外になっていませんか。	- 録画リストの分類タブを《・》で「すべて」に変更する。 ※ 分類タブが「未視聴」の場合、一度でも再生した録画番組は、リストに表示されません。	86

ホームネットワークの機器が認識されない、再生できない、映像が止まる、またはノイズが出る

確認すること	解決法・その他	ページ
接続は正しいですか。	• ルーターを通して正しく接続します。	67
ルーターから機器に対してプライベートアドレスが割り当てられるようになっていませんか。	• ルーターの取扱説明書を参照し、プライベートアドレスが機器と本機に割り当てられるように設定します。	—
本機のネットワーク設定および接続機器はアドレス設定(IPv4)のIPアドレスを自動取得する設定になっていますか。	• 「IPアドレス」を「自動取得」に設定します。 ※ 機器側については、機器の取扱説明書に従って確認・設定してください。	115

ほかの機器で再生できない

確認すること	解決法・その他	ページ
—	• USBハードディスクに録画した番組は、録画したチューナーでしか再生できません。(同じ形名のほかのチューナーでも再生できません)	—

HDMI 連動機能

機器を接続しても連動動作ができない

確認すること	解決法・その他	ページ
接続は正しいですか。	- HDMIロゴ表示のついた規格に合ったHDMIケーブルで正しく接続します。 ※ 1080pの映像信号を出力する場合は、ハイスピードHDMI[®]ケーブルをご使用ください。4Kの映像信号(2160p)を出力する場合は、プレミアムハイスピードHDMI[®]ケーブルをご使用ください。	193
推奨機器（対応機器）ですか。	- ホームページ http://www.toshiba.co.jp/regza/bd_dvd/cs/index.html でお知らせしています。 ※ 接続する機器により、動作しないことがあります。	—
本機と接続機器の設定は正しいですか。	- 本機とテレビを連動させるには、テレビ側の設定が必要です。テレビ側の設定操作については、テレビの取扱説明書を参照ください。 - 本機の「本体設定」にある「HDMI連動機能」を確認します。	—

ネットワークが利用できない

アドレス設定(IPv4)のIPアドレスが取得できない

確認すること	解決法・その他	ページ				
アドレス設定(IPv4)のIPアドレスが空欄ですか。	「ネットワーク接続設定」にある「アドレス設定 (IPv4)」を確認します。 - 上記の確認でIPアドレスが取得できていない場合(すべて空欄になっている場合)は以下を確認します。 ① 本機とルーターが接続されているか確認する ② ルーターのアクセスランプ(ルーターのLANポートにある小さなランプ)が点滅しているか確認する(正常に通信できていればランプが点滅します) ③ ルーターに他のネットワーク機器(パソコンなど)があるときは、機器からインターネット接続が可能か確認する - 可能であれば、以下のテストをします 機器に接続されているLANケーブルを本機に接続し、接続テストをする 接続できたとき 最初に本機と接続されていたLANケーブルまたはルーターの不具合の可能性が高いです。 接続できなかったとき ルーター、LANケーブルに問題がある可能性は低いです。 ④ インターネット接続可能なその他の機器(パソコンなど)のIPアドレスを確認し、本機のIPアドレスを手動で設定する - 上記の確認をしても接続できない場合は、本機をリセットします。	115				
	<table><tr><th>リセットのしかた</th><th>操作で対処したいとき</th></tr><tr><td> ① 電源プラグをコンセントから抜く ② 1分間以上待つ ③ 電源プラグをコンセントに差し込んで、電源を入れる </td><td> ① 本体の電源ボタンを押し続ける ② 本体前面の「電源」の表示ランプが点滅したら、電源ボタンから手を離す ③ しばらくすると電源が「入」になり、画面に「リセット機能により、再起動しました。」が表示されます。 </td></tr></table>	リセットのしかた	操作で対処したいとき	① 電源プラグをコンセントから抜く ② 1分間以上待つ ③ 電源プラグをコンセントに差し込んで、電源を入れる	① 本体の電源ボタンを押し続ける ② 本体前面の「電源」の表示ランプが点滅したら、電源ボタンから手を離す ③ しばらくすると電源が「入」になり、画面に「リセット機能により、再起動しました。」が表示されます。	153
	リセットのしかた	操作で対処したいとき				
① 電源プラグをコンセントから抜く ② 1分間以上待つ ③ 電源プラグをコンセントに差し込んで、電源を入れる	① 本体の電源ボタンを押し続ける ② 本体前面の「電源」の表示ランプが点滅したら、電源ボタンから手を離す ③ しばらくすると電源が「入」になり、画面に「リセット機能により、再起動しました。」が表示されます。					
	- リセットをしても接続できない場合は、本機の初期化をします。 - 上記の確認をすべてしても接続できないときは、東芝DVDインフォメーションセンター(裏表紙参照)にお問い合わせください。	137				

アドレス設定(IPv4)のIPアドレスが取得できているのに接続できない

確認すること	解決法・その他	ページ			
アドレス設定(IPv4)の取得しているIPアドレスが「192.168.～」から始まっていますか。	• お使いのルーターは、ブロードバンドルーターか確認します。 • 「ネットワーク接続設定」にある「アドレス設定 (IPv4)」を確認します。 • 取得しているIPアドレスが「192.168.～」から始まっていればルーターから正常にアドレスを取得できています。 接続できずエラーメッセージで「DNSからの応答がありません」と表示されるときは、ルーターにPPPoE設定が必要なため、ご契約の回線事業者(NTT東日本、NTT西日本など)にご相談ください。 • 「169.254.～」から始まっているときは、本機がルーターからのIPアドレスの取得に失敗しています。その場合は、以下の操作を試みてください。 • ルーターを再起動する。 • 本機をリセットする	115			
	<table><tr><th>リセットのしかた</th><th>操作で対処したいとき</th></tr><tr><td> ① 電源プラグをコンセントから抜く ② 1分間以上待つ ③ 電源プラグをコンセントに差し込んで、電源を入れる </td><td> ① 本体の電源ボタンを押し続ける ② 本体前面の「電源」の表示ランプが点滅したら、電源ボタンから手を離す ③ しばらくすると電源が「入」になり、画面に「リセット機能により、再起動しました。」が表示されます。 </td></tr></table>	リセットのしかた	操作で対処したいとき	① 電源プラグをコンセントから抜く ② 1分間以上待つ ③ 電源プラグをコンセントに差し込んで、電源を入れる	① 本体の電源ボタンを押し続ける ② 本体前面の「電源」の表示ランプが点滅したら、電源ボタンから手を離す ③ しばらくすると電源が「入」になり、画面に「リセット機能により、再起動しました。」が表示されます。
リセットのしかた	操作で対処したいとき				
① 電源プラグをコンセントから抜く ② 1分間以上待つ ③ 電源プラグをコンセントに差し込んで、電源を入れる	① 本体の電源ボタンを押し続ける ② 本体前面の「電源」の表示ランプが点滅したら、電源ボタンから手を離す ③ しばらくすると電源が「入」になり、画面に「リセット機能により、再起動しました。」が表示されます。				
	• 本機のIPアドレスを確認する	115			

164

アドレス設定(IPv6)のIPアドレスが取得できているのに接続できない

確認すること	解決法・その他	ページ
アドレス設定(IPv6)において、「自動取得」が選択されていますか。	- お使いのルーターは、ブロードバンドルーターか確認します。 「ネットワーク接続設定」にある「アドレス設定(IPv6)」を確認します。 - アドレス、デフォルトゲートウェイ、プレフィックス長、プライマリアドレスに何らかの値が設定されていればルーターから正常にアドレスを取得できています。接続できずエラーメッセージで「DNSからの応答がありません」と表示されるときは、ルーターにPPPoE設定が必要なため、ご契約の回線事業者(NTT東日本、NTT西日本など)にご相談ください。	117

PPPoE設定ができない

確認すること	解決法・その他	ページ
—	本機ではPPPoEの設定はできません。PPPoEはルーター側に設定してください。(設定にはパソコンが必要です)	120

エラーメッセージが表示されたとき

● 代表的なエラーメッセージについて説明しています。

全般

画面に出るエラー表示	考えられる原因など	対処のしかた・その他	ページ
「電波の受信状態がよくありません。 [サブメニュー] から「降雨対応放送」に切り換えられます。 コード：E201」	気象条件などによって信号レベルが下がり、降雨対応放送切換が可能な状態になった。	降雨対応放送に切り換えることができます。	46
「放送が受信できません。 1. 本機と壁のアンテナ線の接続を確認してください アンテナ線を接続しなおしてみてください。 地デジとBS・110度CSのアンテナ端子を間違えないようにご注意ください。 2. リモコンで見たい放送(【地デジ】【BS】【CS】【4K】) ボタンを押してください 3. リモコンの青 ボタンを押して、アンテナレベルを確認してください コード：E202」	- アンテナが放送に適合していない。 - アンテナ線がはずれたり、切れたりしている。 - BS・110度CSアンテナの場合、アンテナ電源が供給されていない。 - アンテナの方向ずれや故障。 - 電波が弱くて視聴できない。 - 雨や雷、雪などの気象条件によって一時的に受信できない。 ※ 放送が休止中の場合も表示されることがあります。	- 放送に適合したデジタル放送用アンテナであることを確認します。 - アンテナとアンテナ線の状態や接続を確認します。(販売店にご相談ください) - BS・110度CSアンテナに電源が供給されるようにします。	17 19 17 127
「現在放送されていません。 コード：E203」	選局したチャンネルでの放送が休止中、または放送が終了している。 ※ 雨や雷、雪などの気象条件によって一時的に受信できない場合も表示されることがあります。	番組表などで放送時間を確認します。	—

画面に出るエラー表示	考えられる原因など	対処のしかた・その他	ページ
「該当するチャンネルはありません。 コード：E204」	放送のないチャンネルを選局した。	番組表などでチャンネルを確認します。	—
「B-CASカードが挿入されていません。カードを挿入している場合には取扱説明書の『B-CASカードを挿入する』をご確認の上向きと裏表を確認して、もう一度奥まで入れ直してください。」	- miniB-CASカードが挿入されていない。 - miniB-CASカードが正しく挿入されていない。 - miniB-CASカードが抜けている。	miniB-CASカードを正しく挿入します。	21
「B-CASカードが認識できません。 下記の内容をご確認ください。 ・カードの向きと裏表を確認して、もう一度奥まで入れなおしてください。 ・カードの金属端子部に汚れがあるときは乾いたきれいな柔らかい布で汚れをふき取ってください。 ・B-CASカードが破損している場合もあります。破損した場合は再発行については、B-CASカードに記載されているビーエス・コンディショナルアクセスシステムズカスタマーセンターへお問い合わせください。」 または 「このB-CASカードはご使用になれません。カードをご確認ください。」	- miniB-CASカードが接触不良を起こしている。 - 無効なminiB-CASカードが挿入されている。 - miniB-CASカードが破損している。	miniB-CASカードを取り出し、金色端子部に汚れがないか確認し、乾いた布でふき取り、もう一度入れます。	21
		付属のminiB-CASカードの所有権は、ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ社にあります。 認識しないなど、破損した場合の再発行については、付属のminiB-CASカード台紙の記載されている、ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ社にお問い合わせください。	—
「BS/CS 4K視聴チップ(ACAS)が認識できません。」	内蔵されているBS/CS 4K視聴チップ(ACAS)に異常が発生した。	裏表紙に記載の「東芝DVDインフォメーションセンター」にご連絡ください。	—

USB ハードディスクに関するエラー表示

画面に出るエラー表示	考えられる原因など	対処のしかた・その他	ページ
「機器に接続できません。」	接続ケーブルがはずれている。	接続を確認します。	—
	USBハードディスクの電源が切れている。	USBハードディスクの電源を入れます。	—
	USBハードディスクにエラーが発生した。	USBハードディスクの電源を入れ直してみます。	—
「再生できません。」	録画中になんらかの原因でコピーワンスなどの情報が破損した。	再生できません。	—
	再生時に本機とUSBハードディスクと通信に障害があった。または、接続ケーブルがはずれてしまった。	本機とUSBハードディスクの電源を入れ直してみます。また、接続を確認します。	—
「録画機器のエラーにより録画を中止しました。詳しくは取扱説明書をご覧ください。」	本機とUSBハードディスクと通信に障害があった。	本機とUSBハードディスクの電源を入れ直してみます。	—
「コンテンツ情報取得中にエラーが発生しました。」	録画した番組が正常に保存されなかった。	「録画番組を修復する」の操作をしてみます。	90 

画面に出るエラー表示	考えられる原因など	対処のしかた・その他	ページ
「USB端子の電源容量を超えました。接続機器をはずし、本体の電源ボタンで電源を切り、もう一度電源を入れてください。」	USBバスパワーで動作するUSBハードディスクを本機に接続し、使用電力が本機の供給限界を超えた。	以下の手順で復帰させます。 ① 本体の電源ボタンで電源を切る ② USBハードディスクの接続ケーブルを抜く ③ 本機の電源プラグをコンセントから抜き、約10秒後に差し込む ④ 本機の電源を入れる ⑤ USBハードディスクを接続する ※ 再び同じエラーメッセージが表示される場合は、USBハードディスクにACアダプターを接続してください。	—

LAN 端子を使った通信に関するエラー表示

画面に出るエラー表示	考えられる原因など	対処のしかた・その他	ページ
「サーバーと通信できませんでした。しばらく待ってからもう一度操作してください。」	サーバーからのソフトウェア・ダウンロードに失敗した。 回線が混みあっている。	接続・設定の状態を確認します。 しばらくたってから、もう一度操作します。	113 119
「本機にルート証明書が設定されていないため、サーバーに接続できません。詳しくは取扱説明書の「エラーメッセージ」をご覧ください。」	本機にルート証明書が設定されていない。	ルート証明書番号を確認し、東芝DVDインフォメーションセンター(裏表紙参照)にお問い合わせください。	132

画面に出るエラー表示	考えられる原因など	対処のしかた・その他	ページ
「現在設定されているルート証明書ではサーバーの安全性を確認できないため、接続できません。詳しくは取扱説明書の「エラーメッセージ」をご覧ください。」	ルート証明書は本機内に設定されているが、接続先のサーバー証明書との検証ができない。	ルート証明書番号を確認し、正しいルート証明書であるかを東芝DVDインフォメーションセンター(裏表紙参照)にお問い合わせください。	132
「現在設定されているルート証明書の有効期限が切れているため、サーバーに接続できません。詳しくは取扱説明書の「エラーメッセージ」をご覧ください。」	ルート証明書の有効期限が切れている。		
「サーバーの証明書の有効期限が切れているため、接続できません。詳しくは取扱説明書の「エラーメッセージ」をご覧ください。」	接続先の証明書が有効期限切れになっている。	接続先の安全性に問題があります。本機は、一部の接続先については、安全性の確認ができない場合、接続は行われません。(本機の動作は正常です)	—
「サーバーの証明書には表示するページの名前が含まれていないため、接続できません。詳しくは取扱説明書の「エラーメッセージ」をご覧ください。」	サーバー証明書に表示しようとしているページの名前がない。		
「サーバーの証明書の不正が検出されたため、接続を中断します。詳しくは取扱説明書の「エラーメッセージ」をご覧ください。」	接続先の証明書が改ざんされている。		
「サーバーの証明書に問題があるため、接続を中断します。詳しくは取扱説明書の「エラーメッセージ」をご覧ください。」	認証エラーが発生した。		

BS・110度CSの4K放送に関するエラー表示

画面に出るエラー表示	考えられる原因など	対処のしかた・その他	ページ
「8K番組は視聴できません。」	本機は8K放送に対応していません。	—	—

使用上のお願いとご注意

取り扱いについて

- 本機をご使用中、製品本体で熱くなる部分がありますが、故障ではありませんので、ご注意ください。
- 引越しなど、遠くへ運ぶときは、傷がつかないように毛布などでくるんでください。また、衝撃・振動を与えないでください。
- 本機に殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。変質したり、塗装がはげたりすることがあります。
- 電源プラグは非常時と長期間ご使用にならないとき以外は、常時コンセントに接続してください。（番組情報を取得するためです）
- 畳の上に置かないでください。金属部が直接畳に触れていると、さびが出たり、畳表に穴があいたりする可能性があります。

電源プラグについて

- 本機の電源プラグをコンセントから抜くと、本機背面の地上デジタルアンテナ出力端子やBS・110度CSアンテナ出力端子に接続したテレビなどで放送を正常に受信できなくなります。その場合は、本機の電源プラグを常にコンセントに差し込んで通電状態にしておいてください。
- 本機からBS・110度CS用アンテナにアンテナ電源を供給しているときに、本機の電源プラグをコンセントから抜くと、アンテナを共有しているテレビなど他の機器でBSデジタル放送、110度CSデジタル放送、BS・110度CSの4K放送が受信できなくなる場合があります。その場合は、本機の電源プラグを常にコンセントに差し込んで通電状態にしておいてください。

電源プラグをコンセントから抜く際のご注意

- 電源プラグをコンセントから抜いたり、コンセントの元につながっているブレーカーを落としたりする際は、以下の手順で行ってください。
- ① **画面表示**を押して、録画中やダビング中の表示が出ないことを確認する
- ② 録画予約が設定されていないか確認する
 - 「予約の確認・変更・取り消しをする」**[83]**の手順で、電源プラグを抜いている間に始まる予約がないか確認してください。電源プラグが抜かれていると、予約した番組は録画されません。
- ③ リモコンまたは本体の電源ボタンを押して電源を切る
- ④ 電源プラグをコンセントから抜く

録画・録音について

- 本機に接続した機器に録画・録音する際は、事前に試し録画・録音をして、正しくできることを確かめておいてください。
- 本機に接続した機器に録画・録音した内容の長期保存は保証できません。あくまでも一時的な保存・再生機能としてご使用ください。
- 著作権保護のため、コピーが禁止されている番組は録画をすることはできません。また、著作権保護のため、1回だけ録画が許された番組は、録画した番組をさらにコピーすることはできません。

- あなたが録画・録音したものは、個人的にまたは家庭内その他これに準ずる限られた範囲内で楽しむ以外は、著作権法上、権利者に無断では使用できません。録画・録音したものを個人的にまたは家庭内その他これに準ずる限られた範囲内で楽しむ以外に権利者の許諾なく、複製・改変したり、インターネットなどで送信・掲示したりすることは著作権法上禁止されています。以下の行為なども、原則として著作権法上保護された権利を侵害することになりますのでご注意ください。

- ・ 録画した番組を自分のホームページで見られるようにする。
- ・ 録画した番組をメールやメッセージサービスなどで他の人に送る。
- ・ 番組を録画したビデオテープやディスクなどの媒体を営利の目的で、または不特定もしくは多数の人に貸す。

著作権法に違反すると刑事処罰を受けられる場合もありますので自己責任のもとでご利用ください。なお、著作権法違反によって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。

本機を廃棄、または他の人に譲渡するとき

- 「すべての初期化」**137**で、暗証番号や双方向サービスの情報（住所・氏名、ポイント数などの利用者個人の情報）も含めて、初期化してください。
- 廃棄の際は、地方自治体の条例または規則に従ってください。

免責事項について

- 地震・雷などの自然災害、火災、第三者による行為、その他の事故、使用者の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用によって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生じる付随的な損害（事業利益の損害、事業の中断、視聴料金の損失など）に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 取扱説明書の記載内容を守らないことによって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 本機に接続した機器に正しく記録（録画、録音など）できなかった内容または変化・消失した内容の補償、および付随的な損害に関して、当社は一切の責任を負いません。大切な番組の録画・録音には、本機との組み合わせによらない録画・録音機器を併用することをおすすめします。
- 他の接続機器との組み合わせによる誤動作や動作不能、誤操作などから生じた損害（録画機器などの故障、録画内容の変化・消失など）に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 誤操作や、静電気などのノイズによって本機に記憶されたデータなどが変化・消失することがあります。これらの場合について、当社は一切の責任を負いません。
- 故障・修理のときなどに、データ放送の双方向サービスなどで本機に記憶された利用者の登録情報やポイント情報などの一部あるいはすべてが変化・消失した場合の損害や不利益について、当社は責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

お手入れについて



注意

■ お手入れのときは、電源プラグ
をコンセントから抜く

感電の原因となることがあります。



お手入れの際のご注意

ベンジン・アルコールなどは使わない

- ベンジン・アルコールなどの揮発性のもののほか、アセトンなどケトン類やキシレン、トルエンなどの溶剤は使わないでください。本機表面を変質させます。
- クレンザーなど、研磨剤が含まれた洗剤は使わないでください。表面が傷つきます。

化学ぞうきんやウェットタイプのクリーニングクロス/クリーニングペーパーなどは使わない

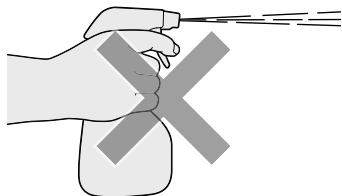
- 含まれている成分によっては、本機表面を変質させます。

水やスプレータイプの洗剤などを直接かけない

- 洗剤などの液体が本機の内部に垂れたり、しみこんだりすると、故障の原因になります。

ぬれた手で手入れをしない

- ぬらした布などを絞ってお手入れをするときは、手についた水滴をよくふき取ってください。水滴が本機の内部に垂れたり、しみこんだりすると、故障の原因になります。



本機のお手入れ

1. 本機に付着しているゴミ、ホコリを
払う
 - 柄つきの柔らかいモップなどで、
やさしく払ってください。
 - ※ ゴミやホコリがついたままでふい
たり、こすったりすると、表面が
傷ついてしまいます。
2. 乾いた脱脂綿または柔らかい布（綿、
ガーゼなど）でやさしくふき取る

汚れが落ちにくいときは

- 水で1000倍程度に薄めた中性洗
剤（中性洗剤1ミリリットルあたり
1リットルの水で薄める）に脱脂綿
または柔らかい布を浸してから固
く絞り、汚れをやさしくふき取っ
てください。そのあと、乾いた脱脂
綿または柔らかい布で水分をふき
取ってください。



- ※ 手に水滴がついているときは、本機に
触れる前にふき取ってください。

仕様

種	類	BS/CS 4K録画対応チューナー
形	名	TT-4K100
電	源	ACアダプター 入力：AC100V 50/60Hz 共用 出力：DC12V 4A (付属のACアダプター使用時)
消	費	29W 待機時電力 1.3W ^{※1} (機能動作時 15W) ^{※2}
外 形 寸 法	幅	165mm
	高 さ	57mm
	奥 行	195mm (突起含まず) / 204mm (突起含む)
本 体 質 量		0.66kg
受 信 チ ャ ン ネ ル		地上デジタル： VHF(1～12)、UHF(13～62)、 CATV(C13～C63) BSデジタル：BS100～BS999 110度CSデジタル：CS001～CS999 BS・110度CS 4K： BS 4K 001～499、CS 4K 500～999
地 上 デ ジ タ ル 入 出 力		75 Ω F型コネクター
BS/110度CSデジタル入出力		75 Ω F型コネクター (最大DC15V、4W)
H D M I 出 力		HDMI 端子 Type A
U S B (H D D 専用) 端子		USB2.0
U S B 端 子		USB2.0
L A N 端 子		RJ-45
使 用 環 境 条 件		温度：0℃～35℃、 相対湿度：20%～80% (結露のないこと)
付 属 品		「付属品を確認する」 14 をご覧ください。

※1：待機時電力は、以下の設定をしたときの消費電力です。設定を変更すると消費電力が大きくなります。

・ 衛星アンテナ電源供給：「しない」

※2：電源「待機」時または電源「切」時に以下の動作をしているときの消費電力です。

・ 番組情報などを取得しているとき

● 意匠・仕様・ソフトウェアは製品改良のため予告なく変更する場合があります。

● 本機を使用できるのは日本国内だけで、外国では放送方式、電源電圧が異なるため使用できません。

(This television set is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.)

- 本商品は、ご愛用終了時に再資源化の一助としておもなプラスチック部品に材質名表示をしています。
- 本商品の改造は感電、火災などのおそれがありますので行わないでください。
- イラスト、画面表示などは、見やすくするために誇張や省略などで実際とは多少異なります。
- 「JIS C 61000-3-2 適合品」 - JIS C 61000-3-2 適合品とは、日本工業規格「電磁両立性—第3-2部：限度値—高調波電流発生限度値（1相当たりの入力電流が20A以下の機器）」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。
- ※ 国外で本品を使用して有料放送サービスを楽しむことは有料放送契約上禁止されています。
(It is strictly prohibited, as outlined in the subscription contract, for any party to receive the services of scrambled broadcasting through use of this television set in any country other than Japan and its geographic territory as defined by international Law.)

USBハードディスクに録画できる時間の目安

- USBハードディスクで録画できる時間の目安は以下ようになります。
- ※ 「自動削除設定」が「削除する」に設定されている場合、約2時間分の録画領域を確保するために、録画できる時間が下表よりも少なくなることがあります。

例 1TBのハードディスクの場合

放送番組の種類	録画できる時間の目安
地上デジタルハイビジョン放送番組 (HD 最大 17Mbps) だけを録画する場合	約 125 時間
BS・110度CSデジタルハイビジョン放送番組 (HD 最大 24Mbps) だけを録画する場合	約 88 時間
BS・110度CSの4K放送番組 (最大 33Mbps) だけを録画する場合	約 64 時間

- 放送番組の種類は、**サブメニュー**を押して「番組説明」を選択し、番組説明画面に表示されるアイコンで確認することができます。
- ハードディスクの残量(録画設定画面に表示される「録画可能時間」および、録画リストのサブメニューの機器の情報画面**86**に表示される「録画可能時間」)は、BSデジタルハイビジョン放送の最大(24Mbps)と4K放送の最大(33Mbps)を基準に算出しています。そのため、地上デジタルハイビジョン放送(約17Mbps)の録画番組などを削除した場合、残量の増加分は削除した番組の時間よりも少なくなります。

対応機器について

- 接続できる機器については、ホームページで順次公開する予定です。(http://www.toshiba.co.jp/regza/bd_dvd/cs/index.html)

さくいん

数字

1コンテンツリピート.....93, 112

アルファベット

A

ARC.....124

B

B-CASカード情報の確認.....143

BS・110度CSの4K放送を楽しむ.....44

BS・110度CS用アンテナ設定.....125

BS/CS 4K視聴チップ(ACAS)情報の確認..143

D

DNSアドレス.....116, 117

DTCP-IP対応サーバー.....66

H

HDMIディープカラー.....123

HDMI連動機能.....123, 161

Hybridcast.....42

I

IPアドレス.....115, 117

S

SeeQVault.....62, 65, 95, 106

U

USB機器を接続する.....108

USBハードディスクが使用できない.....158

USBハードディスクの残量.....94

USBハードディスクの設定をする.....54

USBハードディスクを接続する.....52

USBハードディスクを本機に登録する.....54

W

Wake on LAN.....73

かな

あ

アイコン一覧.....147

頭出し再生.....87

アドレス設定(I P v 4).....115

アドレス設定(I P v 6).....117

暗証番号削除.....133

暗証番号設定.....133

アンテナを接続する.....17

アンテナを調整する.....125

う

上書き録画.....82

え

衛星アンテナ電源供給.....127

映像、音声を切り換える.....46

映像が出ない.....154

映像信号切換.....46

映像を静止させる.....47

エラーメッセージ.....166

お

オートメディアプレーヤー.....110

お知らせアイコンが何度も表示される...157

お知らせを見る.....142

追っかけ再生.....87

お手入れについて.....174

オフタイマー.....49

音声出力.....124

音声信号切換.....46

音多切換.....46

か

外部連携設定.....73

各部のなまえ.....15

各部のなまえ-リモコン.....16

画面表示エリア設定.....122

乾電池を入れる.....22

き

機器の情報.....94

こ

降雨対応放送.....46

このような場合は故障ではありません...153

さ

サーバー機能設定.....70

再スキャン.....128

再生タイムバー.....89

再生中のリモコン操作.....88

サブメニューについて.....31

し

視聴予約.....75

視聴制限一時解除.....38

指定した日時の番組表を表示させる.....35

自動削除設定.....97

自動スキャン.....128

字幕を表示させる.....29

週間番組表.....35

仕様.....176

省エネ設定	48
症状に合わせて解決法を調べる	153
消費電力	176
商標	150
初期スキャン	128

せ

設定の初期化	137
設定メニュー 一覧	138

そ

操作ガイドについて	30
操作無効設定	136
双方向サービス	42
ソフトウェアの自動ダウンロード	139
ソフトウェアのバージョン	141
ソフトウェアを更新する	139

た

対応機器について	177
タイムサーチ	112
ダビング	101

ち

地域と郵便番号を設定する	131
地上デジタルアッテネーター設定	126
地上デジタルアンテナ設定	125
地上デジタルチャンネルを自動で設定する	128
地上デジタル放送が映らない	155
地デジ表示	38
チャンネルスキップ設定	130
チャンネル並び順	38
チャンネルをお好みに手動で設定する	129

つ

追跡キーワード	82
追跡基準	82

て

データ放送終了	42
データ放送の設定をする	131
データ放送やラジオ放送を楽しむ	42
テレビ番組を楽しむ	27
テレビ/ラジオ/データ切換	38, 43
電源がはいらない	153
電源を入れる	23

と

動画を並べ替える	112
動画のフォーマット	149
動画を再生する	110
東芝サーバーから手動でダウンロードする	141
独立データ放送	43

に

日時を指定して予約をする	79
入力切換	23
入力文字一覧	146
入力文字種	145

ね

ネットワーク情報	118
ネットワーク接続設定	115
ネットワークメディアサーバー	66

は

ハイダイナミックレンジ出力	124
はじめての設定	24
「はじめての設定」をやり直すとき	26
早送り再生	88, 111
早見早聞	88, 111
早戻し再生	88, 111
番組概要表示	38
番組検索	91
番組検索(番組を探す)	39
番組情報を見る	32
番組説明	32
番組説明を見る	32
番組表	33
番組表-1チャンネル表示とマルチ表示	36
番組表-更新	36
番組表-ジャンル色分け	37
番組表-週間番組表	35
番組表で録画・予約をする	75
番組表-日時切換	35
番組表に内容が表示されない	157
番組表の文字が小さい	157
番組表-番組記号一覧	37
番組表-番組情報の取得	36
番組表-放送メディア切換	38
番組表-文字サイズ変更	37
番組表を便利に使う	35
番組を検索して録画・予約をする	80
番組を並べ替える	93

ひ

表示チャンネル数	37
表示の大きさを選ぶ	122

ふ

付属品を確認する	14
プロキシサーバー	116

ほ

放送局からのお知らせ	142
放送時間(連動)	82
放送視聴制限設定	134
ボード	142
ほかのグループに移動する	100
ほかの機器で再生できない	160
保護	97
本機に関するお知らせ	142
本機の特長	2
本機の名称	72
本機のリモート電源オン機能を設定する	73
本機を廃棄、または他の人に譲渡するとき	173

ま

マイフォルダ	82
マイフォルダの変更	100
マイフォルダ別	99
マイフォルダ名の変更	99
マジックチャプター	58, 82
マルチ表示	36

み

ミニ番組表	35
-------	----

め

免責事項について	173
----------	-----

も

文字切換	145
文字スーパーの言語を設定する	132
文字を入力する	144

よ

予約の確認	83
予約の動作について	85
予約の取り消し	83
予約の変更	83
予約・録画の優先順位について	84

ら

ライセンス	150
ラジオ放送	43

り

リピート	93, 112
リモート電源オン	73
リモコンコード設定	135
リモコン設定	135
リモコンで操作ができない	154
リモコンで番組を選ぶ	27
リモコンの準備をする	22
リモコンの使用範囲について	22

る

ルート証明書番号	132
----------	-----

れ

レグザAppsコネクつの設定	70
レグザリンクダビングの接続・設定	59
レジューム再生	86
連続ドラマを予約する	77, 94
連動データ放送	42
連ドラ	82
連ドラグループ名の変更	99
連ドラ予約	77, 94

ろ

録画ができない、または録画されなかった	158
録画・再生設定	58
録画先	82
録画した番組が消えた	159
録画した番組を再生する	86
録画できる機器と番組	50
録画できる時間の目安	177
録画番組の修復	90
録画番組を消す	96
録画番組を保護する	97
録画予約	75
録画・予約機能について	50
録画・録音について	172
録画を中止するとき	74

わ

ワンタッチスキップ	88, 111
ワンタッチスキップ設定	89
ワンタッチリプレイ	88, 111
ワンタッチリプレイ設定	89

[illegible]

保証書

持込修理

品名	BS/CS 4K録画対応チューナー		
形名	TT-4K100		
★お客様様	お名前	ふりがな	
	ご住所	〒□□□-□□□□	
	電話		
保証期間	本体	1 年	★お買い上げ日 □□ 年 □□ 月 □□ 日から
★ご販売店	住所・店名 電話		

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとで無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

※保証期間経過後の修理について詳しくは取扱説明書の「保証とアフターサービス」（P.183 ページ）をご覧ください。

東芝映像ソリューション株式会社

〒212-0058 神奈川県川崎市幸区鹿島田1-1-2

TEL 044-578-0666

本書は取扱説明書などの注意書による正常なご使用において、上記保証期間中に故障した場合、本書記載内容にしたがって、無料修理をお約束するものです。

保証期間中に故障が発生したときは、本書と商品をご持参のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

★印欄に記入がないときは無効です。本書をお受け取りの際は必ず記入をご確認ください。

また、本書は再発行しませんので、紛失しないようにたいせつに保管してください。

- 保証期間内で次の場合には有料修理になります。
 - (イ) 誤ったご使用や不当な修理・改造で生じた故障・損傷。
 - (ロ) お買い上げ後の落下や輸送などで生じた故障・損傷。
 - (ハ) 火災、天災地変（地震、風水害、落雷など）、塩害、ガス害、異常電圧で生じた故障・損傷。
- 本書のご提示がない場合。
- (ホ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句が書きかえられた場合。
- (ヘ) 一般家庭用以外（たとえば業務用など）に使用された場合の故障・損傷。
- (ト) ご使用によるよごれ、キズ。

(チ) 塗装面およびメッキ部の摩耗や打痕、プラスチック部の損傷。

2. 出張修理を行った場合には出張に要する実費を申し受けます。

3. 修理のために取りはずした部品は、特段のお申し出がない場合は当社で引き取らせていただきます。

4. 修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

5. 本書は日本国内でのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.

6. 本商品の使用または使用不能による付随的な損害に関しては、保証・補償いたしかねます。
詳しくは取扱説明書をご確認ください。

7. ご転居またはご贈答品などで、お買い上げの販売店に修理のご依頼ができない場合には、取扱説明書の「保証とアフターサービス」（P.183 ページ）に記載の「東芝 DVD インフォメーションセンター」窓口にご相談ください。

修理メモ

修理年月日	修理内容	担当
年 月 日		
年 月 日		

<個人情報の取扱いについて>

- 本書にご記入いただいた住所等の情報は、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために利用させていただきます場合がございますので、ご了承ください。
- 修理のために、当社から修理委託している保守会社などに必要なお客様の個人情報を預託する場合がございますが、個人情報保護法および当社と同様の個人情報保護規程を遵守させていただきますので、ご了承ください。

保証とアフターサービス

必ずお読みください

保証書（一体）

- ・ 保証書は、この取扱説明書に記載されています。
- ・ 保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき内容を良くお読みのあと、たいせつに保管してください。

補修用性能部品について

- ・ 当社は、BS/CS 4K録画対応チューナーの補修用性能部品を製造打ち切り後、8年間保有しています。ただし、場合により、補修に代えて補修額に相当する金額にて製品交換をお願いする場合がありますので、ご了承願います。
- ・ 補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。
- ・ 修理のために取りはずした部品は、弊社で引き取らせていただきます。
- ・ 修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

保証期間

- ・ お買い上げ日から1年間です。ただし、業務用にご使用の場合は、あるいは特殊使用の場合は、保証期間内でも「有料修理」とさせていただきます。詳しくは製品に付属の保証書をご覧ください。
- ・ miniB-CASカードは、保証の対象から除きます。

修理を依頼されるときは～持込修理

異常のあるときは、使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

保証期間中は

商品の修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容	
品名	BS/CS 4K録画対応チューナー
形名	TT-4K100
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印などもあわせてお知らせください
お名前	
電話番号	☎ () -
便利メモ	
お買い上げ店名	☎ () -

保証期間が過ぎているときは

商品を修理すれば使用できる場合は、ご希望によって有料で修理させていただきます。

修理料金の仕組み

技術料	故障した商品を正常に修復するための料金です
+	
部品代	修理に使用した部品代金です。

お客様へ…おぼえのため、お買い上げ店名を記入すると便利です。

- 修理・お取扱い・お手入れについてのご相談ならびにご依頼はお買い上げの販売店にお申し付けください。
- 修理の際、やむを得ずHDDのデータを初期化させていただく場合がございます。ご了承ください。
- 新商品などの商品選びや、お買い上げ後の基本的な取扱方法、および編集やネットワークなどの高度な取扱方法などのご相談については、本書の裏表紙をご覧ください。

基本的な取扱方法、故障と思われる場合のご確認

レグザブルーレイ／レグザタイムシフトマシンのホームページから
サポートページをご覧ください。

http://www.toshiba.co.jp/regza/bd_dvd/cs/index.html



商品選びのご相談、お買い上げ後の基本的な取扱方法、故障と思われる場合のご相談

『東芝 DVD インフォメーションセンター』

フリーダイヤル
(通話料無料)

0120-96-3755

※ 間違い電話が増えております。電話番号
をよくお確かめのうえ、おかけいただき
ますようお願いいたします。

※ フリーダイヤルは携帯電話・PHSなど
一部の電話ではご利用になれません。

(携帯電話からの
ご利用は)

ナビダイヤル
(通話料：有料)

0570-00-3755

(PHSやIP電話
からのご利用は)

(通話料：有料)

03-6830-1855

(FAX)

(通信料：有料)

03-3258-0470

- ・「東芝DVD インフォメーションセンター」は東芝映像ソリューション株式会社が運営しております。
- ・お客様の個人情報は、当社の「個人情報保護規定」に従い適切な保護を実施しています。
- ・お客様からご提供頂いた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
- ・利用目的の範囲内で、当該製品に関連する当社グループ会社、東芝家電製品関連各社や協力会社にお客様の個人情報を提供する場合があります。



愛情点検

長年ご使用のBS/CS 4K録画対応
チューナーの点検をぜひ!

ご使用の際
このような症状は
ありませんか?

- ・煙が出たり、変なにおいや音がする。
- ・水や異物がはいった。
- ・ACアダプター、電源コード、プラグが異常に熱くなる。
- ・その他の異常や故障がある。

熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合いによって部品が劣化し、故障したり、ときには安全性を損なって事故につながることもあります。

ご使用中

このような場合は、故障や事故防止のため、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、必ずお買い上げの販売店に点検・修理をご相談ください。
ご自分での修理は危険ですので、絶対
にしないでください。

東芝映像ソリューション株式会社

〒212-0058 神奈川県川崎市幸区鹿島田1-1-2

※所在地は変更になることがありますのでご了承ください。

(TWO) RSAG2.025.5984SS B

©TOSHIBA VISUAL SOLUTIONS CORPORATION 2018